

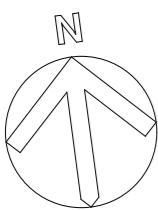
津市モーター ボート競走場 スタンド棟 吸收冷温水機等改修工事

設 計 図

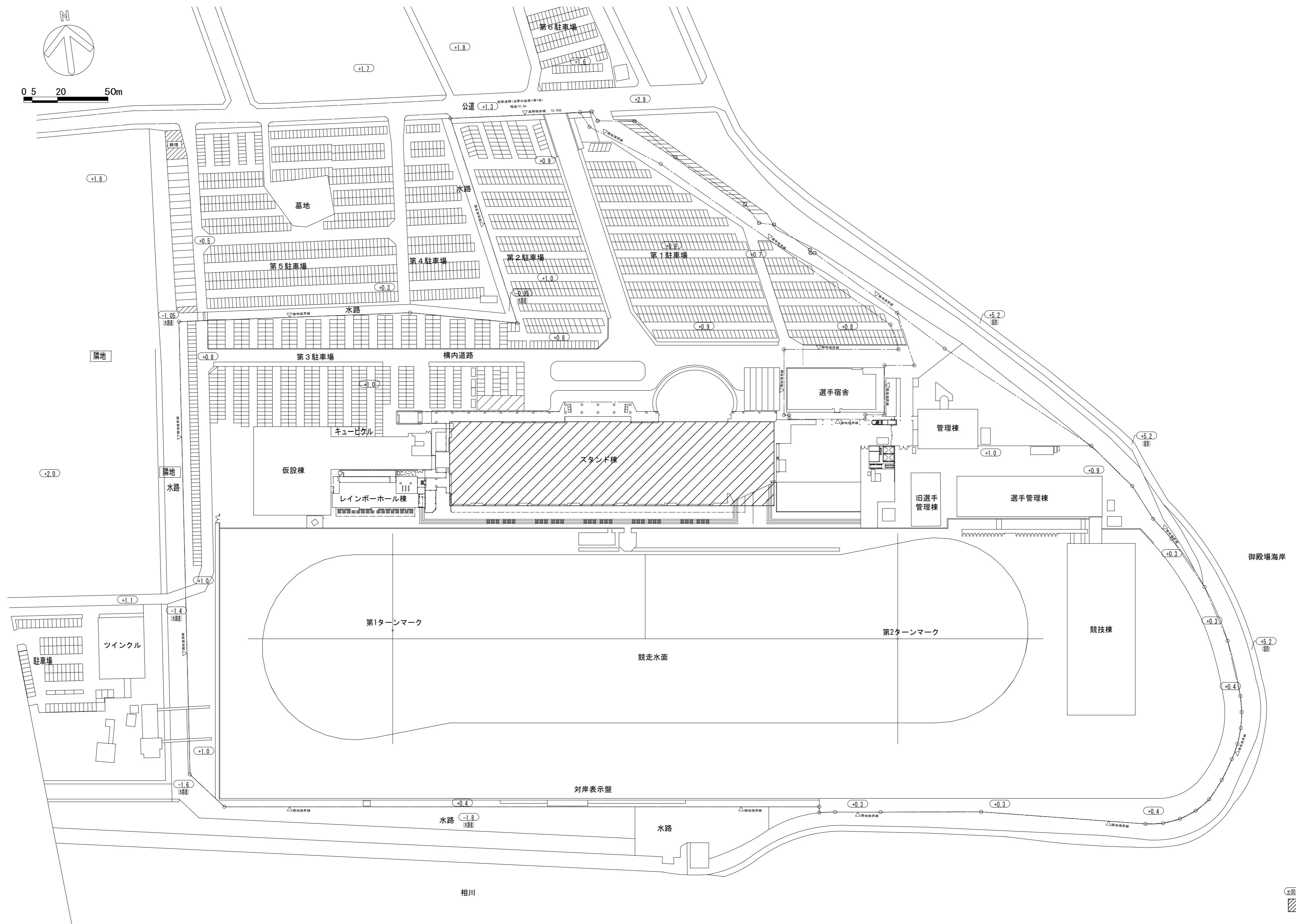
【機械設備工事】		【電気設備工事】	
M-0 1	機械設備工事 特記仕様書（1）	M-3 1	自動制御設備 5階平面詳細図（1）【改修後】
M-0 2	機械設備工事 特記仕様書（2）	M-3 2	自動制御設備 5階平面詳細図（2）【改修後】
M-0 3	配置図	M-3 3	自動制御設備 4階平面図【改修後】
M-0 4	工事工程表（参考）	M-3 4	自動制御設備 5階平面詳細図（1）【改修前】
M-0 5	新設機器表（1）	M-3 5	自動制御設備 5階平面詳細図（2）【改修前】
M-0 6	新設機器表（2）	M-3 6	凡例・明細【改修後】
M-0 7	既設機器表（1）	M-3 7	凡例・明細（1）【改修前】
M-0 8	既設機器表（2）	M-3 8	凡例・明細（2）【改修前】
M-0 9	空調設備 5階平面図	M-3 9	仮設計画図（1）
M-1 0	空調設備 屋上平面図	M-4 0	仮設計画図（2）
M-1 1	空調設備 5階平面詳細図（1）【改修後】	M-4 1	仮設計画図（3）
M-1 2	空調設備 5階平面詳細図（2）【改修後】	M-4 2	仮設計画図（4）
M-1 3	空調設備 5階平面詳細図（1）【改修前】	M-4 3	仮設計画図（5）
M-1 4	空調設備 5階平面詳細図（2）【改修前】	M-4 4	機器架台伏図・軸組図
M-1 5	空調設備 屋上平面詳細図【改修前・後】	M-4 5	鉄骨詳細図
M-1 6	膨張タンク参考図、5階断面図（改修前）	M-4 6	屋根伏図
M-1 7	冷温水ヘッダー参考図	M-4 7	屋根梁伏図
M-1 8	衛生設備 5階平面図	M-4 8	クレーン参考図
M-1 9	衛生設備 5階平面詳細図（1）【改修後】		
M-2 0	衛生設備 5階平面詳細図（2）【改修後】		
M-2 1	衛生設備 5階平面詳細図（1）【改修前】		
M-2 2	衛生設備 5階平面詳細図（2）【改修前】		
M-2 3	自動制御設備 中央監視システム図（1）		
M-2 4	自動制御設備 中央監視システム図（2）		
M-2 5	自動制御設備 中央管理点出入力一覧表（1）		
M-2 6	自動制御設備 中央管理点出入力一覧表（2）		
M-2 7	自動制御設備 計装図（1）【改修後】		
M-2 8	自動制御設備 計装図（2）【改修前】		
M-2 9	自動制御設備 計装図（3）		
M-3 0	自動制御設備 5階平面図【改修後】		

機械設備工事特記仕様書															
1 工事名称	津市モーターボート競走場スタンド棟吸収冷温水機等改修工事	(11) 発生材の処理等 口建築工事に準じる 本工事は、その施工に待定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年4月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規範に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特別建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後は明らかにならかにやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。	(21) その他 1) 使用機械 低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 2) 測定機器の校正記録 工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。 測定に先立ち使用する測定機器の検査済証(写し)又は校正記録(写し)を監督員に提示すること。 3) フロン回収及び充填 当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(令和2年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者等が行うこと。												
2 工事場所	津市藤方 地内	(12) の安全確保(主施工の原則) 1) 受注者は工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 2) 設計図書で明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために既定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。	(22) 現場での安全確保(主施工の原則) 1) 受注者は工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 2) 設計図書で明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために既定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。												
3 建築概要	鉄筋骨コンクリート造 地下1階、地上5階建	(13) 分別解体等の方法 <table border="1"><thead><tr><th>工 程</th><th>作業内容</th><th>分別解体等の方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>□ 新 築</td><td>■ 有</td><td>□ 手作業</td></tr><tr><td>■ 改 修</td><td>□ 無</td><td>■ 手作業、機械作業併用</td></tr><tr><td>□ 解 体</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	工 程	作業内容	分別解体等の方法	□ 新 築	■ 有	□ 手作業	■ 改 修	□ 無	■ 手作業、機械作業併用	□ 解 体			(23) 建設副産物情報交換システムの利用 受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」(建設資材の搬入がある場合)及び「再生資源利用促進計画書」(建設副産物の搬出がある場合)を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 また、工事完了後には「再生資源利用実施書」(建設資材の搬入があった場合)及び「再生資源利用促進実施書」(建設副産物の搬出があった場合)をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。 なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACIGが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。 (24) あと施工アンカー あと施工アンカーの性能確認試験及び施工確認試験を行うこと。
工 程	作業内容	分別解体等の方法													
□ 新 築	■ 有	□ 手作業													
■ 改 修	□ 無	■ 手作業、機械作業併用													
□ 解 体															
4 適用基準	国土交通省大臣官房官房企画部監修 「公共建築工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編)令和4年版」 「公共建築改修工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編)令和4年版」 「公共建築設備工事標準図(電気、機械設備工事編)令和4年版」 「建設設備工事監修指針令和4年版」 独立行政法人監修 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する項目は、なお、以下において選択する項目は、■印のついたものを適用する。	(14) 附設工事 構内既存の施設 □建築工事に準じる 1) 便所 ■ 利用できる □ 利用できない 2) 工事用水 ■ 利用できる(有償) □ 利用できる(無償) □ 利用できない 3) 工事用電力 ■ 利用できる(有償) □ 利用できる(無償) □ 利用できない ※ 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。	(25) アスベストについて 工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により表面調査及び現地調査し、監督員に報告すること。 「石綿障害予防規則」に基づく石綿作業主任者を選任し管理すること。												
5 一般事項	工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ確実に施工すること。 設計図書に記載された内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書とおりに施工することで将来不具合が発生する場合は、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書とおり施工であっても運用上の問題が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他の工事との取り合いについては当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により直し工事を行うこと。 (1) 提出図書 完成図等 : ○ 完成図 □ 保全に関する資料 () ・ 作成する () ・ 完成図作図範囲(設計図を訂正) 完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権第2.7条及び第2.8条に規定する権利を含む)は受注者に移譲するものとする。また、製本2部(原因イギズ)により提出すること。 ※ 工事写真は常時工事写真撮影要領(国土交通大臣官房官房企画部監修(最新版))に従い撮影すること。 なお、デジタル工事写真的小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真的小黒板情報電子化について(令和5年3月1日付け国建認技第14号)」による。 ※ 工事写真は常時工事写真撮影要領(国土交通大臣官房企画部監修(最新版))に従い撮影すること。 (2) 機器及び材料等 工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書(メーカーリスト)、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。 尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているので、メーカー選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の認定推進に関する法律(グリーン購入法)を考慮し、再生品などの環境に優しい(環境物品)の認定に努める。 又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。	(15) 足場 □建築工事に準じる 内部足場の種別 (参考) □ 脚立 □ 柳足場 □ (ローリングタワー) 外部足場の種別 (参考) □ 手搭り行根置枠組足場 ■ その他 (手搭り行根置枠組足場、吊棚足場、くさび緊結式足場) 防護シート等による養生 設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)により、「働きやすいや安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法等による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 足場の組立て後、足場に十分な知識と経験を有する者により点検を行記録を保存すること。 つり足場、張出し足場又は高さが1.0m以上の足場で、組立から解体までの期間が6日以上のものについては、組立て後市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。 1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能効向上教育を受けた者 2) 労働安全衛生法第8条1項に規定する労働安全衛生監査員(区分が土木又は建築である者)や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う修習を修了した者等第8条8条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参考者」に必要な資格を有する者 3) 全国建設安全衛生協同組合が行う「仮設設置監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の組立てに必要な専門的知識の習得のため行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者 (16) 材料 1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。 品質が求められる水準以下であれば、市内生産品の優先使用に努めること。 2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力市内の取り扱い業者から購入するよう努めること。 3) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。 ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。 (認定製品の品名) 4) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努めること。 (認定製品の品名)・間伐材製材用パリケード・間伐材工事看板・間伐材表示板() (17) 三重県産業廃棄物税 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31までの間に別に定める様式で産業廃棄物税交付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。 また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。 (18) 事故の発生時 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員へ通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員に提出すること。 なお、事故発生後の措置について、監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。 (19) 既設との取合い・養生 本工事施工に伴う、既存設備の軽微な加工・改造は、本工事とする。 また、工事施工に際し、既存部分を汚損・破損等しないよう養生を行うこと。なお汚損・破損等した場合は、機器・仕上げ共、既設にならない復旧すること。 (20) 不正絶油の使用の禁止 1) 一般事項 工事現場で使用し、又は使用される車両(資機材等の搬入車両を含む)並びに建設機械等の燃料として、不正絶油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。 2) 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。 また、受注者は下請負者等に同調を協力するよう管理及び監督しなければならない。 3) 是正措置 受注者は、不正絶油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。 また、受注者は下請負者等に不正絶油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。	(6) 工事種目 給排水衛生設備工事 □屋外給水設備工事 ■屋内給水設備工事 □屋外排水設備工事 ■屋内排水設備工事 □衛生器具設備工事 □消火設備工事 □給湯設備工事 □屋外ガス設備工事 ■屋内ガス設備工事 □浄化槽設備工事 □厨房機器設備工事 空調設備工事 ■機器設備工事 ■配管設備工事 □換気設備工事 自動制御設備工事 ■自動制御設備工事 7 工事概要 給排水衛生設備工事 (1) 屋内ガス設備工事 吸收冷温水機改修に伴い、都市ガス供給により配管供給するものである。 ホースコックは過流出防止機構(ヒューズ)付きとする。 空調設備工事 (1) 機器設備工事 本工事は、吸收冷温水機による熱源改修をおこなうものとする。 各機器の据付、試運転調整を含めて機器設備工事とする。 (2) 配管設備工事 各機器間の冷水、ドレン配管をおこなうものとし、配管の振動及び共振に十分留意の上施工する。 自動制御設備工事 (1) 自動制御設備工事 吸收冷温水機改修に伴い、自動制御設備を改修するものである。	(7) 総合調整 (1) 風量調整 □ 適用する ■ 適用しない (2) 水量調整 ■ 適用する □ 適用する (3) 室内空気の温度測定 □ 適用する ■ 適用しない (4) 室内空気の湿度測定 □ 適用する ■ 適用しない (5) 室内気流及びじんあいの測定 □ 適用する ■ 適用しない (6) 騒音の測定 □ 適用する ■ 適用しない (7) 飲料水の水質の測定(水道法施行規則第10条による水質検査) □ 適用する ■ 適用しない のうち 一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、 有機物(全有機炭素(TOC)の量)、pH値、味、臭気、色度、濁度について測定を行うこと。 ※遊離残留塩素については、上記適用の有無にかかわらず、測定を行うこと。 (8) その他 () □ 適用する ■ 適用しない	(9) 工事細目 (1) 配管材料 ■ 給水管 ■ 水道用硬質塩化ビニールライニング鋼管 JWKA K116 (一般: SGP-VB 地中: SGP-VD) □ フランジ付硬質塩化ビニールライニング鋼管 WSP 011 (一般: SGP-FVA, FVB 地中: SGP-FVD) ※ 繋ぎ手はア内蔵型とする。 ※ 給水管100mはねじ又はフランジ接合、125m以上はフランジ接合(工場加工)とする。 □ 水道用ステンレス鋼管 JWKA G 115 (最高使用圧力1.0MPa以下) □ 水道配管用ポリエチレン管 JWKA K 144 (地中: PE) □ 水道用ステンレス鋼管 JWKA G 3448 (最高使用圧力2.0MPa以下) ※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。 ■ 排水管 □ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 繋ぎ手はドレネジ繋ぎ又は、M.D. 繋ぎ手を使用 (地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き) □ 硬質ボリ塩化ビニール管 JIS K 6741 (VP・VU) □ 土管: 一般: 硬質ボリ塩化ビニール管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニール管VP)又は JIS K 9798 (リサイクル硬質ボリ塩化ビニール発泡三層管RF-VP)規格品に織維モルタルで被覆したものを国土交通大臣認定のもの。 □ 通気管 □ 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ※ 繋ぎ手はドレネジ繋ぎ又は、M.D. 繋ぎ手を使用 (地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き) □ 硬質ボリ塩化ビニール埋設は防食テープ2重巻き) □ リサイクル硬質ボリ塩化ビニール発泡三層管 JIS K 6741 (VP・VU) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニール管VP)又は JIS K 9798 (リサイクル硬質ボリ塩化ビニール発泡三層管RF-VP)規格品に織維モルタルで被覆したものを国土交通大臣認定のもの。 □ 污水管 □ 排水用硬質塩化ビニールライニング鋼管 WSP 042 ※ 同上M.D. 繋ぎ手 JPE MDJ 002 □ 土管: 一般: 硬質ボリ塩化ビニール管 JIS K 6741 (VP・VU) □ 土管: 一般: リサイクル硬質ボリ塩化ビニール発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) ※ 125m以下はVP、150m以上はVUとする。 □ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニール管VP)又は JIS K 9798 (リサイクル硬質ボリ塩化ビニール発泡三層管RF-VP)規格品に織維モルタルで被覆したものを国土交通大臣認定のもの。 □ 給湯管 □ 水道用耐熱性硬質塩化ビニールライニング鋼管 JWKA 140 (SGP-HVA) 水道用ステンレス鋼管 JWKA G 115 一般配管用ステンレス鋼管 JIS G 3448										

<p>※ 横走り管の吊り間隔</p> <table border="1"> <tr><td>鋼管</td><td>100A以下</td><td>—</td><td>2m 以下</td></tr> <tr><td></td><td>125A以上</td><td>—</td><td>3m 以下</td></tr> <tr><td>ビニール管</td><td>80A以下</td><td>—</td><td>1m 以下</td></tr> <tr><td>耐火二層管</td><td>100A以上</td><td>—</td><td>2m 以下</td></tr> <tr><td>鋼管</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔</p> <table border="1"> <tr><td>支間隔</td><td>6m以下</td><td>8m以下</td><td>12m以下</td></tr> <tr><td>鋼管</td><td>—</td><td>50A~100A</td><td>125A~</td></tr> <tr><td>ビニール管</td><td>25A~40A</td><td>50A~100A</td><td>125A~</td></tr> <tr><td>耐火二層管</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>鋼管</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※ 冷媒用钢管の横走り管の支持間隔</p> <p>基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 形鋼振れ止め支持間隔は、钢管に準ずる。</p> <p>(2) ダクト工事</p> <p>矩形ダクト <input type="checkbox"/> 垂直鋼板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 錫金付着Z18以上 <input type="checkbox"/> ステンレス鋼板 JIS G4305 工法 <input type="checkbox"/> アングルフランジ工法 <input type="checkbox"/> ダクトフランジ工法 <input type="checkbox"/> スライドオフランジ工法 形鋼補強 <input type="checkbox"/> 山形鋼 JIS G 3101 <input type="checkbox"/> SUS鋼材 JIS G 4317 丸ダクト <input type="checkbox"/> スパイラルダクト <input type="checkbox"/> 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多層管) AS-62 (RS-VU)</p> <p>(3) 保温塗装工事</p> <p>1) 材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ガラスウール保温材 保温板、保温筒、保温帶 JIS A 9504 40K (屋内一般等) □ 給水管 <input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 消火管 (露出部) □ 蒸気管	鋼管	100A以下	—	2m 以下		125A以上	—	3m 以下	ビニール管	80A以下	—	1m 以下	耐火二層管	100A以上	—	2m 以下	鋼管				支間隔	6m以下	8m以下	12m以下	鋼管	—	50A~100A	125A~	ビニール管	25A~40A	50A~100A	125A~	耐火二層管				鋼管			
鋼管	100A以下	—	2m 以下																																					
	125A以上	—	3m 以下																																					
ビニール管	80A以下	—	1m 以下																																					
耐火二層管	100A以上	—	2m 以下																																					
鋼管																																								
支間隔	6m以下	8m以下	12m以下																																					
鋼管	—	50A~100A	125A~																																					
ビニール管	25A~40A	50A~100A	125A~																																					
耐火二層管																																								
鋼管																																								



0 5 20 50m



工事工程表（参考）

	令和7年						令和8年												令和9年								
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		
準備期間																											
RH-03 冷温水機更新																											
CT-03 冷却塔更新																											
CT-04 冷却塔更新																											
膨張タンク更新																											
RH-02 冷温水機更新																											
RH-01 冷温水機更新																											
CT-01,CT-02 冷却塔更新																											
RH-04 冷温水機更新																											
冷温水ポンプ更新 ヘッダー更新																											
外構整備																											
クレーン作業																											

※RH-03は、故障により稼働停止中。

※クレーン作業は、レースの妨げとなる可能性があるため、事前に市監督員、施設管理者、ボート運営関係者らと協議を行った上で、作業を行うこと。

新設機器表 (1)

記号	機器名称	仕様	電源	台数	設置場所	付属品他
RH-01	都市ガス直焚吸收冷温水機	型式：屋外設置型	3φ200V	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		冷凍能力：1,758.0 kW	冷凍：14.1kW			防振スプリングパッド
		加熱能力：1,471.0 kW	暖房：9.1kW			制御盤、感震器、煙突
		冷水流量：5,040 L/min				
		温水流量：5,040 L/min				参考型番：QDW-R500FG2P
		燃料消費量(冷房)：117.2 Nm ³ /h				パナソニック産機システムズ株
RH-02	都市ガス直焚吸收冷温水機	燃料消費量(暖房)：139.9 Nm ³ /h				
		型式：屋外設置型	3φ200V	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		冷凍能力：1,758.0 kW	冷凍：14.1kW			防振スプリングパッド
		加熱能力：1,471.0 kW	暖房：9.1kW			制御盤、感震器、煙突
		冷水流量：5,040 L/min				
		温水流量：5,040 L/min				参考型番：QDW-R500FG2P
RH-03	都市ガス直焚吸收冷温水機	燃料消費量(冷房)：117.2 Nm ³ /h				パナソニック産機システムズ株
		燃料消費量(暖房)：139.9 Nm ³ /h				
		型式：屋外設置型	3φ200V	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		冷凍能力：1,758.0 kW	冷凍：14.1kW			防振スプリングパッド
		加熱能力：1,471.0 kW	暖房：9.1kW			制御盤、感震器、煙突
		冷水流量：5,040 L/min				
RH-04	都市ガス直焚吸收冷温水機	温水流量：5,040 L/min				参考型番：QDW-R500FG2P
		燃料消費量(冷房)：117.2 Nm ³ /h				パナソニック産機システムズ株
		燃料消費量(暖房)：139.9 Nm ³ /h				
		型式：屋外設置型	3φ200V	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		冷凍能力：1,758.0 kW	冷凍：14.1kW			防振スプリングパッド
		加熱能力：1,471.0 kW	暖房：9.1kW			制御盤、感震器、煙突
CT-01	冷却塔	冷水流量：5,040 L/min				
		温水流量：5,040 L/min				参考型番：QDW-R500FG2P
		燃料消費量(冷房)：117.2 Nm ³ /h				パナソニック産機システムズ株
		燃料消費量(暖房)：139.9 Nm ³ /h				
		型式：低騒音型内部配管型	3φ200V	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		冷却能力：2,965 kW	5.5 kW×3			防振装置
CT-02	冷却塔	冷却水出入口温度：37.1~32 °C				吐出消音ダクト
		水量：8,334 L/min				CT-01・CT-02一体型
		WB 27.8°C				参考型番：SKB-500×2PGR
						空研工業株
		型式：低騒音型内部配管型	3φ200V	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		冷却能力：2,965 kW	5.5 kW×3			防振装置
CT-03	冷却塔	冷却水出入口温度：37.1~32 °C				吐出消音ダクト
		水量：8,334 L/min				CT-01・CT-02一体型
		WB 27.8°C				
		型式：低騒音型内部配管型	3φ200V	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		冷却能力：2,965 kW	5.5 kW×4			防振装置
		冷却水出入口温度：37.1~32 °C				吐出消音ダクト
CT-04	冷却塔	水量：8,334 L/min				参考型番：SKB-500PGR M4
		WB 27.8°C				空研工業株
		型式：低騒音型内部配管型	3φ200V	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		冷却能力：2,965 kW	5.5 kW×4			防振装置
		冷却水出入口温度：37.1~32 °C				吐出消音ダクト
		水量：8,334 L/min				参考型番：SKB-500GR M4
		WB 27.8°C				空研工業株

記号	機器名称	仕様	電源	台数	設置場所	付属品他
CF-01	冷却水水質処理装置	型式：屋外設置型	1φ200V	1	5階 機械置場	
		薬注ポンプ：3~36cc/min×15Kgf/cm ² ×2台	15 W×2			制御盤、サイホン付CV
		薬液タンク：PVC型 100L×2				専用高圧ブレードホース
		薬剤：防錆剤殺藻剤				
CF-02	冷却水水質処理装置	レジオネラ菌対策剤				参考型番：SY-1B-E
						東西化学産業株
		型式：屋外設置型	1φ200V	1	5階 機械置場	
		薬注ポンプ：3~36cc/min×15Kgf/cm ² ×2台	15 W×2			制御盤、サイホン付CV
CF-03	冷却水水質処理装置	薬液タンク：PVC型 100L×2				専用高圧ブレードホース
		薬剤：防錆剤殺藻剤				
		レジオネラ菌対策剤				参考型番：SY-1B-E
						東西化学産業株
CF-04	冷却水水質処理装置	型式：屋外設置型	1φ200V	1	5階 機械置場	
		薬注ポンプ：3~36cc/min×15Kgf/cm ² ×2台	15 W×2			制御盤、サイホン付CV
		薬液タンク：PVC型 100L×2				専用高圧ブレードホース
		薬剤：防錆剤殺藻剤				
TE-01	冷温水系統膨張タンク	レジオネラ菌対策剤				参考型番：SY-1B-E
						東西化学産業株
		型式：開放式 SUS444製	-	1	塔屋 屋根	耐震：1.5G
		実容量：700 L	-			マンホール、タラップ
TE-02	冷温水系統膨張タンク	寸法：1,000×1,000×1,000H				鉄骨平架台、電極
		保温板25t				
HCHS-01	冷温水ヘッダー(往)	型式：開放式 SUS444製	-	1	塔屋 屋根	耐震：1.5G
		実容量：700 L	-			マンホール、タラップ
		寸法：1,000×1,000×1,000H				鉄骨平架台、電極
		保温板25t				
HCHS-02	冷温水ヘッダー(往)	型式：鋼板製 450φ×4,000L	-	1	5階 機械置場	
		耐圧：10Kgf/cm ²	-			鉄骨架台
HCHR-01	冷温水ヘッダー(還)	型式：鋼板製 450φ×3,600L	-	1	5階 機械置場	
		耐圧：10Kgf/cm ²	-			鉄骨架台
HCHR-02	冷温水ヘッダー(還)	型式：鋼板製 450φ×2,950L	-	1	5階 機械置場	
		耐圧：10Kgf/cm ²	-			鉄骨架台

※機器は、参考型番と同等品以上とする。

新設機器表 (2)

記号	機器名称	仕様	台数	設置場所	付属品他
PCD-01	冷却水ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		能力：200φ×150φ×8,334L/min×25m×55.0kW			防振架台、圧力計
					極数変換モーター
					参考型番：GFL2006G4ME55
					株川本製作所
PCD-02	冷却水ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		能力：200φ×150φ×8,334L/min×25m×55.0kW			防振架台、圧力計
					極数変換モーター
					参考型番：GFL2006G4ME55
					株川本製作所
PCD-03	冷却水ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		能力：200φ×150φ×8,334L/min×25m×55.0kW			防振架台、圧力計
					極数変換モーター
					参考型番：GFL2006G4ME55
					株川本製作所
PCD-04	冷却水ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		能力：200φ×150φ×8,334L/min×25m×55.0kW			防振架台、圧力計
					極数変換モーター
					参考型番：GFL2006G4ME55
					株川本製作所
PCH-01	冷温水1次ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		能力：150φ×125φ×5,040L/min×20m×30.0kW			防振架台、圧力計
					極数変換モーター
					参考型番：GFL1506G4ME30
					株川本製作所
PCH-02	冷温水1次ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		能力：150φ×125φ×5,040L/min×20m×30.0kW			防振架台、圧力計
					極数変換モーター
					参考型番：GFL1506G4ME30
					株川本製作所
PCH-03	冷温水1次ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		能力：150φ×125φ×5,040L/min×20m×30.0kW			防振架台、圧力計
					極数変換モーター
					参考型番：GFL1506G4ME30
					株川本製作所
PCH-04	冷温水1次ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		能力：150φ×125φ×5,040L/min×20m×30.0kW			防振架台、圧力計
					極数変換モーター
					参考型番：GFL1506G4ME30
					株川本製作所

記号	機器名称	仕様	台数	設置場所	付属品他
PCH-11	冷温水2次ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		能力：150φ×125φ×5,040L/min×40m×55.0kW			防振架台、圧力計
					インバーター制御
					参考型番：GFL1506G4ME55
					株川本製作所
PCH-12	冷温水2次ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		能力：150φ×125φ×5,040L/min×40m×55.0kW			防振架台、圧力計
					インバーター制御
					参考型番：GFL1506G4ME55
					株川本製作所
PCH-13	冷温水2次ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		能力：150φ×125φ×5,040L/min×40m×55.0kW			防振架台、圧力計
					インバーター制御
					参考型番：GFL1506G4ME55
					株川本製作所
PCH-14	冷温水2次ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場	耐震：1.5G
		能力：150φ×125φ×5,040L/min×40m×55.0kW			防振架台、圧力計
					インバーター制御
					参考型番：GFL1506G4ME55
					株川本製作所

※機器は、参考型番と同等品以上とする。

既設機器表 (1)

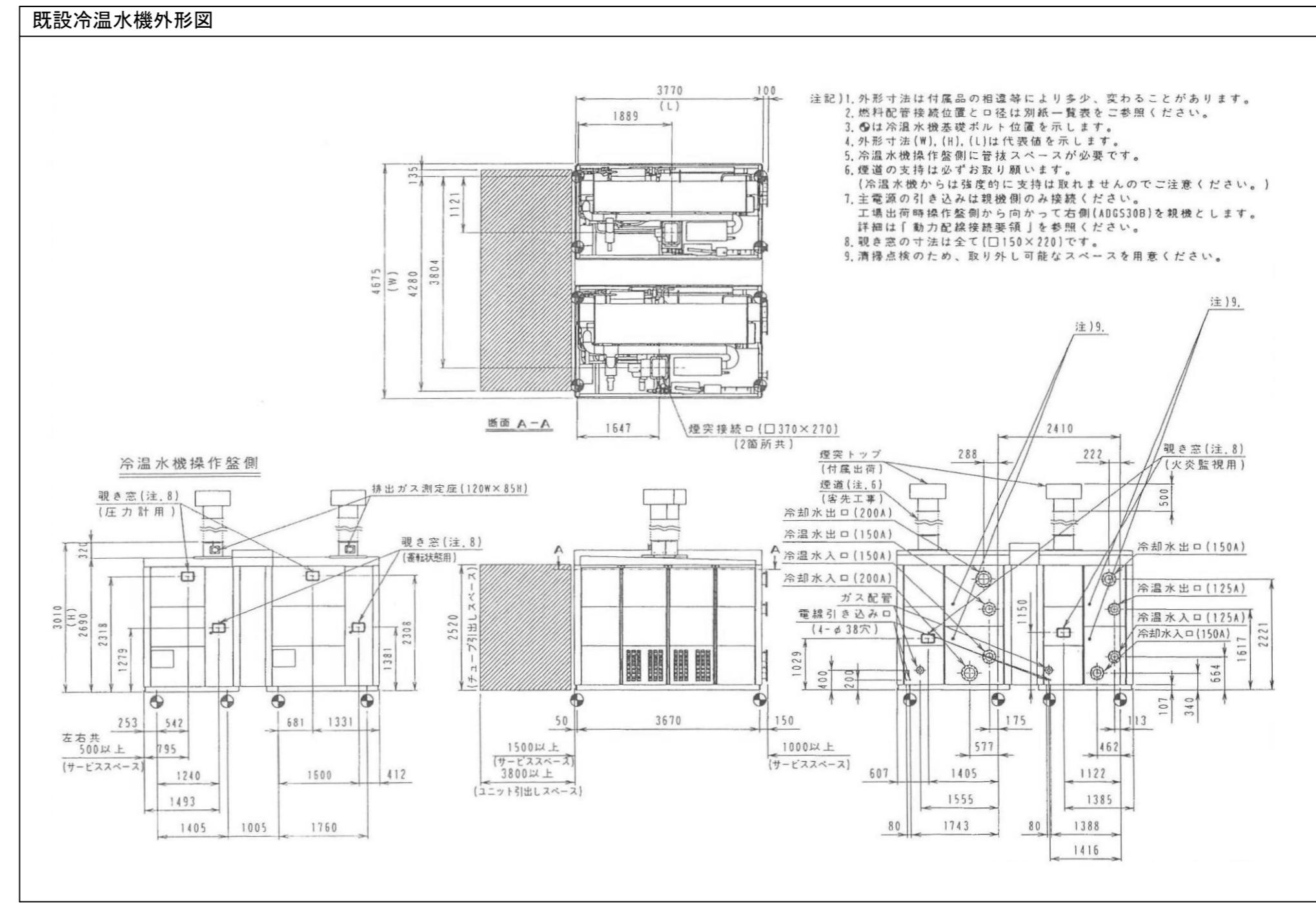
記号	機器名称	仕様	電源	台数	設置場所	付属品他
【撤去】RH-01	都市ガス直焚吸收冷温水機	型式：屋外設置型	3φ200V	1	5階 機械置場	
		冷凍能力：1,512,000 Kcal/h	18.1kVA			防振スプリングパッド
		加熱能力：1,285,000 Kcal/h				制御盤、感震器、煙突
		燃料消費量(冷凍)：130以下 Nm ³ /h				型番：ADGS50BR
		燃料消費量(加熱)：140以下 Nm ³ /h				
【撤去】RH-02	都市ガス直焚吸收冷温水機	型式：屋外設置型	3φ200V	1	5階 機械置場	
		冷凍能力：1,512,000 Kcal/h	18.1kVA			防振スプリングパッド
		加熱能力：1,285,000 Kcal/h				制御盤、感震器、煙突
		燃料消費量(冷凍)：130以下 Nm ³ /h				型番：ADGS50BR
		燃料消費量(加熱)：140以下 Nm ³ /h				
【撤去】RH-03	都市ガス直焚吸收冷温水機	型式：屋外設置型	3φ200V	1	5階 機械置場	
		冷凍能力：1,512,000 Kcal/h	18.1kVA			防振スプリングパッド
		加熱能力：1,285,000 Kcal/h				制御盤、感震器、煙突
		燃料消費量(冷凍)：130以下 Nm ³ /h				型番：ADGS50BR
		燃料消費量(加熱)：140以下 Nm ³ /h				
【撤去】RH-04	都市ガス直焚吸收冷温水機	型式：屋外設置型	3φ200V	1	5階 機械置場	
		冷凍能力：1,512,000 Kcal/h	18.1kVA			防振スプリングパッド
		加熱能力：1,285,000 Kcal/h				制御盤、感震器、煙突
		燃料消費量(冷凍)：130以下 Nm ³ /h				型番：ADGS50BR
		燃料消費量(加熱)：140以下 Nm ³ /h				
【撤去】CT-01	冷却塔	型式：解放型 内部配管型	3φ200V	1	5階 機械置場	
		冷却能力：2,550,000 Kcal/h	5.5 kW×3			防振装置
		(500冷凍ト)				吐出消音ダクト
		冷却水出入口温度：37.1～32 °C				型番：SKB-500+500PGR
		水量：8,334 L/min				CT-01・CT-02一体型
【撤去】CT-02	冷却塔	型式：解放型 内部配管型	3φ200V	1	5階 機械置場	
		冷却能力：2,550,000 Kcal/h	5.5 kW×3			防振装置
		(500冷凍ト)				吐出消音ダクト
		冷却水出入口温度：37.1～32 °C				型番：SKB-500+500PGR
		水量：8,334 L/min				CT-01・CT-02一体型
【撤去】CT-03	冷却塔	型式：解放型 内部配管型	3φ200V	1	5階 機械置場	
		冷却能力：2,550,000 Kcal/h	5.5 kW×4			防振装置
		(500冷凍ト)				吐出消音ダクト
		冷却水出入口温度：37.1～32 °C				型番：SKB-500PGR
		水量：8,334 L/min				
【撤去】CT-04	冷却塔	型式：解放型 内部配管型	3φ200V	1	5階 機械置場	
		冷却能力：2,550,000 Kcal/h	5.5 kW×4			防振装置
		(500冷凍ト)				吐出消音ダクト
		冷却水出入口温度：37.1～32 °C				型番：SKB-500PGR
		水量：8,334 L/min				

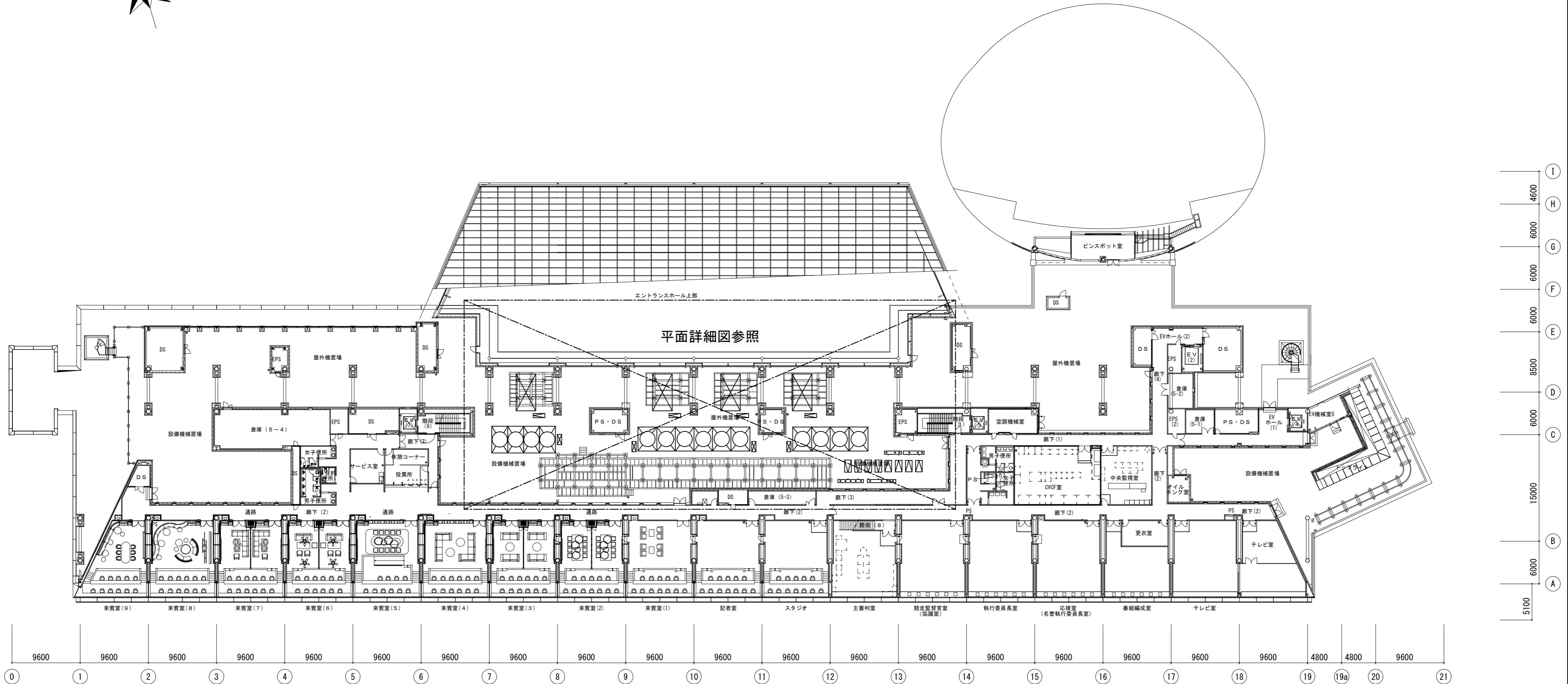
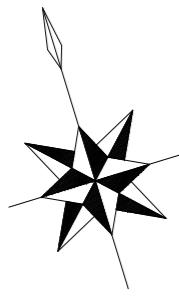
※吸收冷温水機、冷却塔のパッキン等に石綿含有建材が使用されているため、適正に除去・処分すること。

記号	機器名称	仕様	電源	台数	設置場所	付属品他
【撤去】CF-01	冷却水水質処理装置	型式：屋外制御盤一体型	1φ200V	1	5階 機械置場	
		薬注ポンプ：3～36cc/min×15Kgf/cm ² ×2台	15 W×2			制御盤、サイホン付CV
		薬液タンク：PVC型 100L×2				専用高圧ブレードホース
		薬剤：防錆剤殺藻剤				型番：TS-1CF、T-100S
【撤去】CF-02	冷却水水質処理装置	レジオネラ菌対策剤				
		型式：屋外制御盤一体型	1φ200V	1	5階 機械置場	
		薬注ポンプ：3～36cc/min×15Kgf/cm ² ×2台	15 W×2			制御盤、サイホン付CV
		薬液タンク：PVC型 100L×2				専用高圧ブレードホース
【撤去】CF-03	冷却水水質処理装置	薬剤：防錆剤殺藻剤				型番：TS-1CF、T-100S
		レジオネラ菌対策剤				
		型式：屋外制御盤一体型	1φ200V	1	5階 機械置場	
		薬注ポンプ：3～36cc/min×15Kgf/cm ² ×2台	15 W×2			制御盤、サイホン付CV
【撤去】CF-04	冷却水水質処理装置	薬液タンク：PVC型 100L×2				専用高圧ブレードホース
		薬剤：防錆剤殺藻剤				型番：TS-1CF、T-100S
		レジオネラ菌対策剤				
【撤去】TE-01	冷温水系統膨張タンク	型式：開放式 SUS444製	-	1	塔屋 屋根	
		実容量：700 L	-			マンホール、タラップ
		寸法：1,000×1,000×1,000H				鉄骨平架台、電極
		保温板25t				型番：森松工業(株)製
【撤去】TE-02	冷温水系統膨張タンク	型式：開放式 SUS444製	-	1	塔屋 屋根	
		実容量：700 L	-			マンホール、タラップ
		寸法：1,000×1,000×1,000H				鉄骨平架台、電極
		保温板25t				型番：森松工業(株)製
【撤去】HCHS-01	冷温水ヘッダー(往)	型式：鋼板製 450φ×4,000L	-	1	5階 機械置場	
		耐圧：10Kgf/cm ²	-			鉄骨架台
【撤去】HCHS-02	冷温水ヘッダー(往)	型式：鋼板製 450φ×3,600L	-	1	5階 機械置場	
		耐圧：10Kgf/cm ²	-			鉄骨架台
【撤去】HCHR-01	冷温水ヘッダー(還)	型式：鋼板製 450φ×2,950L	-	1	5階 機械置場	
		耐圧：10Kgf/cm ²	-			鉄骨架台
【撤去】HCHR-02	冷温水ヘッダー(還)	型式：鋼板製 450φ×2,400L	-	1	5階 機械置場	
		耐圧：10Kgf/cm ²	-			鉄骨架台

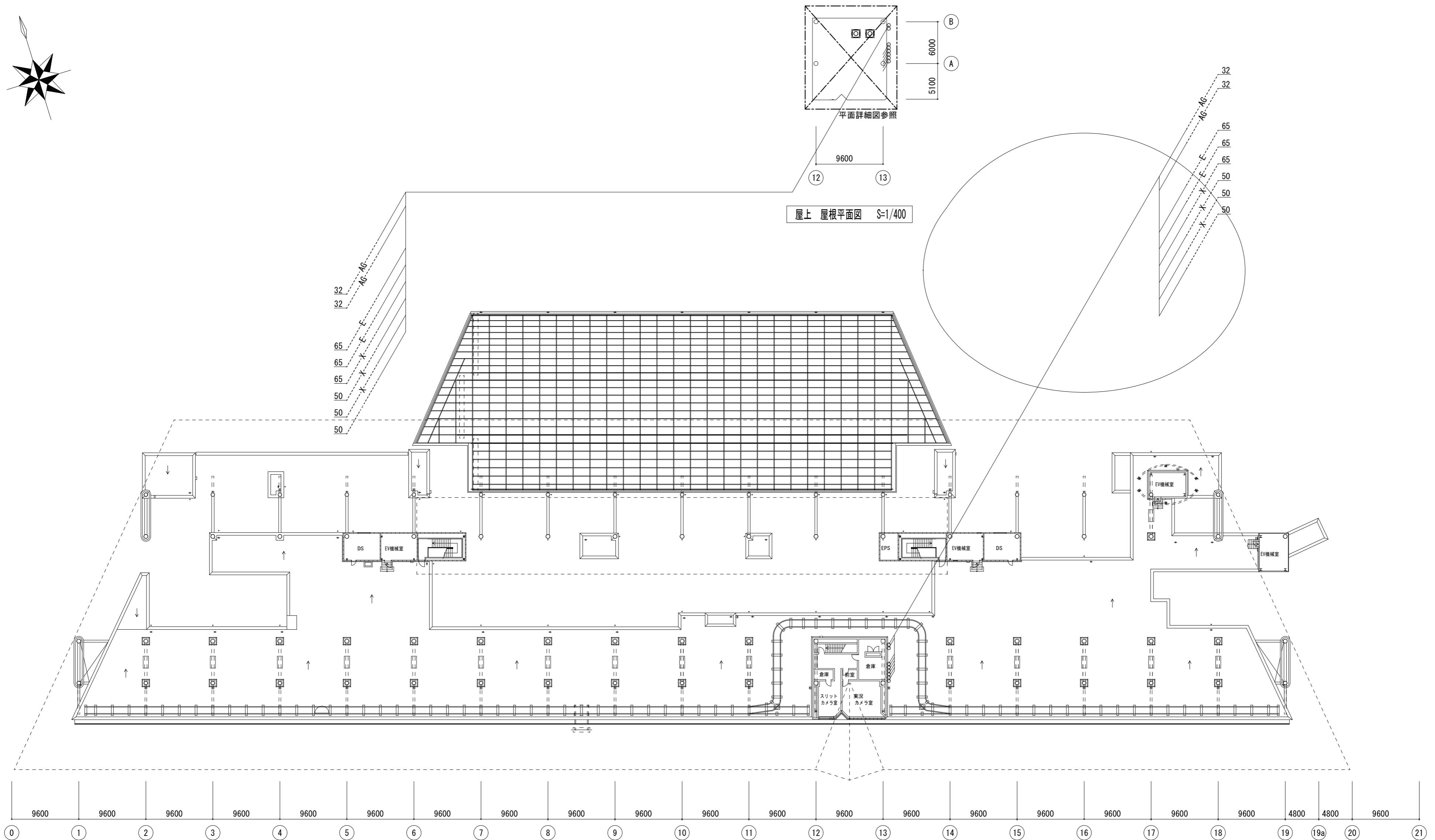
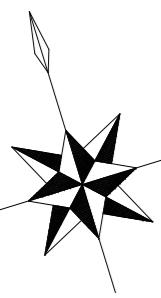
既設機器表 (2)

記号	機器名称	仕様	台数	設置場所	付属品他	記号	機器名称	仕様	台数	設置場所	付属品他
【撤去】 PCD-01	冷却水ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場		【撤去】 PCH-11	冷温水2次ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場	
		能力：200φ×150φ×8,334L/min×25mAq×55.0kW			防振架台、圧力計			能力：150φ×125φ×5,040L/min×40mAq×55.0kW			防振架台、圧力計
					極数変換モーター						インバーター制御
					型番：GFL-200×1506-4WM55						型番：GFK-150×1256-4WM55
【撤去】 PCD-02	冷却水ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場		【撤去】 PCH-12	冷温水2次ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場	
		能力：200φ×150φ×8,334L/min×25mAq×55.0kW			防振架台、圧力計			能力：150φ×125φ×5,040L/min×40mAq×55.0kW			防振架台、圧力計
					極数変換モーター						インバーター制御
					型番：GFL-200×1506-4WM55						型番：GFK-150×1256-4WM55
【撤去】 PCD-03	冷却水ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場		【撤去】 PCH-13	冷温水2次ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場	
		能力：200φ×150φ×8,334L/min×25mAq×55.0kW			防振架台、圧力計			能力：150φ×125φ×5,040L/min×40mAq×55.0kW			防振架台、圧力計
					極数変換モーター						インバーター制御
					型番：GFL-200×1506-4WM55						型番：GFK-150×1256-4WM55
【撤去】 PCD-04	冷却水ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場		【撤去】 PCH-14	冷温水2次ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場	
		能力：200φ×150φ×8,334L/min×25mAq×55.0kW			防振架台、圧力計			能力：150φ×125φ×5,040L/min×40mAq×55.0kW			防振架台、圧力計
					極数変換モーター						インバーター制御
					型番：GFL-200×1506-4WM55						型番：GFK-150×1256-4WM55
【撤去】 PCH-01	冷温水1次ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場		既設冷温水機外形図					
		能力：150φ×125φ×5,040L/min×20mAq×30.0kW			防振架台、圧力計						
					極数変換モーター						
					型番：GFK-150×1256-4WM30						
【撤去】 PCH-02	冷温水1次ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場							
		能力：150φ×125φ×5,040L/min×20mAq×30.0kW			防振架台、圧力計						
					極数変換モーター						
					型番：GFK-150×1256-4WM30						
【撤去】 PCH-03	冷温水1次ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場							
		能力：150φ×125φ×5,040L/min×20mAq×30.0kW			防振架台、圧力計						
					極数変換モーター						
					型番：GFK-150×1256-4WM30						
【撤去】 PCH-04	冷温水1次ポンプ	型式：片吸込渦巻型	1	5階 機械置場							
		能力：150φ×125φ×5,040L/min×20mAq×30.0kW			防振架台、圧力計						
					極数変換モーター						
					型番：GFK-150×1256-4WM30						





5階 平面図 S=1/400



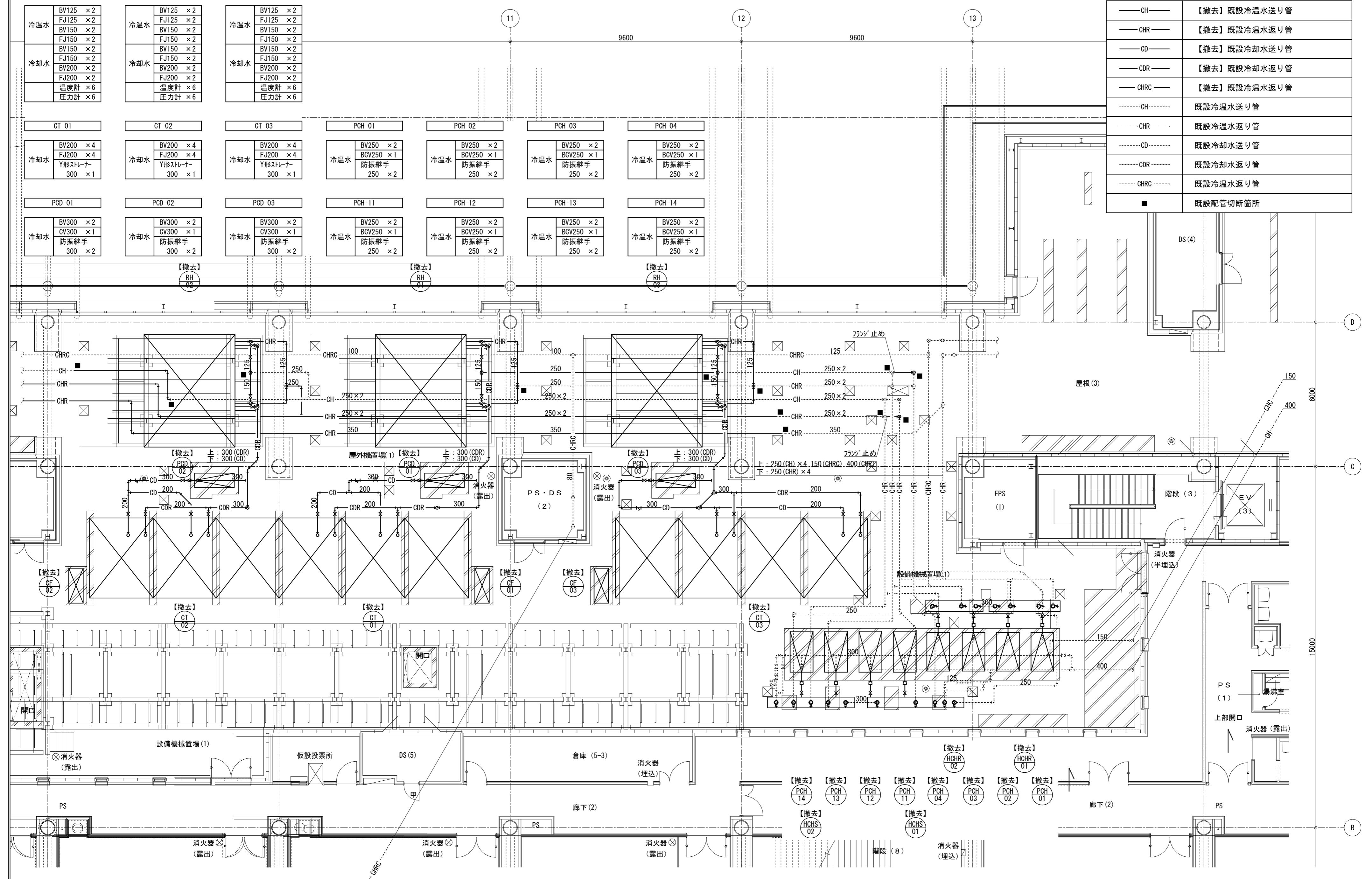
-----	既設給水管
-----	既設排水管
E -----	既設膨張管
AG -----	既設補給水管
X -----	既設消火管

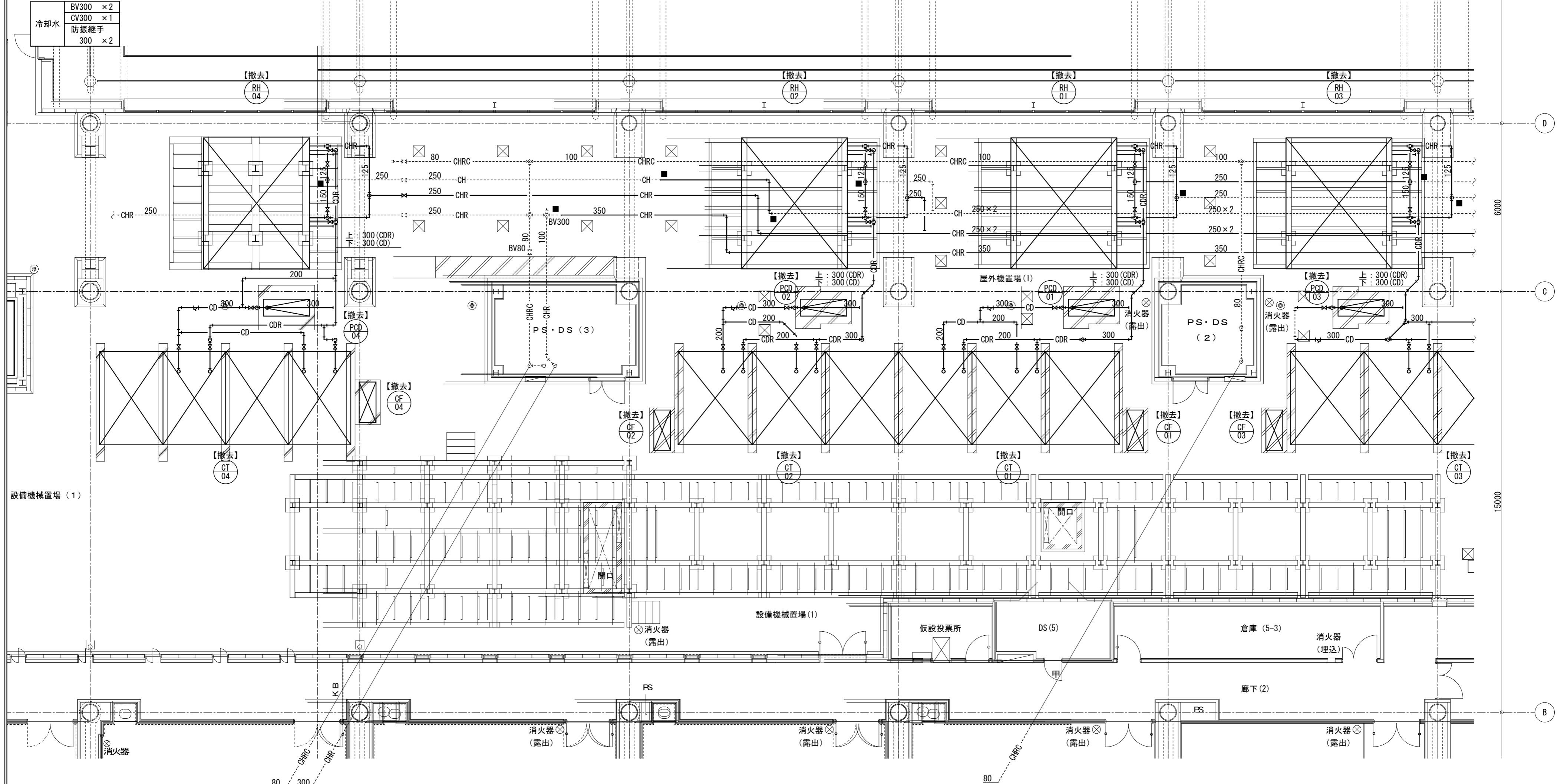
RH-01	RH-02
冷温水	BV125 × 2 FJ125 × 2 BV150 × 2 FJ150 × 2
冷却水	BV150 × 2 FJ150 × 2 BV200 × 2 FJ200 × 2
	温度計 × 6
	圧力計 × 6

RH-02	
冷温水	BV125 × 2
	FJ125 × 2
	BV150 × 2
	FJ150 × 2
冷却水	BV150 × 2
	FJ150 × 2
	BV200 × 2
	FJ200 × 2
温度計 × 6	
圧力計 × 6	

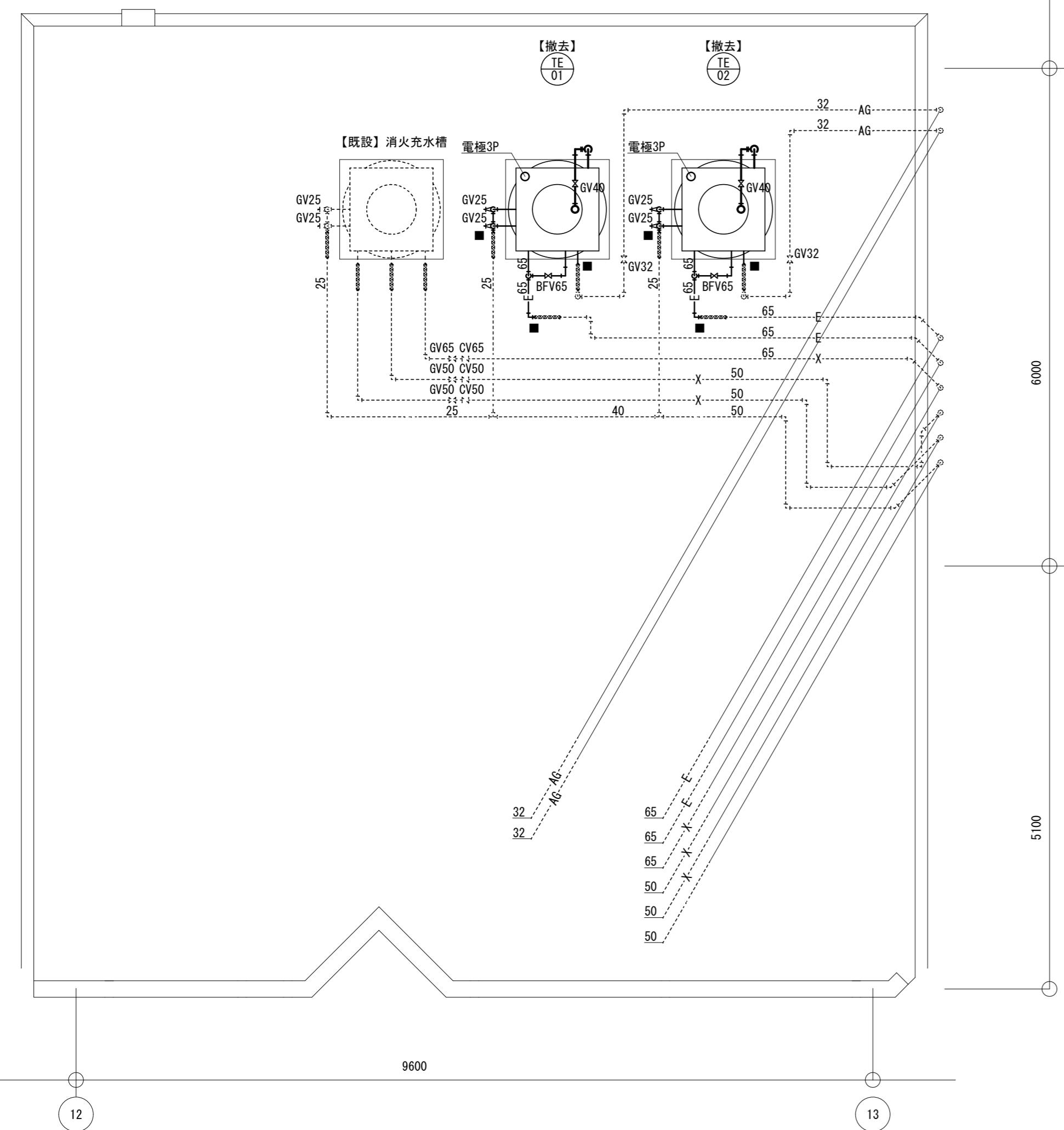
	RH-03
冷温水	BV125 × 2 FJ125 × 2 BV150 × 2 FJ150 × 2
冷却水	BV150 × 2 FJ150 × 2 BV200 × 2 FJ200 × 2
	温度計 × 6 圧力計 × 6

CH	【撤去】既設冷温水送り管
CHR	【撤去】既設冷温水返り管
CD	【撤去】既設冷却水送り管
CDR	【撤去】既設冷却水返り管
CHRC	【撤去】既設冷温水返り管
CH	既設冷温水送り管
CHR	既設冷温水返り管
CD	既設冷却水送り管
CDR	既設冷却水返り管
CHRC	既設冷温水返り管
■	既設配管切断箇所





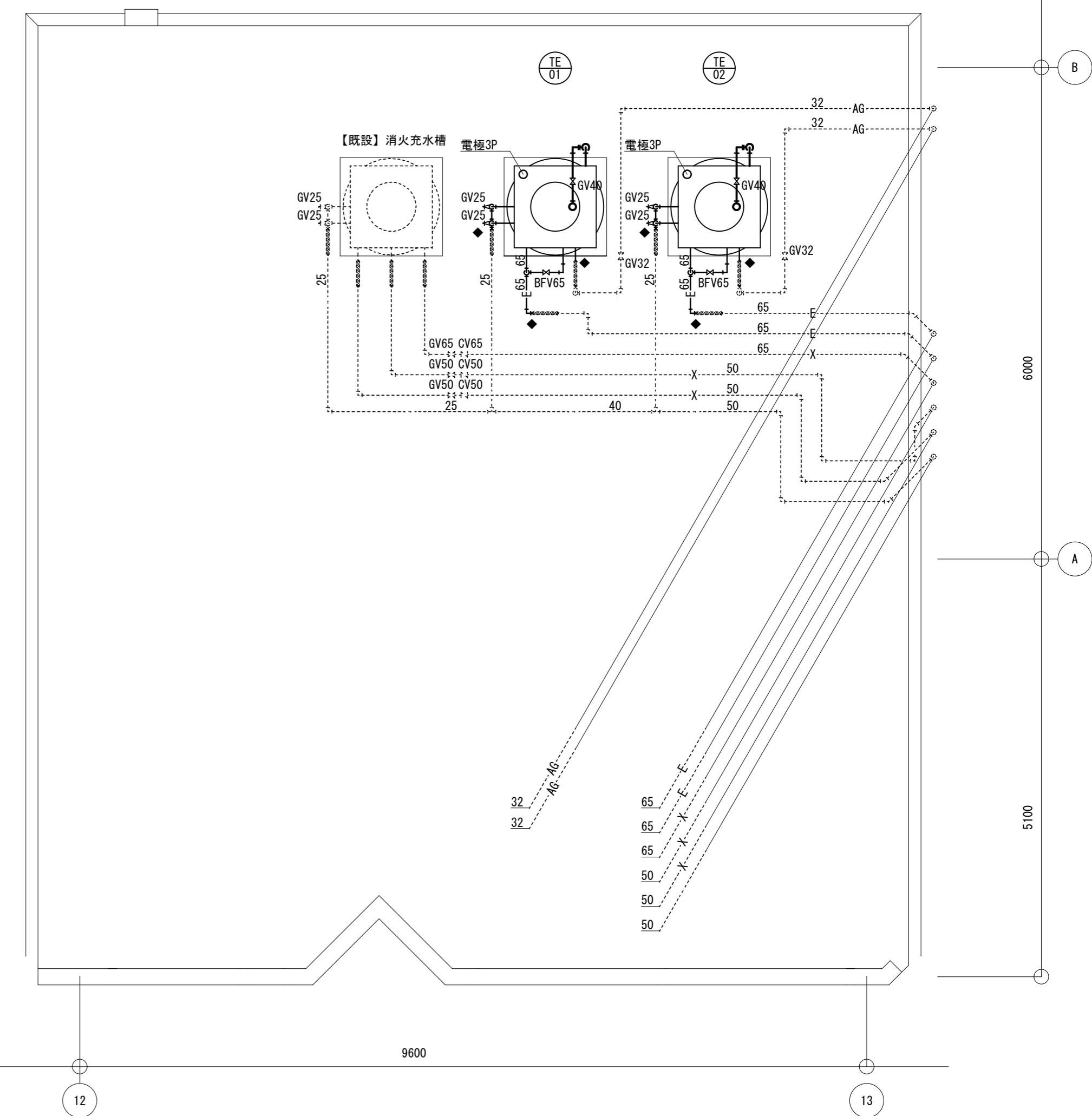
改修前



-----	【撤去】既設給水管
-----	【撤去】既設排水管
—E—	【撤去】既設膨張管
—AG—	【撤去】既設補給水管
.....	既設給水管
.....	既設排水管
....E....	既設膨張管
....AG....	既設補給水管
....X....	既設消火管
■	既設配管切斷箇所

屋上平面詳細図【改修前】

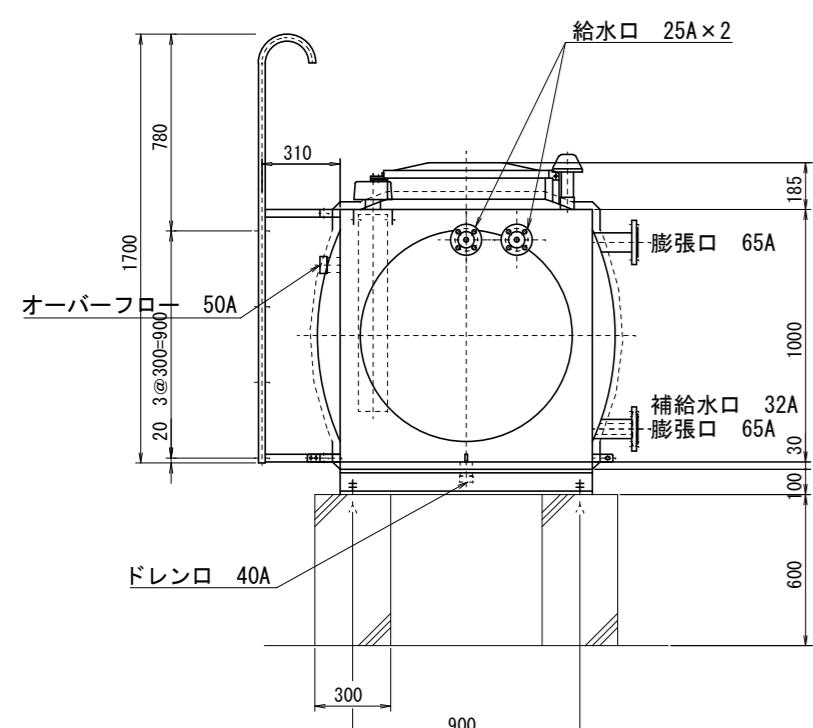
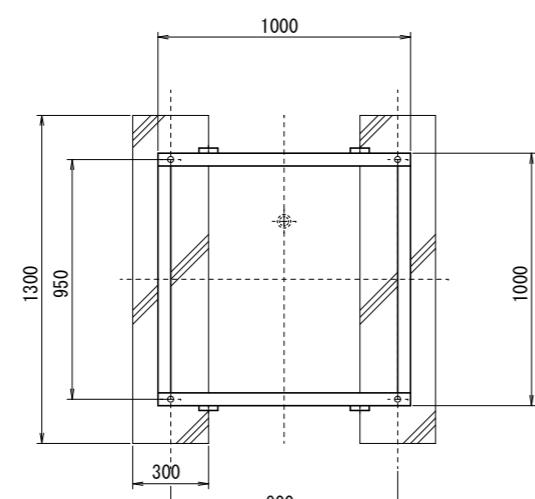
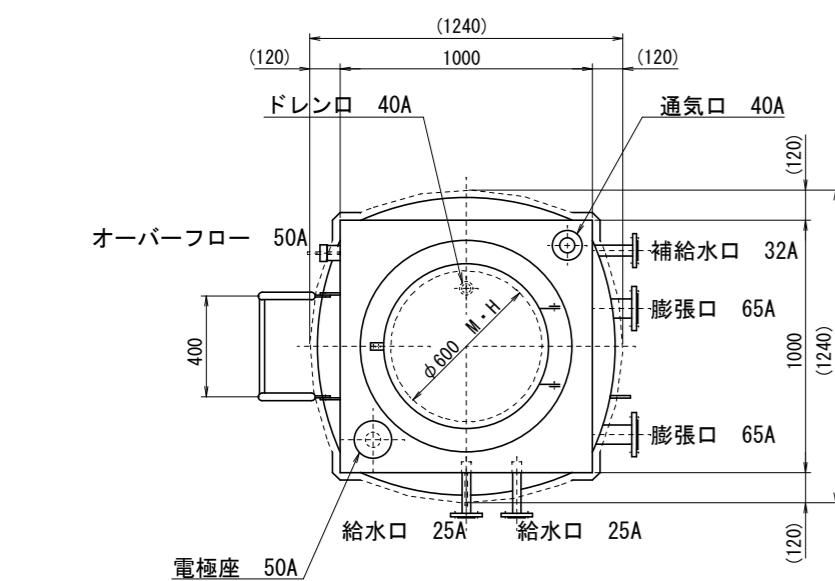
改修後



-----	【新設】給水管
-----	【新設】排水管
—E—	【新設】膨張管
—AG—	【新設】補給水管
.....	既設給水管
.....	既設排水管
....E....	既設膨張管
....AG....	既設補給水管
....X....	既設消火管
◆	既設配管接続箇所

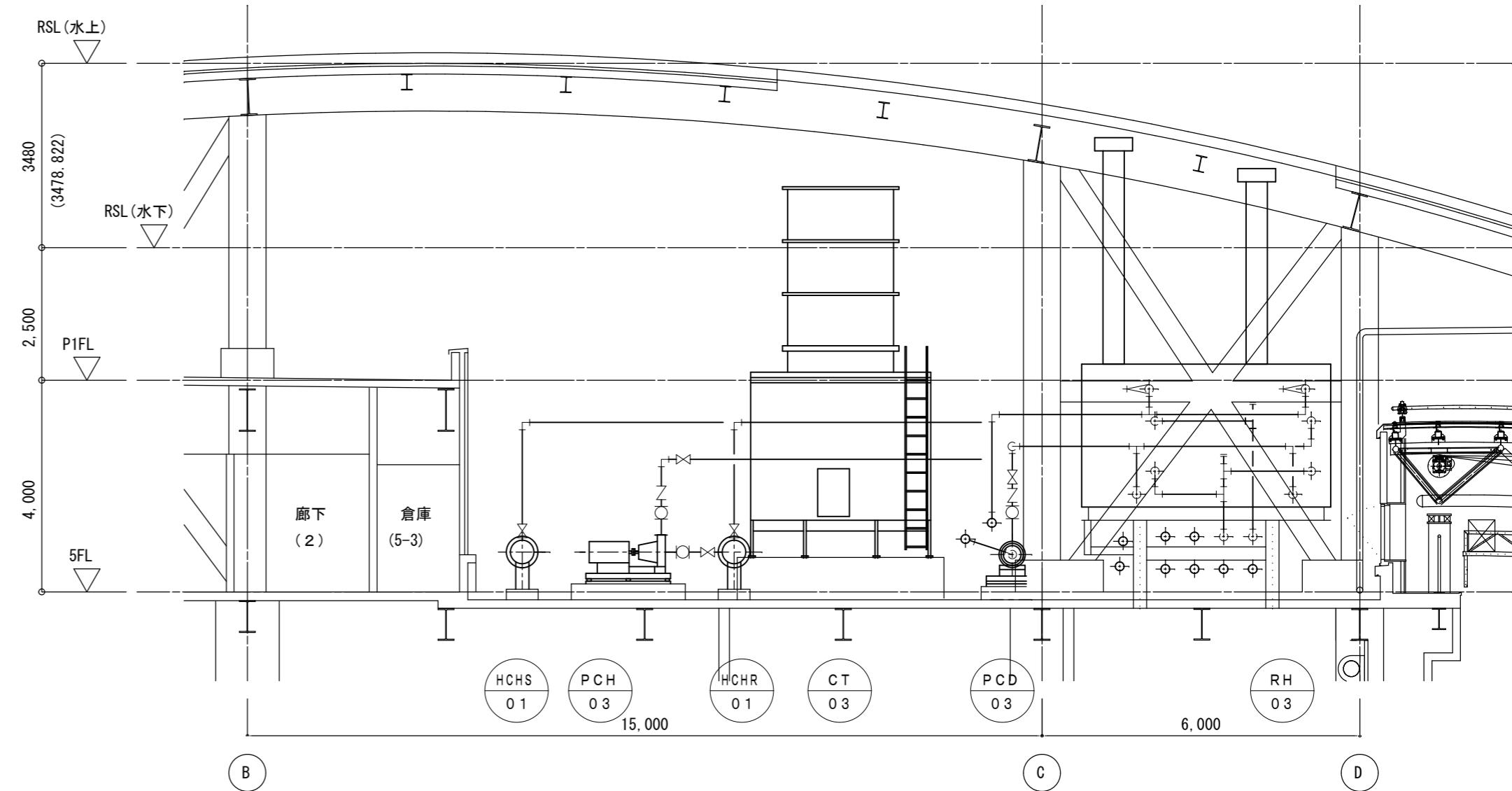
屋上平面詳細図【改修後】

参考図



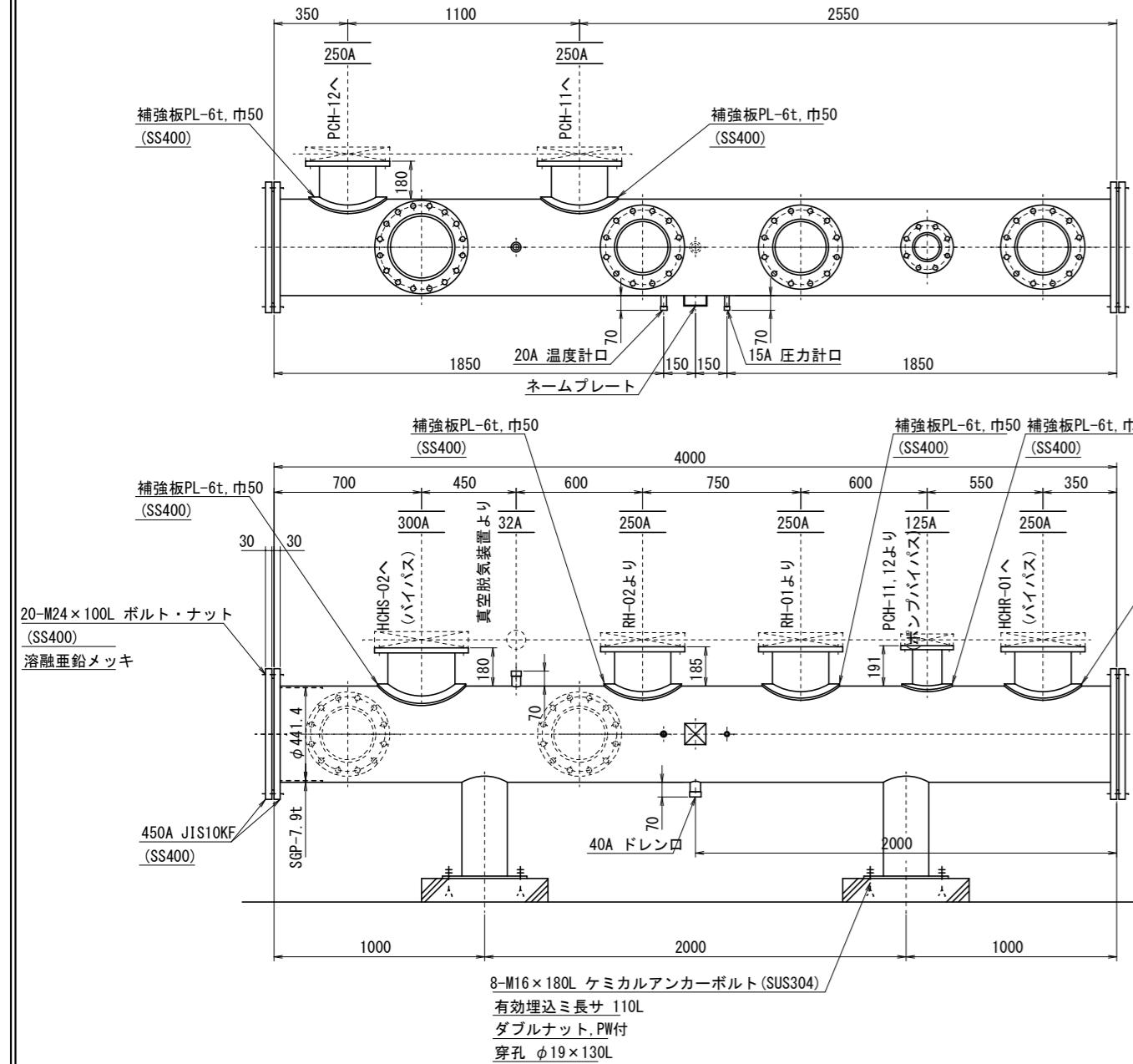
名 称	材 質	寸 法	数 量	備 考
支持金具	SUS304	FB-4×30×130L	2	標準品(HS130) 詳細図参照
支持金具	SUS304	FB-4×30×80L	2	標準品(HS80) 詳細図参照
電極用防波筒	VPW	100A×800L	1	有孔管、サポート(→)付
補給水口	SUS304	32 A	1	10KF(SS400)
膨張口	SUS304	65 A	1	10KF(SS400)
膨張口	SUS304	65 A	1	10KF(SS400)
給水入口	SUS304	25 A	2	内外ソケット
オーバーフロー	SUS304	50 A	1	ソケット
ドレン口	SUS304	40 A	1	ソケット
電極座	SUS304	50 A	1	保護BOX付(アルミ)オムロン対応型
通気口	SUS304	40 A	1	ソケット(防虫網付、樹脂通気筒付)
外タラップ	STK-φ27.2 R.B.-φ6	W400×P300	1	溶融亜鉛メッキ
マンホール	SUS329J4L	φ600	1	首板溶接品
本体	SUS444		1	型式: MP (1 m ³)
名 称	材 質	寸 法	数 量	備 考

TE-01_02	
ステンレスパネル溶接形冷温水系統膨張水槽仕様	
寸 法	1000 × 1000 × 1000 H
本 体	天井板、側板、底板 SUS444-1.5t
タラップ	外: STK-φ27.2、RB-C16 SS400
受 台	1000 × 1000 × 100 H SS400
部 材	図面参照
SUS溶接部酸洗仕上	
仕 上	受台: 溶融亜鉛メッキ (外タラップ共)
保 温	30mm発泡ポリスチレンの上0.8mmアルミラッピング
質 量	本体: 140 kg 受台: 40 kg 計: 180 kg
特 記	KH=1.5 耐震: 88242343-01 R01

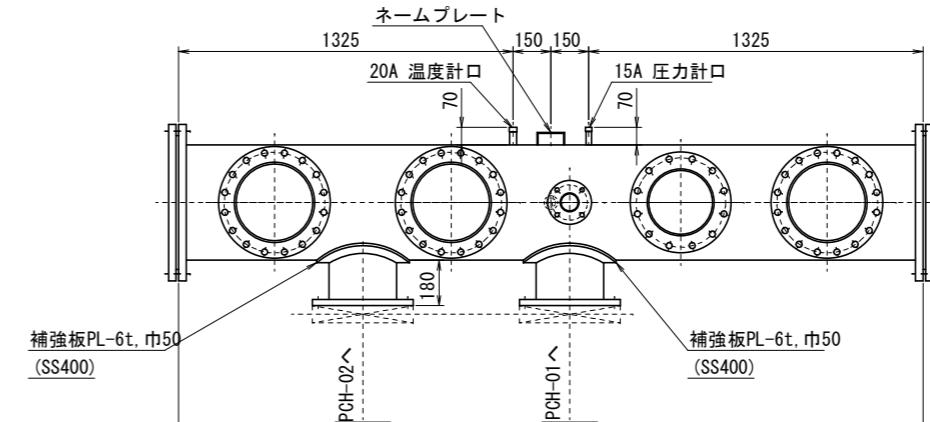


5階断面図(改修前) S=1/100

参考図

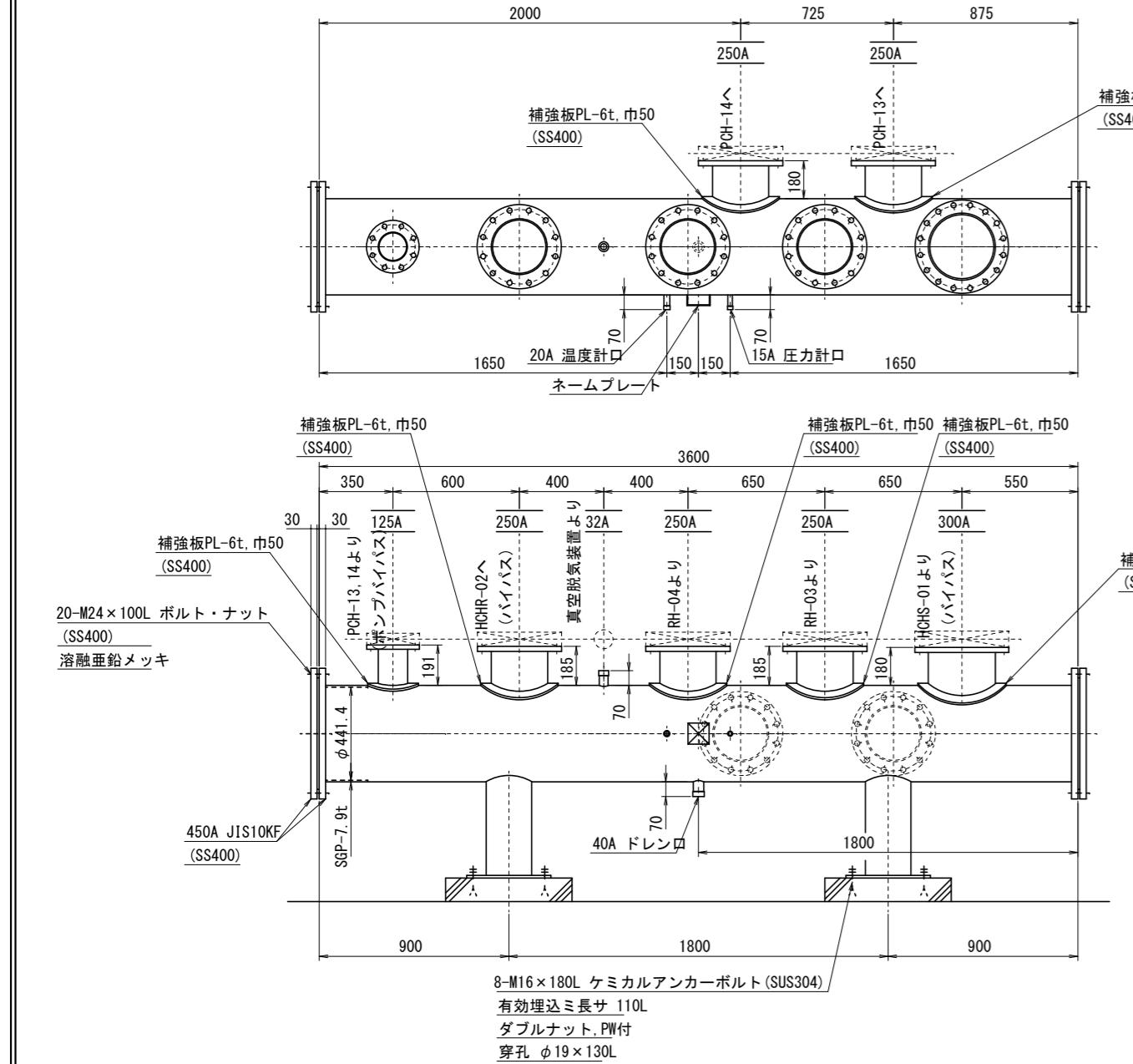


HCHS-01		冷温水(往)ヘッダー仕様		1 基 S=1/20
寸 法	$\phi 441.4 \times 4000$ L			
本 体	胴 板 SGP-E- 450 A × 7.9 t			
	枝 管 SGP-E 規格品			
	ソケット SS400			
設計圧力	0.980 MPa			
試験圧力	1.47 MPa			
バルブ	JIS 10K型 バタフライバルブ			
フランジ	胴 板 JIS10KF 規格品		SS400	
	枝 管 JIS10KF 規格品		SS400	
脚 材	STK- $\phi 216.3 \times 4.5$ t	PL-9t	SS400	
仕 上	溶融亜鉛メッキ			
質 量	530 kg			
適用規格	除外			
特 記	ガスケット : T/#1995-3.0t			
	耐震 : KH=1.5			
	88242343-02 R01			

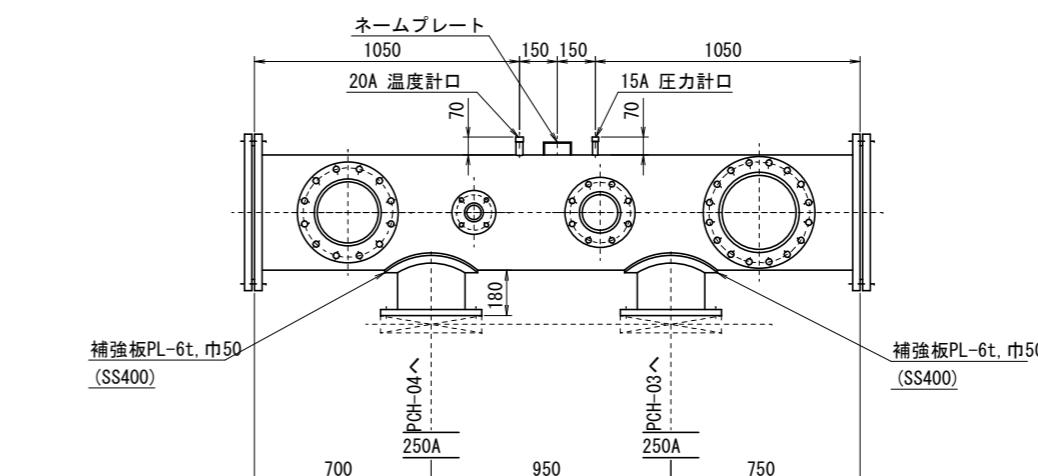


HCHR-01		冷温水(還)ヘッダー仕様			
		1 基 S=1/2			
寸 法	$\phi 411.4 \times 2950$ L				
本 体	胴 板 SGP-E- 450 A \times 7.9t				
	枝 管 SGP-E 規格品				
	ソケット SS400				
設計圧力	0.980 MPa				
試験圧力	1.47 MPa				
バ ル ブ	JIS 10K型 バタフライバルブ				
フランジ	胴 板 JIS10KF 規格品				
	枝 管 JIS10KF 規格品				
脚 材	STK- ϕ 216.3 \times 4.5t PL-9t				
仕 上	溶融亜鉛メッキ				
質 量	430 kg				
適用規格	除外				
特 記	ガスケット : T/#1995-3.0t				
	耐震 : KH=1.5				
	88242343-04 R00				

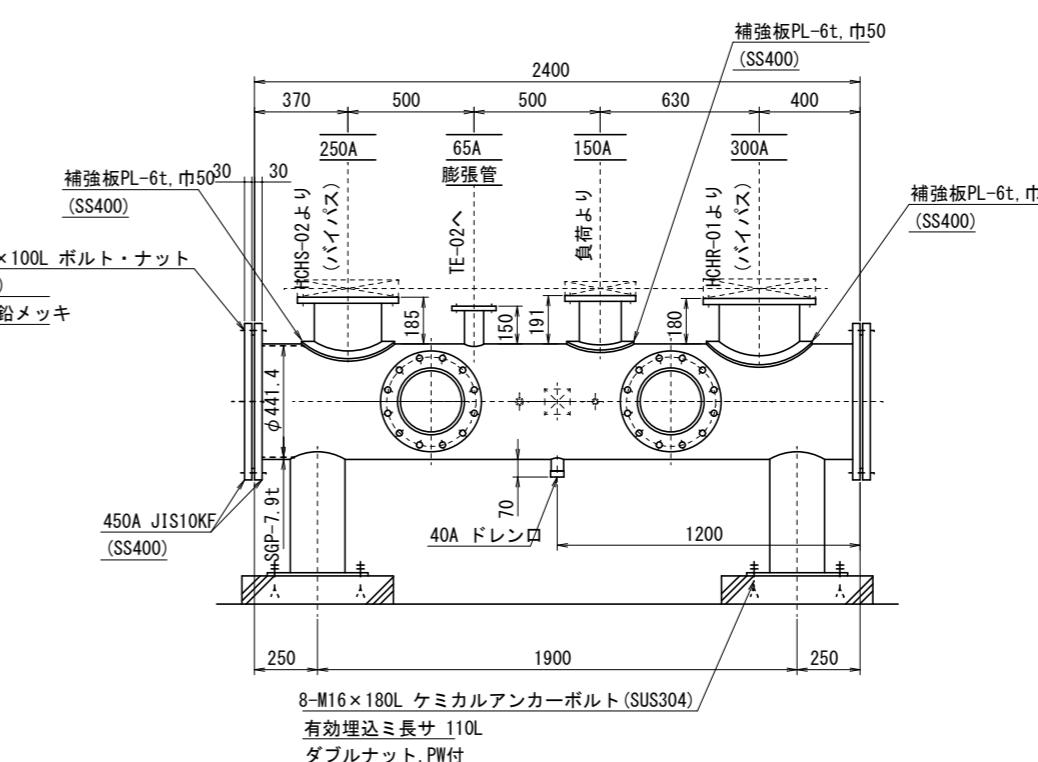
参考図



HCHS-02		冷温水(往)ヘッダー仕様		1 基 S=1/20
寸 法	φ 441.4 × 3600 L			
本 体	胴 板 SGP-E- 450 A × 7.9 t			
	枝 管 SGP-E 規格品			
	ソケット SS400			
設計圧力	0.980 MPa			
試験圧力	1.47 MPa			
パ ル ブ	JIS 10K型 バタフライバルブ			
フランジ	胴 板 JIS10KF 規格品			SS400
	枝 管 JIS10KF 規格品			SS400
脚 材	STK-φ216.3×4.5t	PL-9t		SS400
仕 上	溶融亜鉛メッキ			
質 量	490 kg			
適用規格	除外			
特 記	ガスケット : T/#1995-3.0t			
	耐震 : KH=1.5			
	88242343-03 R01			



HCHR-02		冷温水(還)ヘッダー仕様	
		1 基 S=1/2	
寸 法	$\phi 441.4 \times 2400$ L		
本 体	胴 板	SGP-E-	450 A \times 7.9t
	枝 管	SGP-E	規格品
	ソケット	SS400	
設計圧力	0.980 MPa		
試験圧力	1.47 MPa		
バ ル ブ	JIS 10K型 バタフライバルブ		
フランジ	胴 板	JIS10KF 規格品	SS400
	枝 管	JIS10KF 規格品	SS400
脚 材	STK- ϕ 216.3 \times 4.5t	PL-9t	SS400
仕 上	溶融亜鉛メッキ		
質 量	340 kg		
適用規格	除外		
特 記	ガスケット : T/#1995-3.0t		
	耐震 : KH=1.5		
	88242343-05 R01		



特 記	ガスケット : T/#1995-3.0t
	耐震 : KH=1.5
	88242343-05 R01

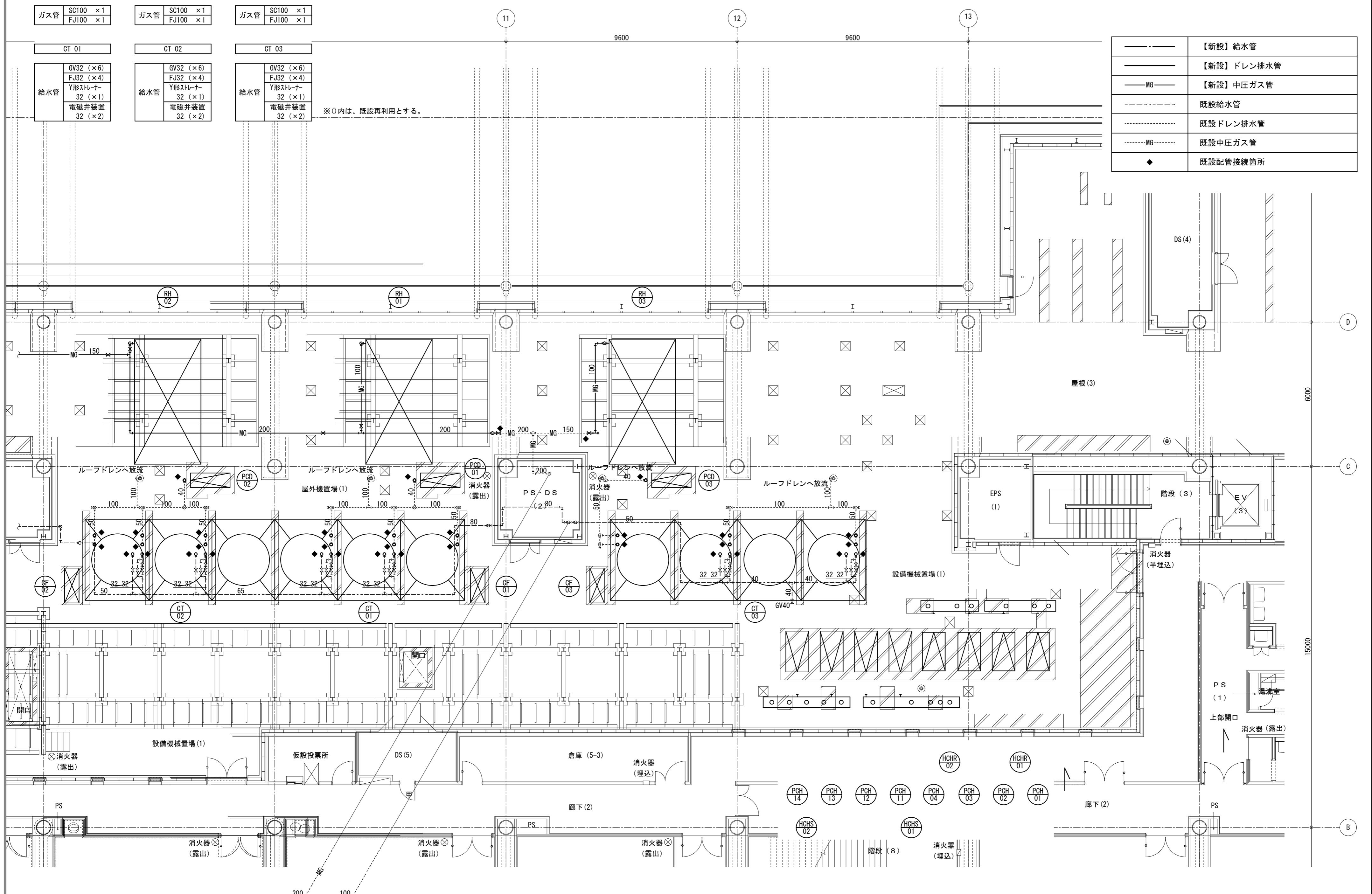
The technical drawing illustrates a valve assembly with the following dimensions:

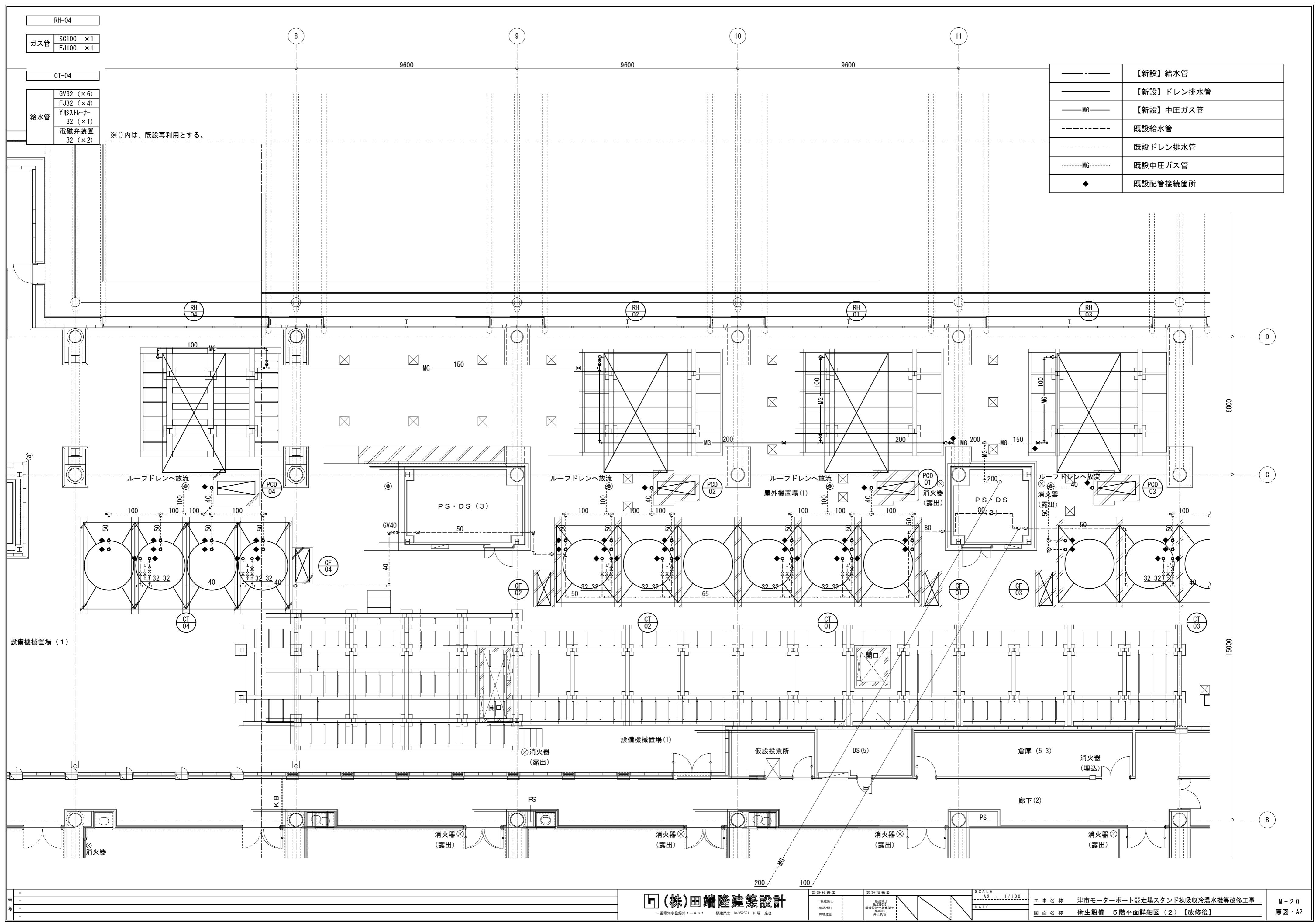
- Total width: 443 mm
- Total height: 1250 mm
- Width of the base plate: 600 mm
- Height of the base plate: 340 mm
- Width of the flange: 448 mm
- Height of the flange: 672 mm
- Width of the valve body: 443 mm
- Height of the valve body: 115 mm
- Width of the valve body: 216.3 mm
- Thickness of the valve body: 4.5 t
- Thickness of the base plate: 9 t
- Label 'PL-9t' points to the thickness of the base plate.
- Label 'バルブ芯' (Valve core) points to the central circular component.
- Label '20A' and 'ネー...' (Nee...) are partially visible on the right side.
- Label '15A' is partially visible at the bottom right.

RH-01	RH-02	RH-03
ガス管 SC100 × 1 FJ100 × 1	ガス管 SC100 × 1 FJ100 × 1	ガス管 SC100 × 1 FJ100 × 1
CT-01	CT-02	CT-03
給水管 GV32 (× 6) FJ32 (× 4) Y形ストレーナー 32 (× 1) 電磁弁装置 32 (× 2)	給水管 GV32 (× 6) FJ32 (× 4) Y形ストレーナー 32 (× 1) 電磁弁装置 32 (× 2)	給水管 GV32 (× 6) FJ32 (× 4) Y形ストレーナー 32 (× 1) 電磁弁装置 32 (× 2)

※()内は、既設再利用とする。

-----	【新設】給水管
-----	【新設】ドレン排水管
— MG —	【新設】中圧ガス管
- - -	既設給水管
- - -	既設ドレン排水管
----- MG -----	既設中圧ガス管
◆	既設配管接続箇所

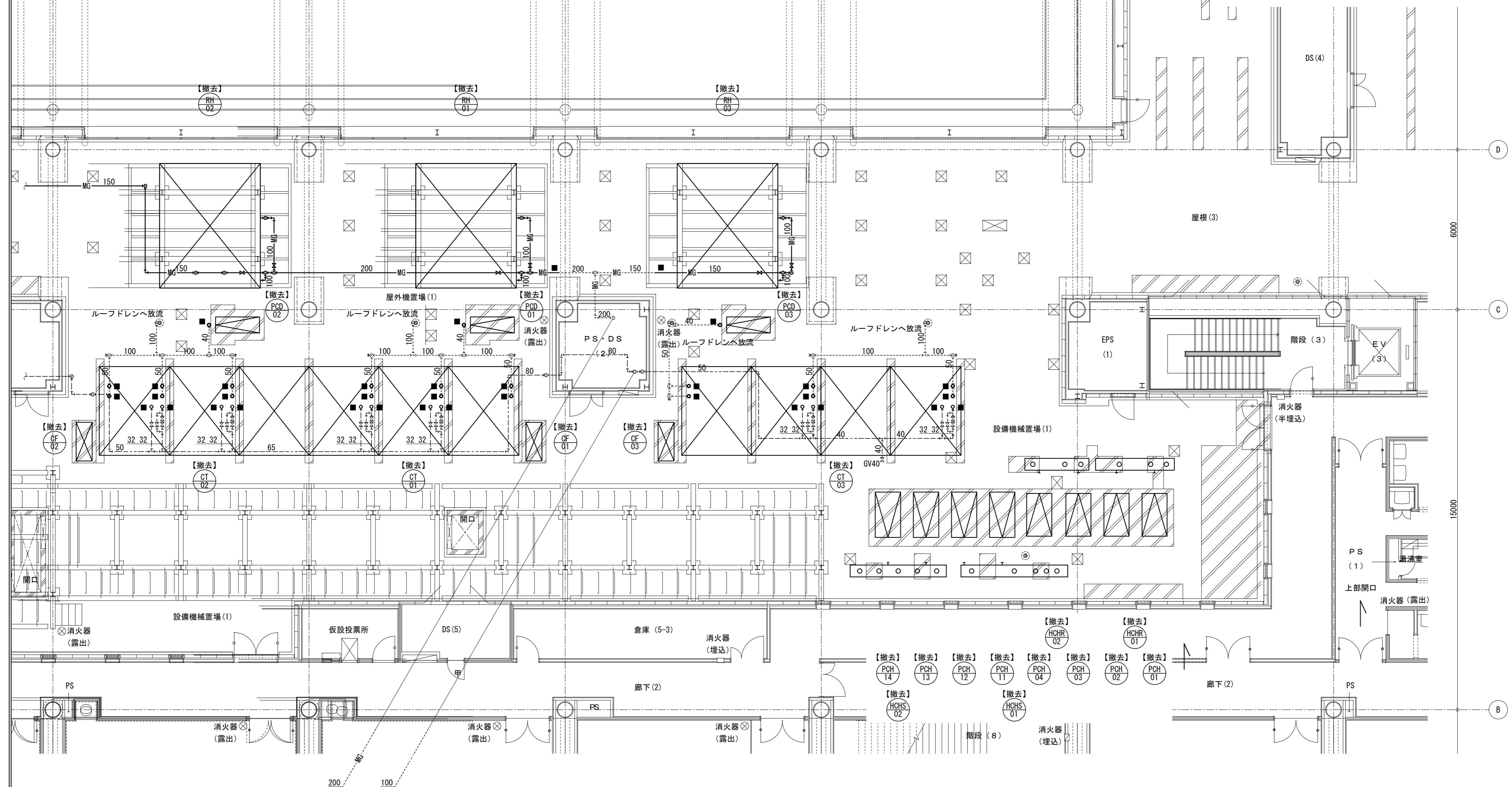




RH-01	RH-02	RH-03
ガス管 SC100 × 2 FJ100 × 2	ガス管 SC100 × 2 FJ100 × 2	ガス管 SC100 × FJ100 ×
CT-01	CT-02	CT-03
給水管 GV32 (× 6) FJ32 (× 4) Y形ストレーナー- 32 (× 1) 電磁弁装置 32 (× 2)	給水管 GV32 (× 6) FJ32 (× 4) Y形ストレーナー- 32 (× 1) 電磁弁装置 32 (× 2)	給水管 GV32 (× 6) FJ32 (× 4) Y形ストレーナー- 32 (× 1) 電磁弁装置 32 (× 2)

※()内は、既設のまま。

— — — — —	【撤去】既設給水管
— — — — —	【撤去】既設 ドレン排水管
— MG — — —	【撤去】既設中圧ガス管
— — — — —	既設給水管
— — — — —	既設 ドレン排水管
— — — MG — — —	既設中圧ガス管
■	既設配管切断箇所



RH-04

ガス管	SC100 × 2 FJ100 × 2
-----	------------------------

CT-04

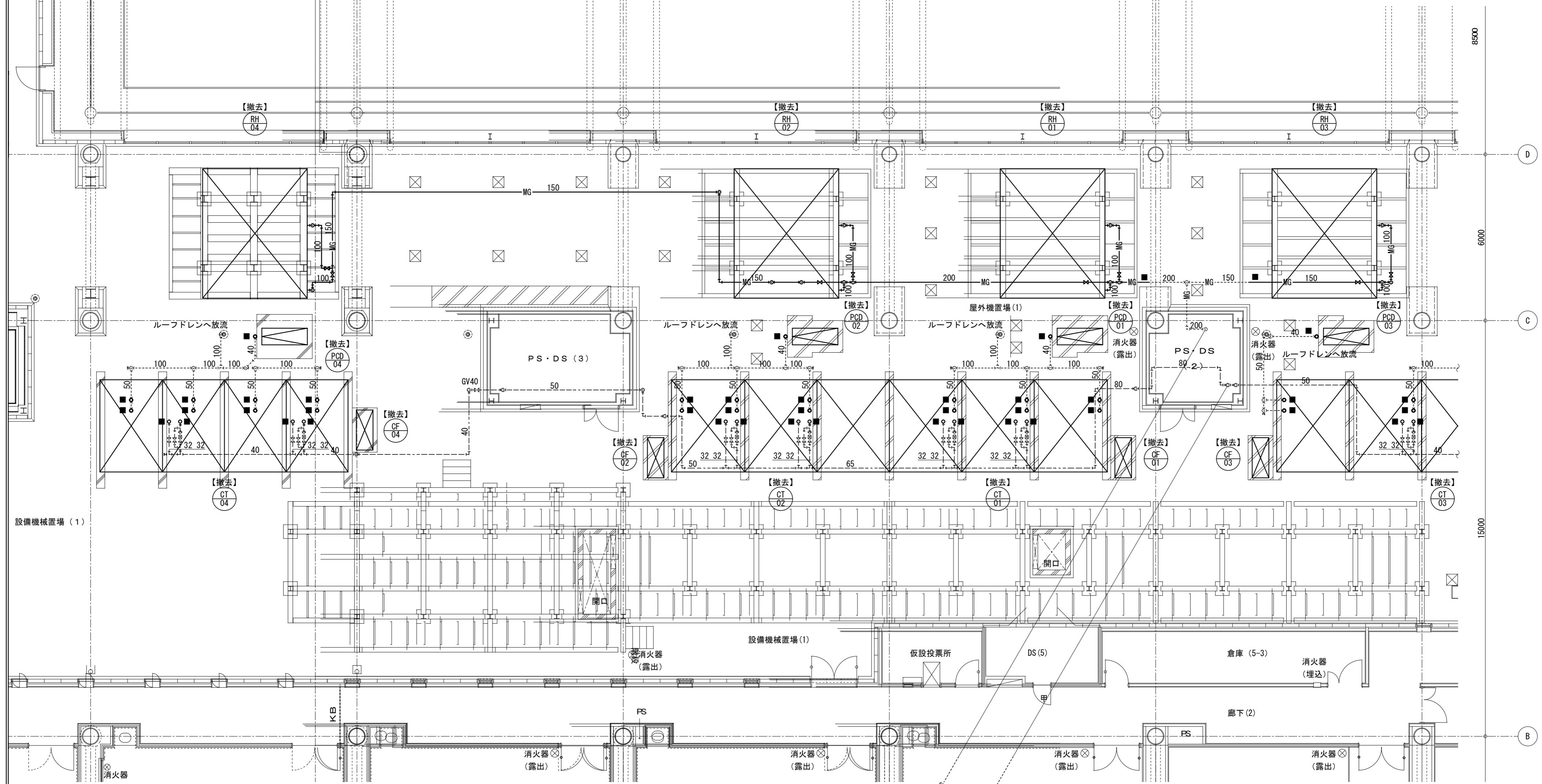
給水管	GV32 (× 6)
	FJ32 (× 4)
	Y形ストレーナー
	32 (× 1)
	電磁弁装置

※()内は、既設のまととする。

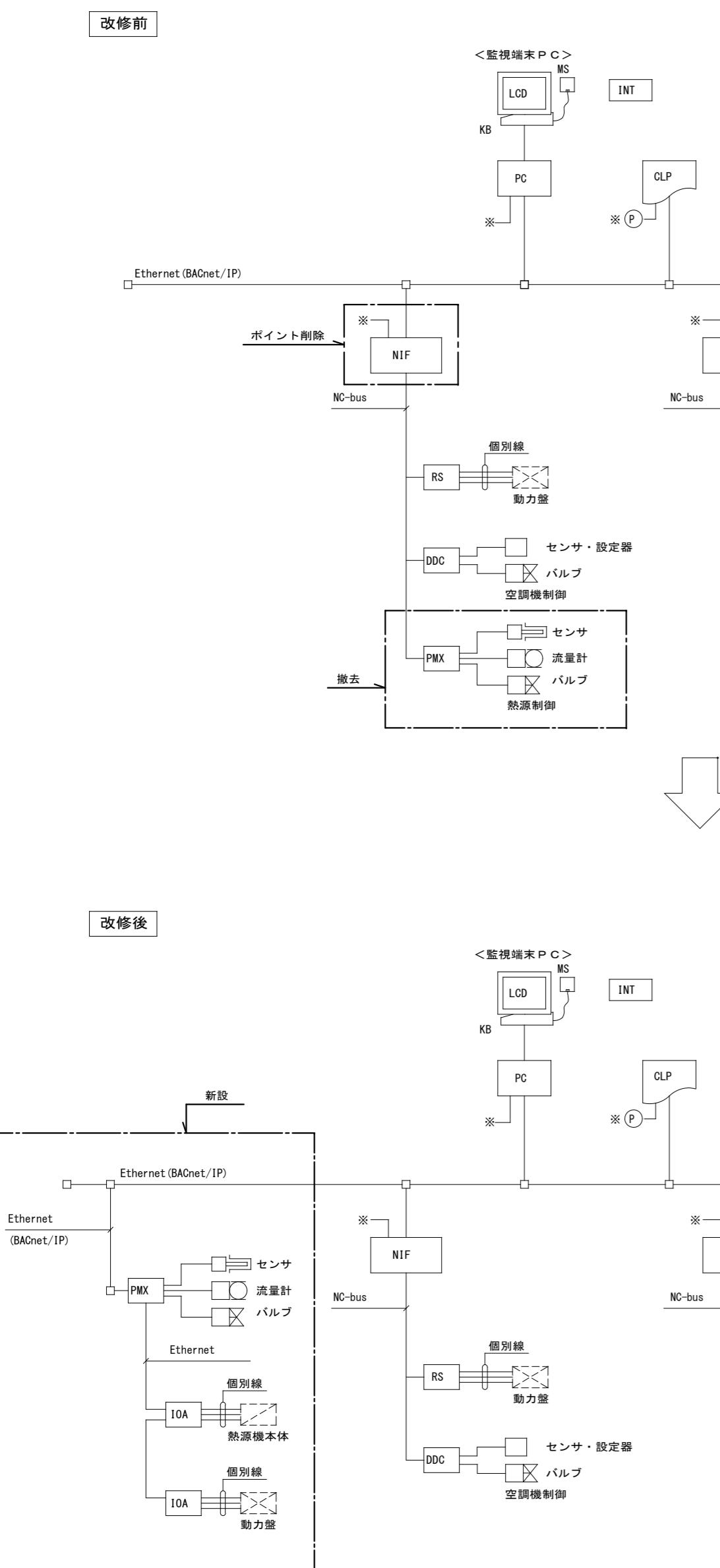
8 9 10 11

9600 9600 9600

【撤去】既設給水管
【撤去】既設ドレン排水管
【撤去】既設中圧ガス管
既設給水管
既設ドレン排水管
既設中圧ガス管
既設配管切断箇所

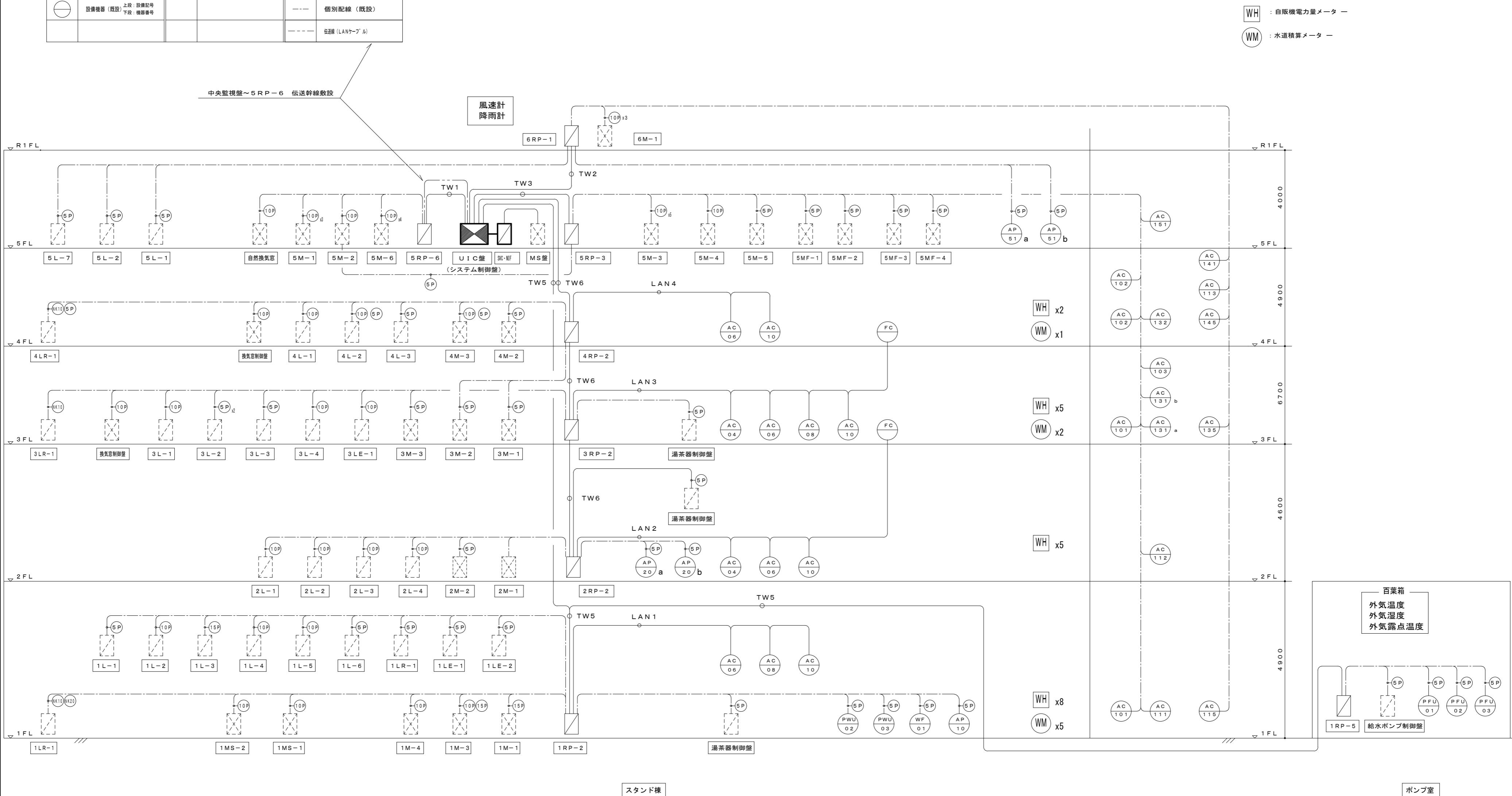


工事概要
吸収式冷温水機更新に伴い、既存中央監視装置において以下の改修を行う。
・ポイントデータファイル変更
・サマリグラフ修正（5枚）



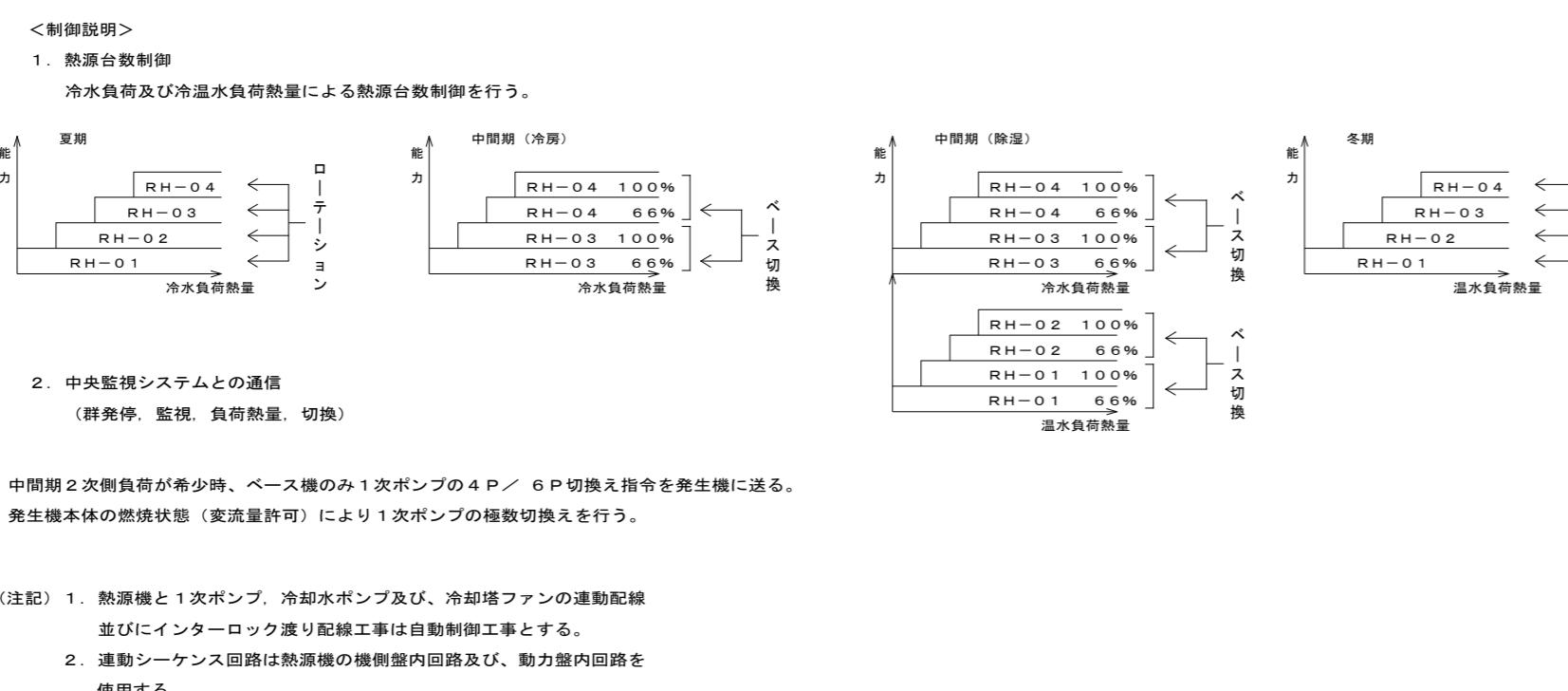
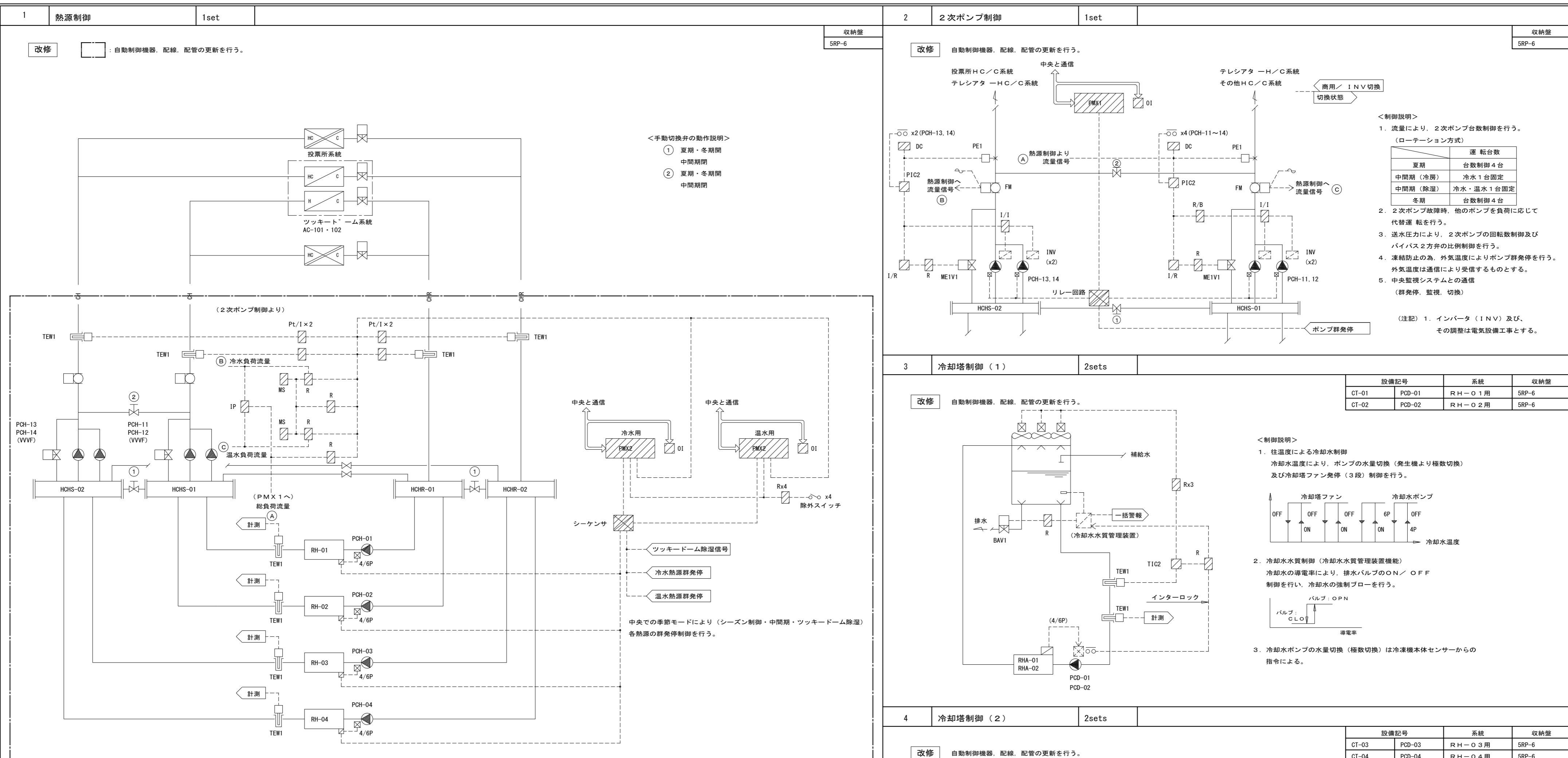
□ : 本工事改修範囲を示す

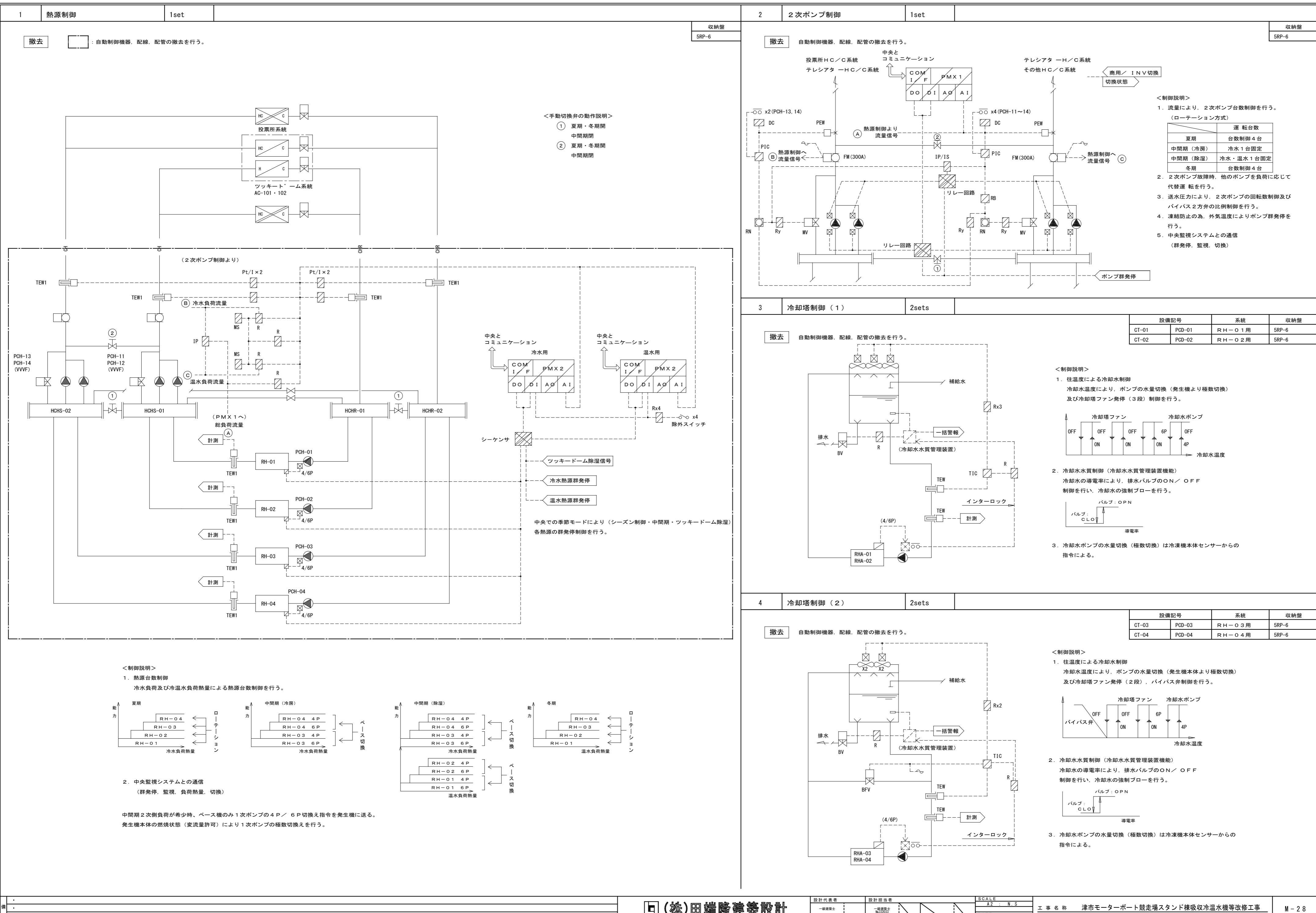
記号	名称	概要	参考仕様
PC	中央監視端末	システム管理情報の表示・操作及び、各種プログラムの設定、変更を行う。マウスにて画面の選択及び、操作を行う。	CPU : Intel Core i3-5157U以上 グラフィック : Intel HD 5500以上 メモリ : 8GB以上 ストレージ (SSD) : 推奨256GB以上 (70GB以上の空き容量) 光学ドライブ : DVD-ROMドライブ 電源 : AC100V±10%, 60Hz, 350VA (LCD含む) OS : Microsoft Windows 10 (64ビット) ライセンス : Microsoft Enterprise プラグイン : Microsoft Excel 周辺機器 : マウス (MS), キーボード (KB), スピーカー (SP)
LCD (PC)	液晶ディスプレイ	表示の中心となるユニットで、各種のリストやグラフの表示を行う。又、マルチウィンドウ表示により複数のグラフ、データの同時表示を行う。	表示サイズ : 23.8型 表示色 : 16.7万色以上 表示文字 : 英文数字、カナ、ひらがな、漢字 (JIS第1、第2水準) 解像度 : 1920×1080ドット
CLP	カラーレーザプリンタ	各種データの印字を行う。 1. 日報、月報、年報 2. トレンドデータ 3. 各種一覧リスト 4. 画面	印字方法 : 電子写真方式 印字色 : フルカラー 印用紙 : A4 電源 : AC100V±10%, 60Hz, 1500VA
UPS (撤去)	無停電電源装置	中央監視装置及び、必要な端末伝送装置に無停電電源を供給する。	入力 : AC/GC100V 出力 : AC100V バッテリー動作時間 : 10分 バッテリー種類 : 小型シール鉛蓄電池 給電方式 : 常時インバータ方式
Ethernet (BACnet/IP)		中央監視装置の基幹をなす伝送幹線であり、各種データ伝送を行う。通信プロトコルはBACnet 2012 (プロトコルリビジョン14), HTTPSなど。	通信方式 : Ethernet, TCP/IPプロトコル群, IPv4対応 通信速度 : 100Mbps ケーブル仕様 : 100BASE-T (カテゴリ-5e以上) 100BASE-FX (エコマテリアル)
SVC	統合コントローラ	PC (中央監視端末) のシステム全体の管理情報 (グラフィック画面、ポイント、プログラム等) の表示、設定、操作を行う為の情報の一元管理を行う。また、システム全体の管理、定期周期でのデータ収集、蓄積、加工及び、下記の周辺装置への入出力を統括管理する。(24時間連続運転対応) 各コントローラと伝送を行い、ポイントデータ、スケジュール制御等を管理する。又、トレンドデータの蓄積を行う。	主処理装置 : 64ビットCPU 主記憶容量 : 2GB以上 補助記憶装置 : SSD等 (システム機能仕様を満たすこと) OS : Linux 最大管理点数 : 2820ポイント 電源 : AC100~240V, 60Hz, 60VA 画面枚数 : 56枚 (参考枚数)
NIF	NC-bus インターフェース	中央監視装置とNC-bus通信リモート機器との通信を行う。	通信方式 : 上位レベル BACnet/IP 下位レベル NC-bus (専用通信) NC-busライン数 : 4ライン/ユニット 電源 : AC100~240V, 60Hz, 63VA
RS	リモートステーション	中央監視装置とデータ通信を行う。各監視対象との取扱いは個別配線する。	入出力点数 : 中央管理点入出力一覧表参照 監視内容 : 自動制御計装図参照 電源 : AC100~240V, 60Hz 通信方式 : 上位レベル : BACnet/IP 下位レベル : BACnet MS/TP又はModbus
PMX	熱源用コントローラ	熱源回りの制御を行う。中央監視装置とデータ通信を行う。	入出力点数 : 中央管理点入出力一覧表参照 制御内容 : 自動制御計装図参照 電源 : AC100~240V, 60Hz 通信方式 : 上位レベル : BACnet/IP 下位レベル : Ethernet (I/Oモジュール用)
IOA	高速リモート I/Oモジュール	PMXとデータ伝送を行う。	入出力点数 : 中央管理点入出力一覧表参照 電源 : AC100~240V, 60Hz 通信方式 : Ethernet



設備記号	名 称	自動制御盤	信号取合先	リモート種別	操 作		表 示		計 測			計量		備 考
					設定	オンオフ	オンオフ	状態	警報	温度	湿度	その他		
<<<新設ポイント>>> ※コントローラ更新に伴いポイント新設														
冷水熱源 群指令	5RP-6		PMX		1									
冷熱 シーズン／中間期切換	5RP-6		PMX		1	1								
冷水熱源 自動手動切換	5RP-6		PMX		1	1								
冷水熱源 再起動防止中	5RP-6		PMX			1								
冷水熱源 往水温度	5RP-6		PMX				1							
冷水熱源 加算熱量	5RP-6		PMX					1						
冷水熱源 加算熱量積算	5RP-6		PMX						1					
投票所系 還水温度	5RP-6		PMX					1						
中間期投票所系 冷水流量	5RP-6		PMX						1					
中間期投票所系 冷水熱量	5RP-6		PMX						1					
中間期投票所系 積算流量	5RP-6		PMX							1				
中間期投票所系 積算熱量	5RP-6		PMX							1				
シーズン冷水系 還水温度	5RP-6		PMX					1						
シーズン冷水系 冷水流量	5RP-6		PMX						1					
シーズン冷水系 冷水熱量	5RP-6		PMX						1					
シーズン冷水系 積算流量	5RP-6		PMX							1				
シーズン冷水系 積算熱量	5RP-6		PMX							1				
N O 1 熱源機器（冷水）	5RP-6		PMX		1	1	1							
N O 1 冷房能力	5RP-6		PMX		1									
N O 2 熱源機器（冷水）	5RP-6		PMX		1	1	1							
N O 2 冷房能力	5RP-6		PMX		1									
N O 3 熱源機器（冷水）	5RP-6		PMX		1	1	1							
N O 3 冷房能力	5RP-6		PMX		1									
N O 4 熱源機器（冷水）	5RP-6		PMX		1	1	1							
N O 4 冷房能力	5RP-6		PMX		1									
温水熱源 群指令	5RP-6		PMX		1									
温熱 シーズン／中間期切換	5RP-6		PMX		1	1								
温水熱源 自動手動切換	5RP-6		PMX		1	1								
温水熱源 再起動防止中	5RP-6		PMX			1								
温水熱源 往水温度	5RP-6		PMX				1							
温水熱源 加算熱量	5RP-6		PMX					1						
温水熱源 加算熱量積算	5RP-6		PMX						1					
中間期ツッキ系 還水温度	5RP-6		PMX					1						
中間期ツッキ系 温水流量	5RP-6		PMX						1					
中間期ツッキ系 温水熱量	5RP-6		PMX						1					
中間期ツッキ系 積算流量	5RP-6		PMX							1				
中間期ツッキ系 積算熱量	5RP-6		PMX							1				
シーズン温水系 還水温度	5RP-6		PMX			1								
シーズン温水系 温水流量	5RP-6		PMX				1							
シーズン温水系 温水熱量	5RP-6		PMX					1						
シーズン温水系 積算流量	5RP-6		PMX						1					
シーズン温水系 積算熱量	5RP-6		PMX							1				
N O 1 熱源機器（温水）	5RP-6		PMX		1	1	1							
N O 1 暖房能力	5RP-6		PMX		1									
N O 2 熱源機器（温水）	5RP-6		PMX		1	1	1							
N O 2 暖房能力	5RP-6		PMX		1									
N O 3 熱源機器（温水）	5RP-6		PMX		1	1	1							
N O 3 暖房能力	5RP-6		PMX		1									
N O 4 熱源機器（温水）	5RP-6		PMX		1	1	1							
N O 4 暖房能力	5RP-6		PMX		1									
2次ポンプ群指令	5RP-6		PMX		1									
2次ポンプ群手切換	5RP-6		PMX		1	1								
2次ポンプ群再起動防止中	5RP-6		PMX			1								
2次ポンプ群（スケジュール用）	5RP-6		---			1								
2次ポンプ群（凍結防止用）	5RP-6		---			1								
2次側 総流量	5RP-6		PMX						1					
2次側 総積算流量	5RP-6		PMX							1				
PCH-11 冷温水2次ポンプ	5RP-6	5M-6	PMX		1	1	1							
PCH-12 冷温水2次ポンプ	5RP-6	5M-6	PMX		1	1	1							
PCH-13 冷温水2次ポンプ	5RP-6	5M-6	PMX		1	1	1							
PCH-14 冷温水2次ポンプ	5RP-6	5M-6	PMX		1	1	1							

設備記号	名 称	自動制御盤	信号取合先	リモート種別	操 作		表 示		計 測			計量		備 考
					設定	オンオフ	オンオフ	状態	警報	温度	湿度	その他		
<<<既存再利用ポイント>>>														
投票所系統 往水温度	5RP-6		RS										1	
熱源冷暖指令	5RP-6		RS		1	1								
RH-01 冷温水発生機	5RP-6	RH-01	RS							1	1			
RH-02 冷温水発生機	5RP-6	RH-02	RS							1	1			
RH-03 冷温水発生機	5RP-6	RH-03	RS							1	1			
RH-04 冷温水発生機	5RP-6	RH-04	RS							1	1			
RH-01 出口温度	5RP-6		RS									1		
RH-02 出口温度	5RP-6		RS											





自動制御機器表 (改修後)

記号	名称	形番	備考
BAV1	電動2方ボール弁	VY6300B	二位置
BV2	電動バタフライ弁	DN2	比例
DC	DC24V電源	RYY792D	
FM	電磁流量計	MGG10C/MGG11	
I/I	アイソレータ	RYY792S	
I/R	モータドライバー	RN796A	
IP	計算器		
ME1V1	電動2方弁	VY5113J	比例、高差圧対応
MS	ミニタスイッチ	RYY792M	C接点、2点出力
O1	オペレータインターフェース	QJ-1101D0000	
PE1	圧力センサ	JTG	
PIC2	圧力指示調節器	R36T00	比例
PMX1	ポンプコントローラ	WJ-1102P	ポンプ用
PMX2	チラーコントローラ	WJ-1102Q	熱源機用
Pt/1	Pt/1変換器	RYY792P	
R	補助リレー	R	
R/B	レシオバイアス設定器	RYY792B	アイソレート機能付き
TEW1	配管用温度センサ	TY7830B15	Pt100Ω、R3/4
TIC2	温度指示調節器	R36TR0	二位置二段
TIC4	温度指示調節器	R36T00	比例
	シーケンサ		AC100~200V

自動制御機器表 (改修前)

記号	名称	形番	備考
BFV	電動バタフライ弁		KITS製
BV	電動ボール弁	VY6100D	
FM	電磁流量計	KID70A	
I/I	アイソレータ	RY7910S	
MV	電動2方弁	VY5110	
PEW	圧力発信器	PY7100A	
PIC	圧力指示調節計	R312G	
PMX1	台数制御ユニット	WY5130P	ポンプ用
PMX2	台数制御ユニット	WY5130Q	熱源機用
R	補助リレー		
TEW	室内形温度検出器	TY7830B	Pt100Ω
TIC	温度指示調節計	R31/R36	
	シーケンサ		AC100~200V DC入力32点、リレー出力32点

バルブ口径表 (改修後)
流体 W2 : 水 (2方弁)
単位 流体W2 : 流量 [l/m] 、△P [kPa]

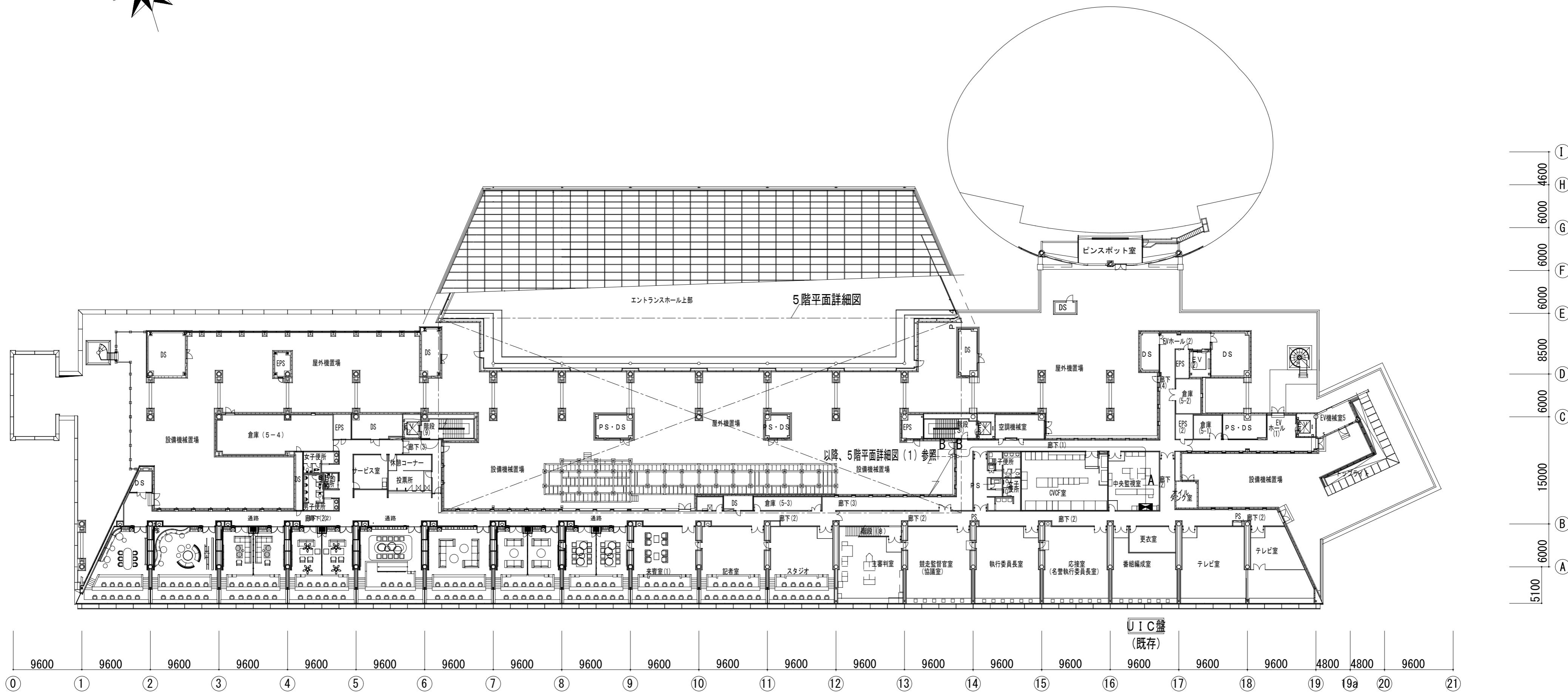
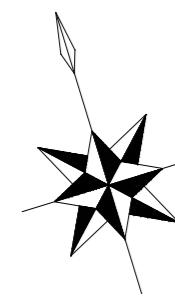
系統名	流体	流量	Pi	△P	CV	口径(A)	備考
<熱源制御>							
PCH-11, 12 バイパス弁	W2	1,512	30.0	191.4	125		
PCH-11, 12 流量計	W	10,080			300		
PCH-13, 14 バイパス弁	W2	1,512	30.0	191.4	125		
PCH-13, 14 流量計	W	10,080			300		
CT-O1 補給水弁	W2				40		
CT-O2 補給水弁	W2				40		
CT-O3 補給水弁	W2				40		
CT-O4 補給水弁	W2				40		
CT-O3 バイパス弁	W2	8,334	20.0	1291.8	250		
CT-O4 バイパス弁	W2	8,334	20.0	1291.8	250		

バルブ口径表 (改修前)
流体 W2 : 水 (2方弁)
単位 流体W2 : 流量 [l/m] 、△P [kPa]

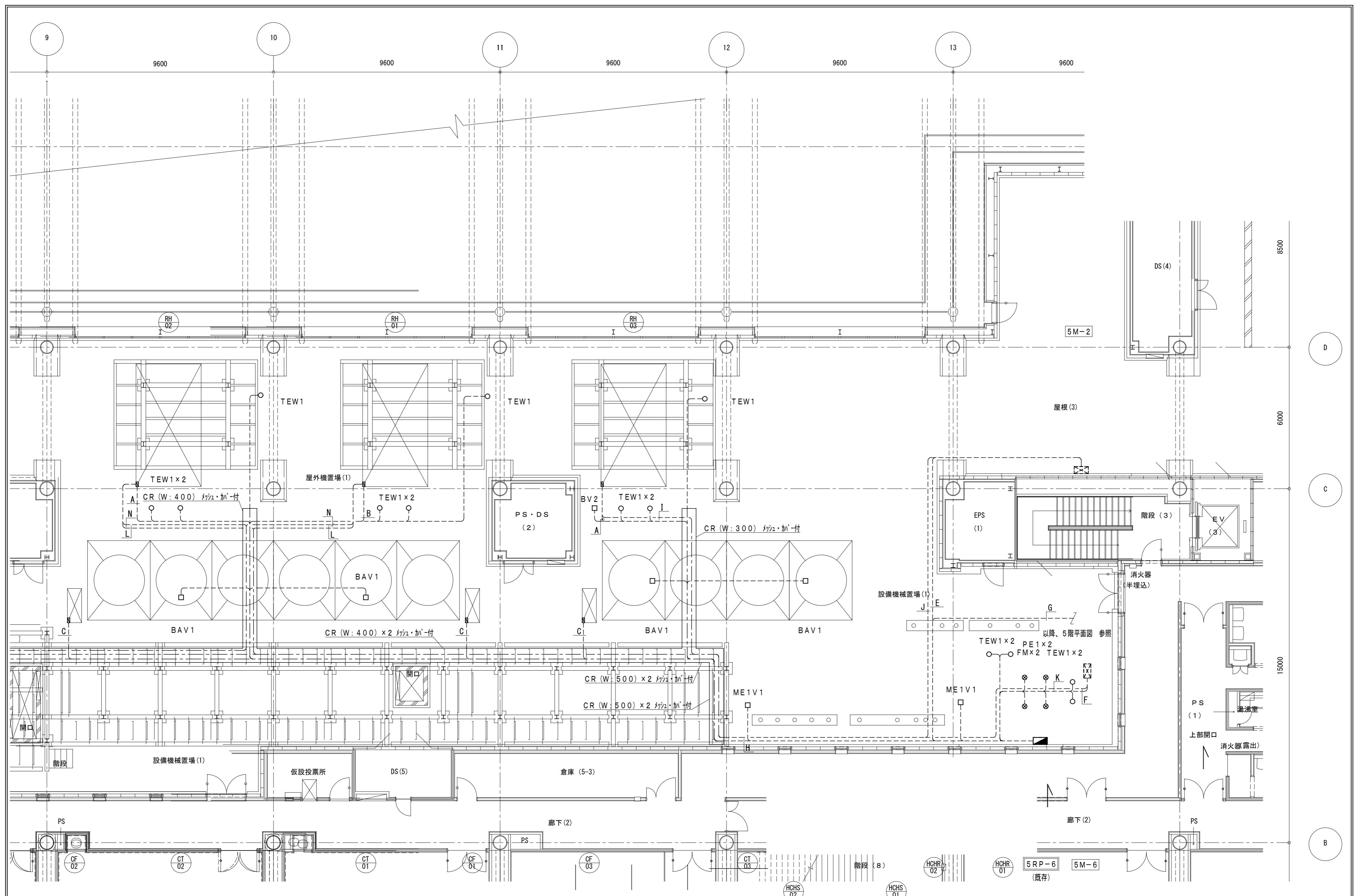
系統名	流体	流量	Pi	△P	CV	口径(A)	備考
<熱源制御>							
PCH-11, 12 バイパス弁	W2	1,520				100	
PCH-11, 12 流量計	W	10,080				300	
PCH-13, 14 バイパス弁	W2	1,520				100	
PCH-13, 14 流量計	W	10,080				300	
CT-O1 補給水弁	W2					40	
CT-O2 補給水弁	W2					40	
CT-O3 補給水弁	W2					40	
CT-O4 補給水弁	W2					40	
CT-O3 バイパス弁	W2	8,334				150	
CT-O4 バイパス弁	W2	8,334				150	

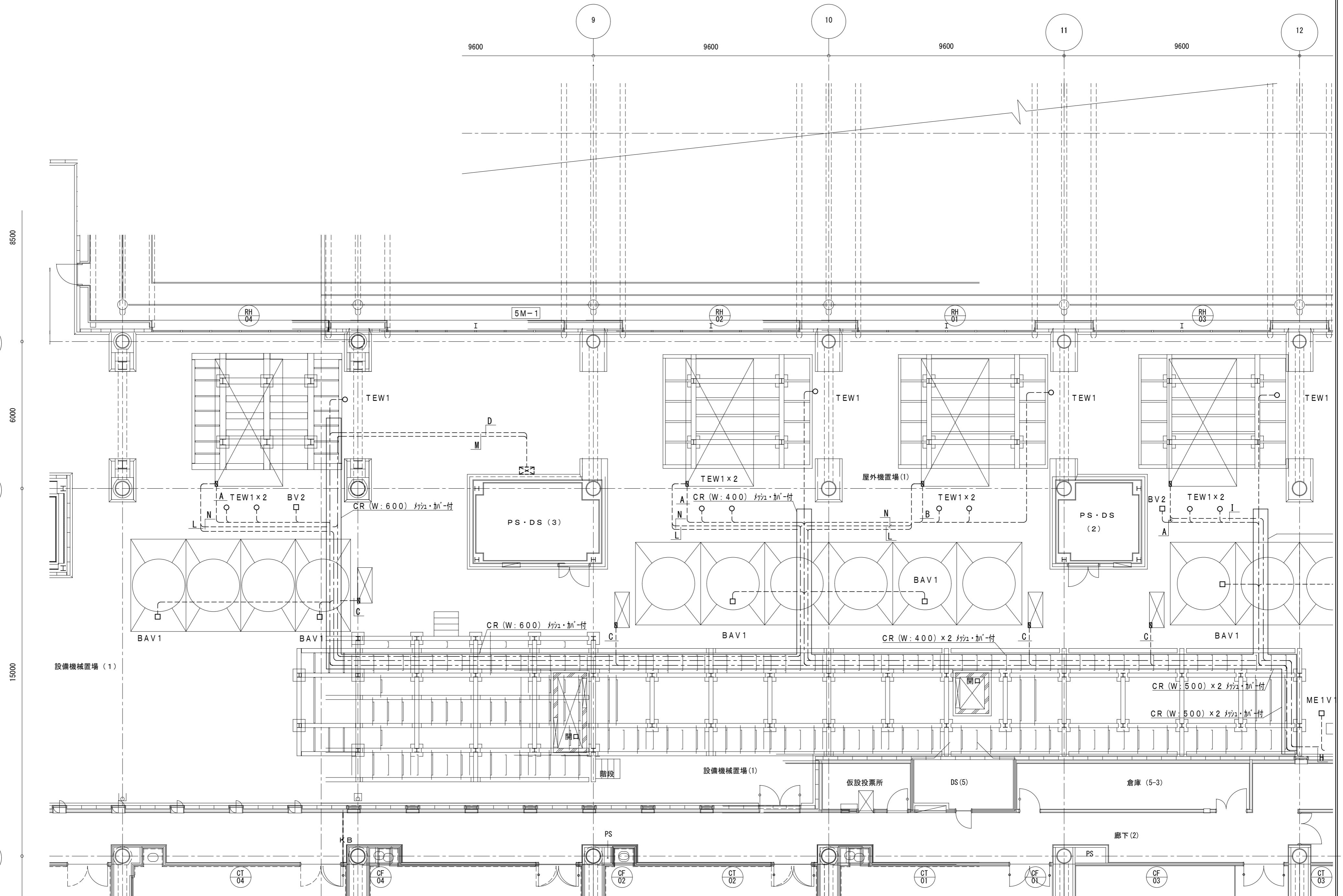
盤表

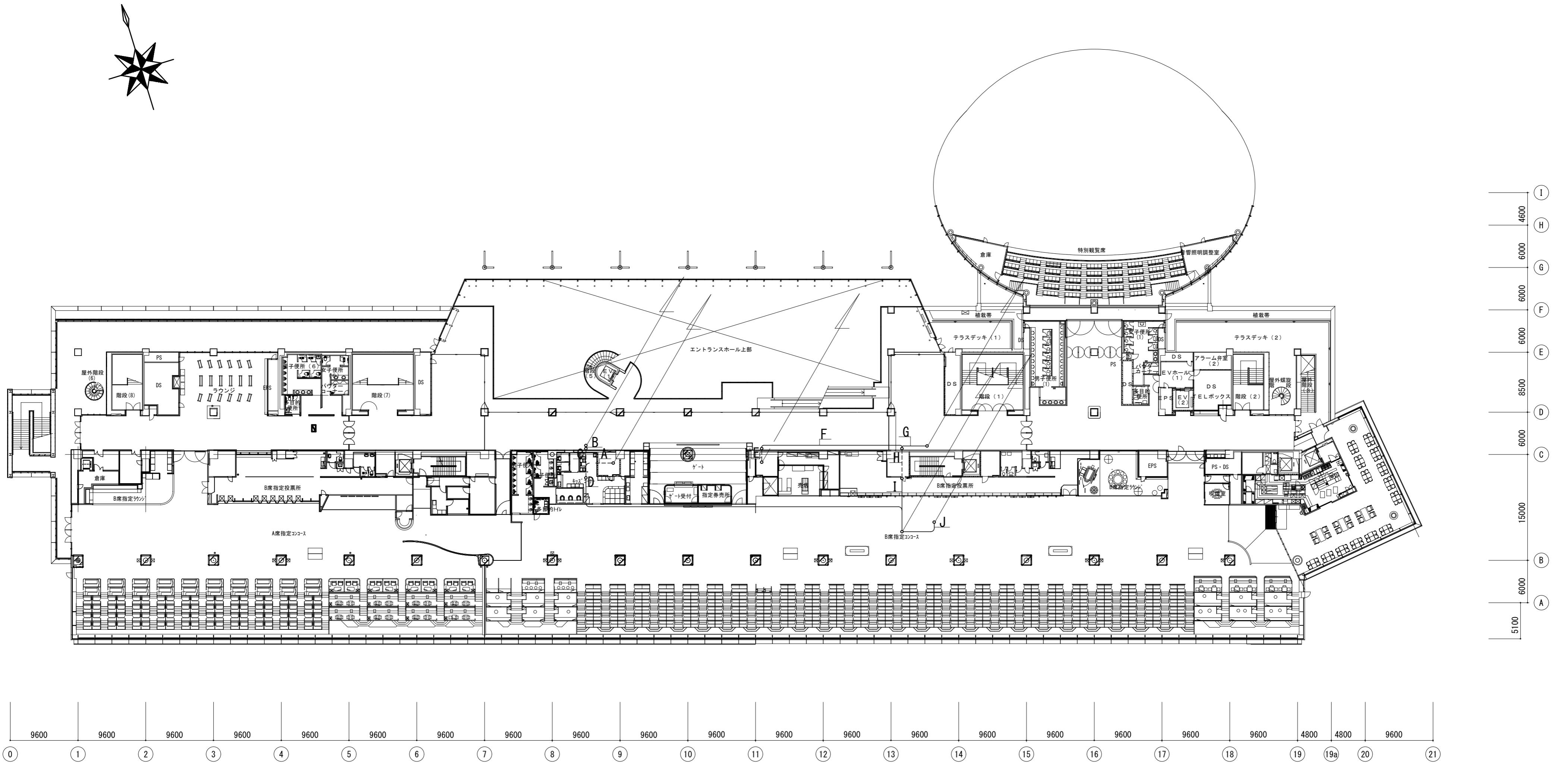
盤名	形状	収納系統名	備考
既存5RP-6	既存	熱源制御、2次ポンプ制御 冷却塔制御(1)(2) 中央管理点出入力一覧表参照	既存盤改造



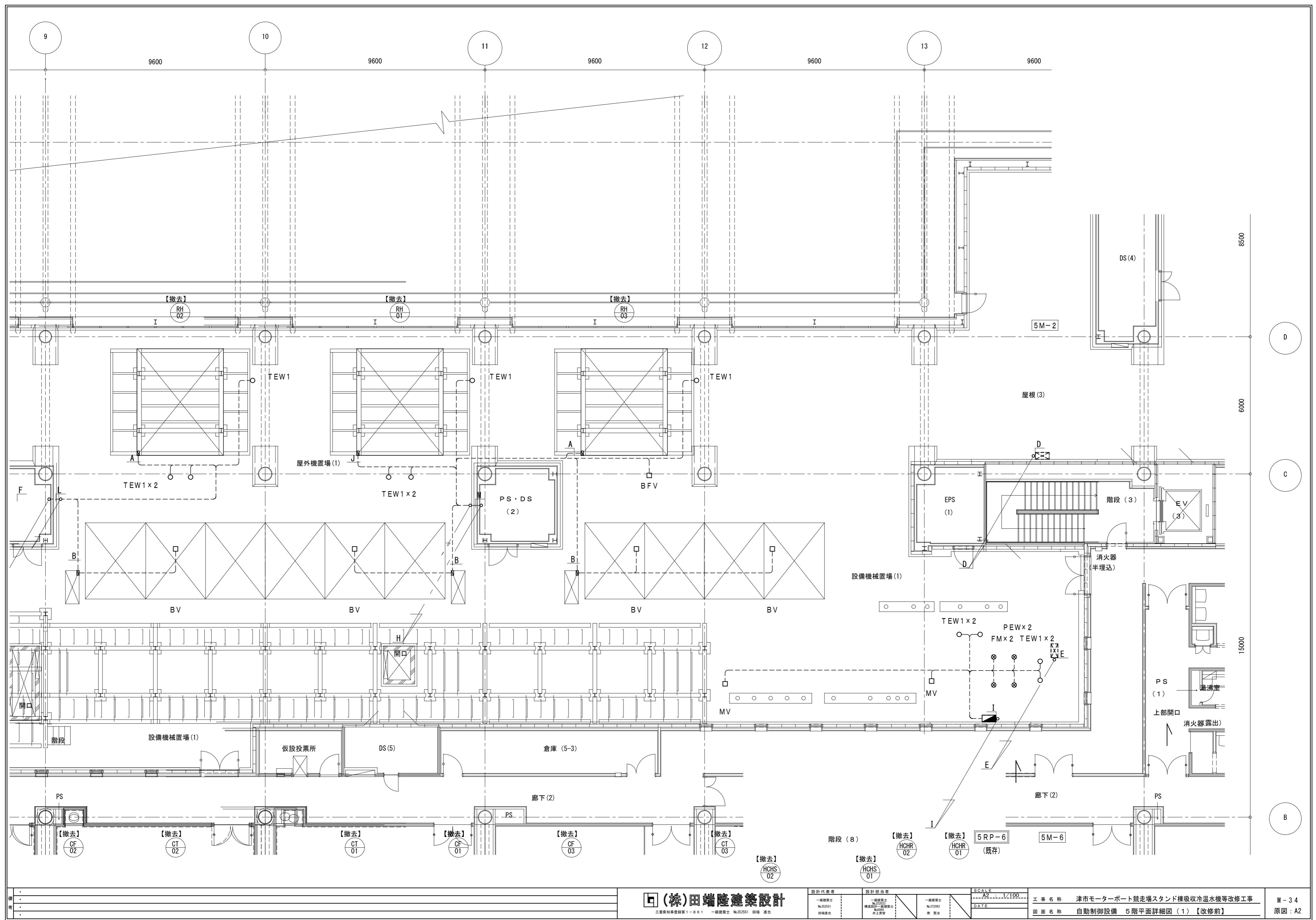
5階 平面図 S=1/40

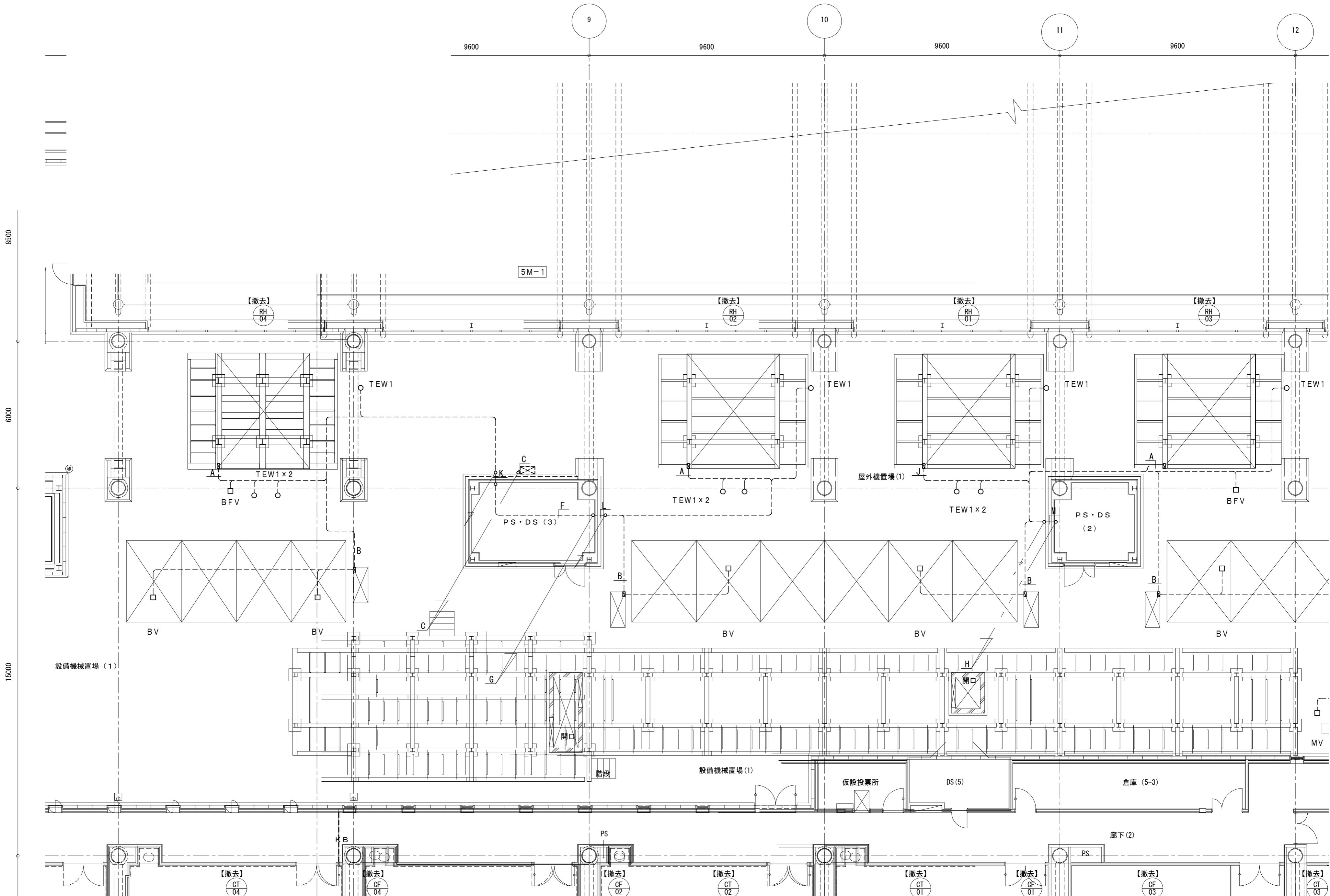






4階 平面図 S=1/400





機器凡例					
シンボル	記号	配線		配管	
		(室内)	(屋外)		
○	T E W 1	CW1.25□	- 3C × 1		(G22)
□	M V	CW1.25□	- 6C × 1		(G28)
□	B F V	CW2□	- 3C × 1		(G22)
		CW S1.25□	- 2C × 1		(G22)
□	B V	CW2□	- 3C × 1		(G22)
⊗	P E W	CW S1.25□	- 2C × 1		(G22)
⊗	F M	CW2□	- 3C × 1		(G22)
		CW S1.25□	- 2C × 1		(G22)

記号凡例	
平面図記号	内 容
-----	天井内ケーブル配線
-----	露出配管

- (特記)
 ・ 天井内はケーブルコロガシを使用する。
 ・ SSは発停用の配線、INTはインターロック用の配線を示す。

-4F(改修前)-					
-A-					
CVV2□	-2C	x2	(E31)	CF-2	
CVV2□	-2C	x2	(E39)	CF-4	
CVV2□	-3C	x1	↑	B F V	
CVV1.25□	-3C	x1	(E51)	T E W 1	
CPEVO.9mm	-5P	x1	↑	R H - 2	
KPEVSO.75□	-10P	x1	↑	R H - 2	
CVV1.25□	-3C	x1	(E51)	T E W 1	
CPEVO.9mm	-5P	x1	↑	R H - 4	
KPEVSO.75□	-10P	x1	↑	R H - 4	
CVV1.25□	-3C	x2	(E51)	T E W 1 × 2	
CPEVO.9mm	-3P	x1	↑	CF-2	
KPEVSO.75□	-3P	x1	↑	CF-2	
KPEVSO.75□	-10P	x1	↑	4/6 P信号 (CT-02)	
CVV1.25□	-3C	x2	(E63)	T E W 1 × 2	
CVVS1.25□	-2C	x1	↑	B F V	
CPEVO.9mm	-3P	x1	↑	CF-4	
KPEVSO.75□	-3P	x1	↑	CF-4	
KPEVSO.75□	-10P	x1	↑	4/6 P信号 (CT-04)	
-B-					
CVV2□	-2C	x5	(コロガシ)	SS × 4、INT	
CVV2□	-2C	x8	(コロガシ)	SS × 6、INT × 2	
CVV2□	-6C	x1	(コロガシ)	5M-1	
CPEVO.9mm	-10P	x2	(コロガシ)	5M-1	
CVVS1.25□	-2C	x2	(コロガシ)	5M-1	
KPEVSO.75□	-20P	x1	(コロガシ)	5M-1	
KPEVSO.75□	-20P	x1	(コロガシ)	5M-1	
KPEVSO.75□	-10P	x1	(コロガシ)	4/6 P信号 (CT-04)	
-C-					
CVV2□	-2C	x5	(E51)	SS × 4、INT	
CVV2□	-2C	x8	(E63)	SS × 6、INT × 2	
CVV2□	-6C	x1	↑	5M-1	
CPEVO.9mm	-10P	x2	(E75)	x2 5M-1	
CVVS1.25□	-2C	x2	↑	5M-1	
KPEVSO.75□	-20P	x1	↑	5M-1	
KPEVSO.75□	-10P	x2	↑	4/6 P信号 (CT-01)、4/6 P信号 (CT-02)	
KPEVSO.75□	-20P	x1	(E63)	5M-1	
KPEVSO.75□	-10P	x1	↑	4/6 P信号 (CT-04)	

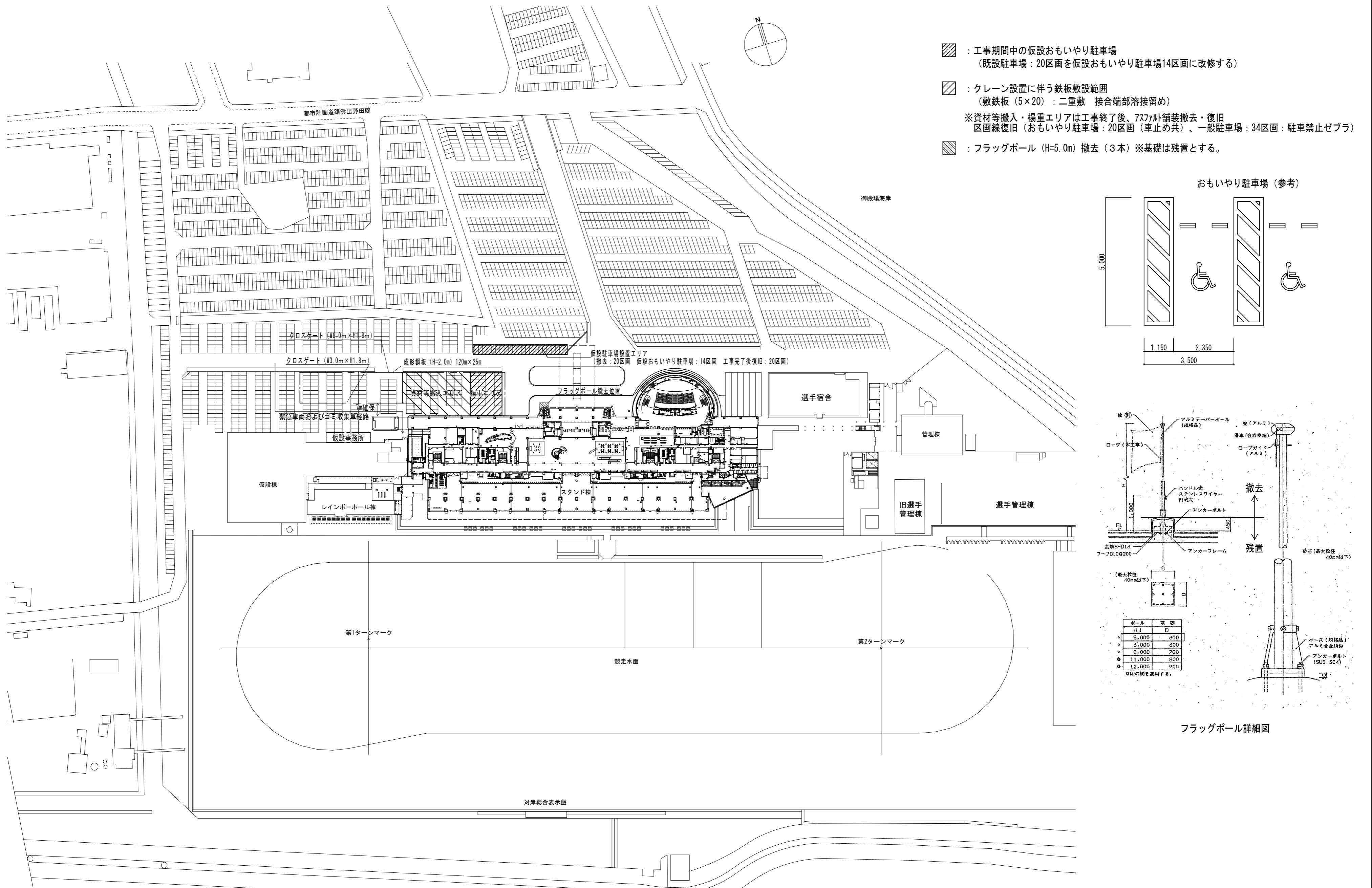
-4F(改修前)-					
-D-					
CVV2□	-2C	x8	(コロガシ)	SS × 6、INT × 2	
CVV2□	-6C	x1	(コロガシ)	5M-1	
CVV2□	-2C	x2	(コロガシ)	CF-2	
CVV2□	-2C	x2	(コロガシ)	CF-4	
CVV2□	-2C	x5	(コロガシ)	SS × 4、INT	
CVV2□	-3C	x1	(コロガシ)	B F V	
CVV1.25□	-3C	x2	(コロガシ)	T E W 1 × 2	
CPEVO.9mm	-10P	x2	(コロガシ)	5M-1	
KPEVSO.75□	-20P	x1	(コロガシ)	5M-1	
CVV1.25□	-3C	x1	(コロガシ)	B F V	
CPEVO.9mm	-3P	x1	(コロガシ)	CF-2	
KPEVSO.75□	-3P	x1	(コロガシ)	CF-2	
KPEVSO.75□	-10P	x1	(コロガシ)	4/6 P信号 (CT-01)	
CVV1.25□	-3C	x2	(E51)	T E W 1 × 2	
CPEVO.9mm	-3P	x1	(コロガシ)	CF-4	
KPEVSO.75□	-10P	x1	(コロガシ)	5M-1	
CVV1.25□	-3C	x1	(コロガシ)	T E W 1	
CPEVO.9mm	-5P	x1	(コロガシ)	R H - 2	
KPEVSO.75□	-10P	x1	(コロガシ)	R H - 2	
CVV1.25□	-3C	x1	(コロガシ)	T E W 1	
CPEVO.9mm	-5P	x1	(コロガシ)	R H - 4	
KPEVSO.75□	-10P	x1	(コロガシ)	R H - 4	
CVV1.25□	-3C	x2	(E51)	T E W 1 × 2	
CPEVO.9mm	-3P	x1	↑	CF-2	
KPEVSO.75□	-3P	x1	↑	CF-2	
KPEVSO.75□	-10P	x1	↑	4/6 P信号 (CT-02)	
CVV1.25□	-3C	x2	(E63)	T E W 1 × 2	
CVVS1.25□	-2C	x1	↑	B F V	
CPEVO.9mm	-3P	x1	↑	CF-4	
KPEVSO.75□	-3P	x1	↑	CF-4	
KPEVSO.75□	-10P	x1	↑	4/6 P信号 (CT-04)	
-E-					
CVV2□	-2C	x2	(E31)	CF-1	
CVV2□	-2C	x2	(E39)	CF-3	
CVV2□	-3C	x1	↑	B F V	
CVV1.25□	-3C	x1	(E51)	T E W 1	
CPEVO.9mm	-5P	x1	↑	R H - 1	
KPEVSO.75□	-5P	x1	↑	R H - 1	
CVV1.25□	-5P	x1	↑	R H - 1	
KPEVSO.75□	-10P	x1	↑	R H - 1	
CVV1.25□	-3C	x1	(E51)	T E W 1	
CPEVO.9mm	-5P	x1	↑	R H - 3	
KPEVSO.75□	-10P	x1	↑	R H - 3	
CVV1.25□	-3C	x2	(E51)	T E W 1 × 2	
KPEVSO.75□	-3P	x1	↑	CF-1	
CPEVO.9mm	-3P	x1	↑	CF-1	
KPEVSO.75□	-10P	x1	↑	4/6 P信号 (CT-01)	
CVV1.25□	-2C	x1	(E51)	B F V	
CPEVO.9mm	-3P	x1	↑	CF-3	
KPEVSO.75□	-3P	x1	↑	CF-3	
KPEVSO.75□	-10P	x1	↑	4/6 P信号 (CT-03)	
-F-					
CVV2□	-2C	x2	(コロガシ)	CF-1	
CVV2□	-2C	x2	(コロガシ)	CF-3	
CVV2□	-3C	x1	(コロガシ)	B F V	
CVV1.25□	-3C	x1	(コロガシ)	T E W 1	
CPEVO.9mm	-5P	x1	(コロガシ)	R H - 1	
KPEVSO.75□	-5P	x1	(コロガシ)	R H - 1	
CVV1.25□	-10P	x1	(コロガシ)	R H - 1	
KPEVSO.75□	-10P	x1	(コロガシ)	R H - 1	
CVV1.25□	-3C	x1	(コロガシ)	T E W 1	
CPEVO.9mm	-5P	x1	(コロガシ)	R H - 3	
KPEVSO.75□	-10P	x1	(コロガシ)	R H - 3	
CVV1.25□	-3C	x2	(E51)	T E W 1 × 2	
CPEVO.9mm	-3P	x1	(コロガシ)	CF-1	
KPEVSO.75□	-3P	x1	(コロガシ)	CF-1	
KPEVSO.75□	-10P	x1	(コロガシ)	4/6 P信号 (CT-01)	
CVV1.25□	-2C	x2	(E51)	B F V	
CPEVO.9mm	-3P	x1	(コロガシ)	CF-3	
KPEVSO.75□	-3P	x1	(コロガシ)	CF-3	
KPEVSO.75□	-10P	x1	(コロガシ)	4/6 P信号 (CT-03)	

-4F(改修前)-			
-----------	--	--	--

-5F(改修前)-					
-A-					
CPEVO. 9mm	-5P	x1	(G36)	R H - *	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	R H - *	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	(G36)	4 / 6 P信号 (CT - *)	
-B-					
CVV2口	-2C	x2	(G28)	C F - *	
CPEVO. 9mm	-3P	x1	(G28)	C F - *	
KPEVSO. 75口	-3P	x1	↑	C F - *	
-C-					
CVV2口	-2C	x5	(G42)	S S × 4、I N T	
CVV2口	-6C	x1	(G70)	5 M - 1	
CVV2口	-2C	x8	↑	S S × 6、I N T × 2	
CPEVO. 9mm	-10P	x2	(G82)	5 M - 1	
CVVS1. 25口	-2C	x2	↑	5 M - 1	
KPEVSO. 75口	-20P	x1	↑	5 M - 1	
KPEVSO. 75口	-10P	x2	↑	4 / 6 P信号 (CT - 01)、4 / 6 P信号 (CT - 02)	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	(G54)	4 / 6 P信号 (CT - 04)	
KPEVSO. 75口	-20P	x1	↑	5 M - 1	
-D-					
CVV2口	-2C	x6	(G54)	S S × 4、I N T × 5、5 M - 2	
CVV2口	-6C	x1	↑	5 M - 2	
CPEVO. 9mm	-5P	x1	(G70)	5 M - 2	
KPEVSO. 75口	-20P	x1	↑	5 M - 2	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	4 / 6 P信号 (CT - 03)	
-E-					
CVV2口	-2C	x6	(G54)	I N T × 6	
CVVS1. 25口	-2C	x4	(G82)	5 M - 6	
CPEVO. 9mm	-20P	x1	↑	5 M - 6	
KPEVSO. 75口	-5P	x1	↑	5 M - 6	
KPEVSO. 75口	-20P	x2	↑	5 M - 6	
KPEVSO. 75口	-3P	x1	(G22)	5 M - 6	
KPEVSO. 75口	-3P	x1	(G22)	5 M - 6	
KPEVSO. 75口	-3P	x1	(G22)	5 M - 6	
-F-					
CVV2口	-2C	x2	(E39)	C F - 4	
CVV2口	-3C	x1	↑	B F V	
CPEVO. 9mm	-5P	x1	(E51)	R H - 4	
CVV1. 25口	-3C	x1	↑	T E W 1	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	R H - 4	
CVV1. 25口	-3C	x2	(E63)	T E W 1 × 2	
CVVS1. 25口	-2C	x1	↑	B F V	
KPEVSO. 75口	-3P	x1	↑	C F - 4	
CPEVO. 9mm	-3P	x1	↑	C F - 4	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	4 / 6 P信号 (CT - 04)	
-G-					
CVV2口	-2C	x2	(E31)	C F - 2	
CVV2口	-2C	x2	(E39)	C F - 4	
CVV2口	-3C	x1	↑	B F V	
CVV1. 25口	-3C	x1	(E51)	T E W 1	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	R H - 2	
CPEVO. 9mm	-5P	x1	↑	R H - 2	
CVV1. 25口	-3C	x1	(E51)	T E W 1	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	R H - 4	
CPEVO. 9mm	-5P	x1	↑	R H - 4	
CVV1. 25口	-3C	x2	(E51)	T E W 1 × 2	
KPEVSO. 75口	-3P	x1	↑	C F - 2	
CPEVO. 9mm	-3P	x1	↑	C F - 2	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	4 / 6 P信号 (CT - 02)	
CVV1. 25口	-3C	x2	(E63)	T E W 1 × 2	
CVVS1. 25口	-2C	x1	↑	B F V	
KPEVSO. 75口	-3P	x1	↑	C F - 4	
CPEVO. 9mm	-3P	x1	↑	C F - 4	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	4 / 6 P信号 (CT - 04)	

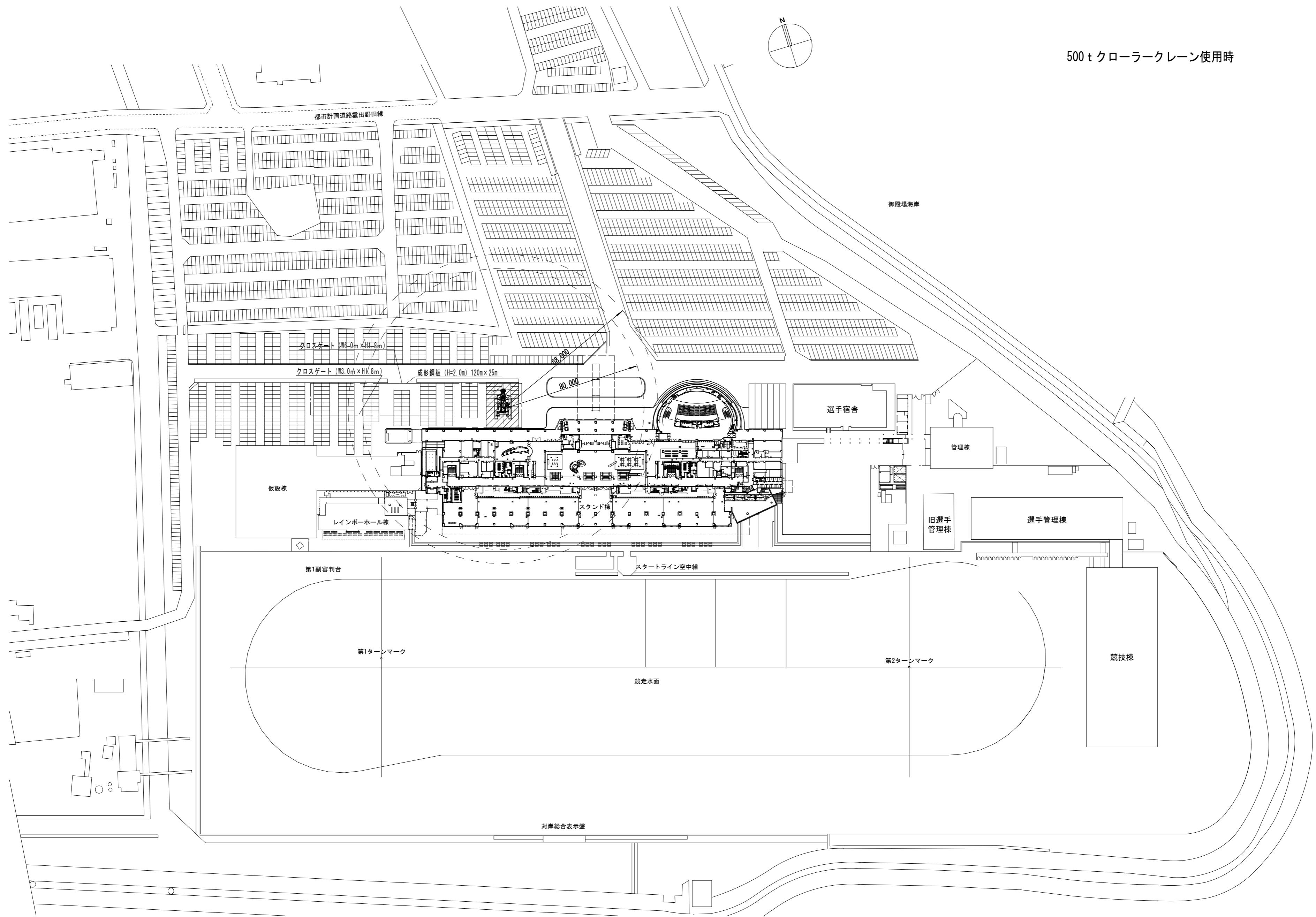
-5F(改修前)-					
-H-					
CVV2口	-2C	x2	(E31)	C F - 1	
CVV2口	-2C	x2	(E39)	C F - 3	
CVV2口	-3C	x1	↑	B F V	
CVV1. 25口	-3C	x1	(E51)	T E W 1	
CPEVO. 9mm	-5P	x1	↑	R H - 1	
KPEVSO. 75口	-5P	x1	↑	R H - 1	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	R H - 1	
CVV1. 25口	-3C	x1	(E51)	T E W 1	
CPEVO. 9mm	-5P	x1	↑	R H - 3	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	R H - 3	
CVV1. 25口	-3C	x2	(E51)	T E W 1 × 2	
CPEVO. 9mm	-3P	x1	↑	C F - 1	
KPEVSO. 75口	-3P	x1	↑	C F - 1	
CVV1. 25口	-3P	x1	↑	C F - 1	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	4 / 6 P信号 (CT - 01)	
CVV1. 25口	-3P	x1	(E51)	B F V	
CPEVO. 9mm	-3P	x1	↑	C F - 3	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	R H - 3	
CVV1. 25口	-3P	x1	(E51)	4 / 6 P信号 (CT - 04)	
-I-					
CVV2口	-2C	x6	(G54)	I N T × 6	
CVV2口	-2C	x12	(G70)	S S × 6、I N T × 2、C F - 2、C F - 1	
CVV2口	-6C	x1	↑	5 M - 1	
CVV2口	-2C	x8	(G70)	C F - 3、S S × 4、I N T、5 M - 2	
CVV2口	-6C	x1	↑	5 M - 2	
CVV2口	-3C	x1	↑	B F V	
CVV2口	-2C	x7	(G54)	S S × 4、I N T、C F - 4	
CVV2口	-3C	x1	↑	B F V	
CPEVO. 9mm	-10P	x2	(G82)	5 M - 1	
CVVS1. 25口	-2C	x2	↑	5 M - 1	
KPEVSO. 75口	-20P	x1	↑	5 M - 1	
CPEVO. 9mm	-3P	x2	↑	C F - 2、C F - 1	
KPEVSO. 75口	-3P	x2	↑	C F - 1、C F - 2	
CVV1. 25口	-3C	x4	↑	T E W 1 × 4	
CVVS1. 25口	-2C	x1	(G70)	B F V	
KPEVSO. 75口	-3P	x1	↑	C F - 3	
CPEVO. 9mm	-3P	x1	↑	C F - 3	
CVV1. 25口	-3P	x1	↑	5 M - 2	
KPEVSO. 75口	-20P	x1	↑	5 M - 2	
CVV1. 25口	-3C	x2	(G70)	T E W 1 × 2	
CVVS1. 25口	-2C	x1	↑	B F V	
CPEVO. 9mm	-3P	x1	↑	C F - 4	
KPEVSO. 75口	-20P	x1	↑	5 M - 1	
KPEVSO. 75口	-3P	x1	↑	C F - 4	
CVV1. 25口	-3C	x1	(G54)	T E W 1	
CPEVO. 9mm	-5P	x1	↑	R H - 1	
KPEVSO. 75口	-5P	x1	↑	R H - 1	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	R H - 1	
KPEVSO. 75口	-3P	x1	↑	5 M - 6	
CVV1. 25口	-3C	x1	(G54)	T E W 1	
CPEVO. 9mm	-5P	x1	↑	R H - 2	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	R H - 2	
KPEVSO. 75口	-3P	x1	↑	5 M - 6	
CVV1. 25口	-3C	x1	(G54)	T E W 1	
CPEVO. 9mm	-5P	x1	↑	R H - 3	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	R H - 3	
KPEVSO. 75口	-3P	x1	↑	5 M - 6	
CVV1. 25口	-3C	x1	(G54)	T E W 1	
CPEVO. 9mm	-5P	x1	↑	R H - 4	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	R H - 4	
KPEVSO. 75口	-3P	x1	↑	5 M - 6	
CVV1. 25口	-2C	x4	(G82)	5 M - 6	
CPEVO. 9mm	-20P	x1	↑	5 M - 6	
KPEVSO. 75口	-5P	x1	↑	5 M - 6	
KPEVSO. 75口	-20P	x2	↑	5 M - 6	

-5F(改修前)-					
-J-					
CPEVO. 9mm	-5P	x1	(G54)	R H - *	
KPEVSO. 75口	-5P	x1	↑	R H - *	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	↑	R H - *	
KPEVSO. 75口	-10P	x1	(G36)	4 / 6 P信号 (CT - 0 1)	



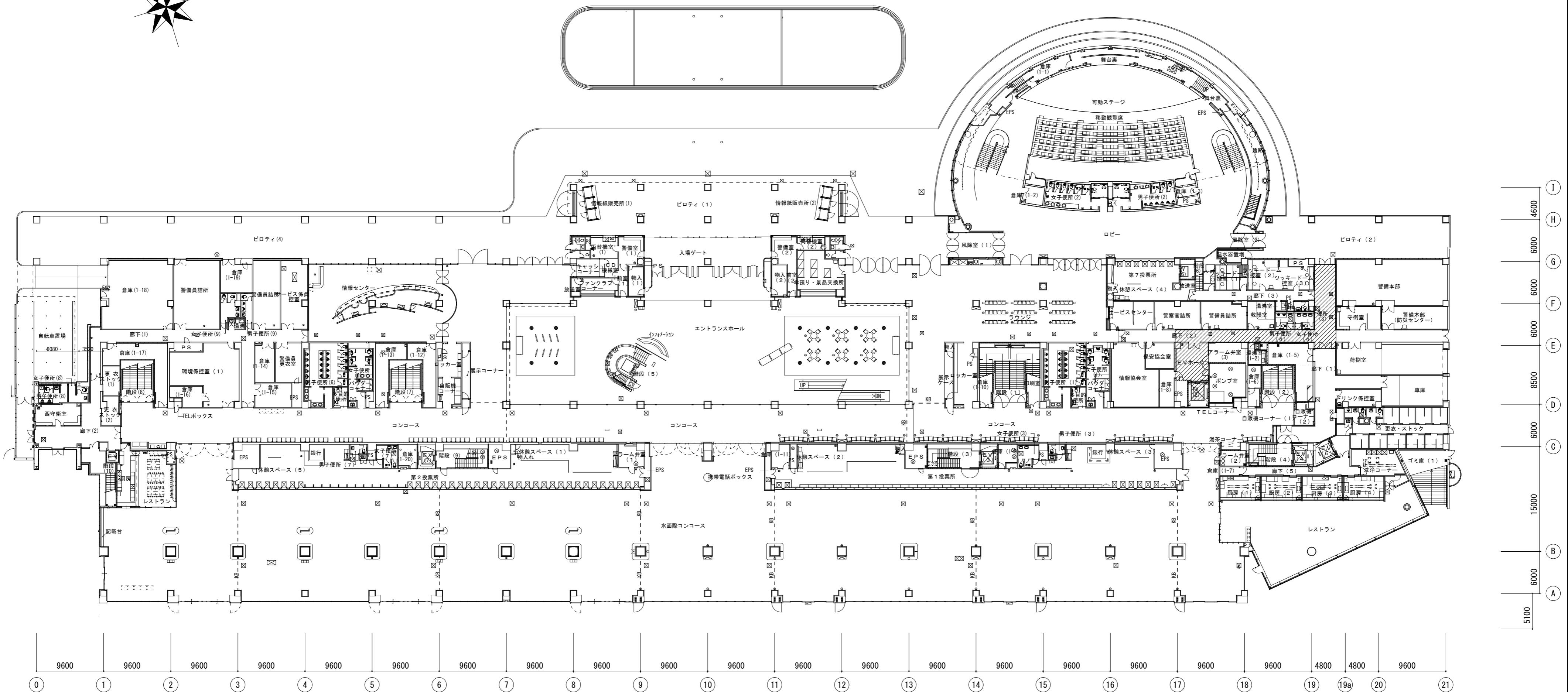
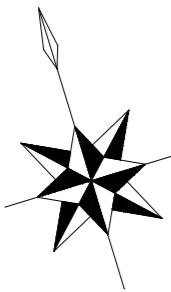
- 施設利用者が工事範囲に立入ることがないよう仮囲い等で工事範囲を明確にするなど安全に配慮した仮設計画とすること
- 工事車両用駐車場及び資材搬入経路は、現場再確認の上監督員と協議すること。
- 構内の車両通行は最徐行とし、機器及び資材の搬入時は交通誘導員を配置すること。

500t クローラークレーン使用時

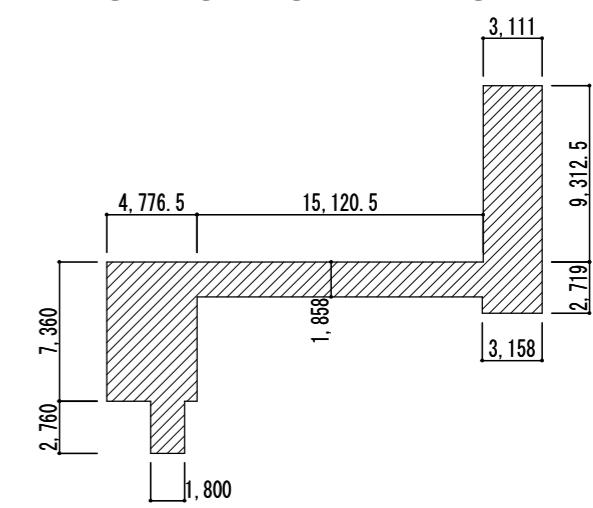


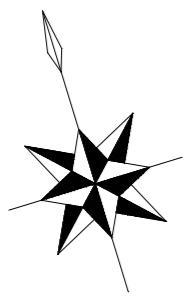
凡例

	床養生: ビニルシート等養生
--	----------------



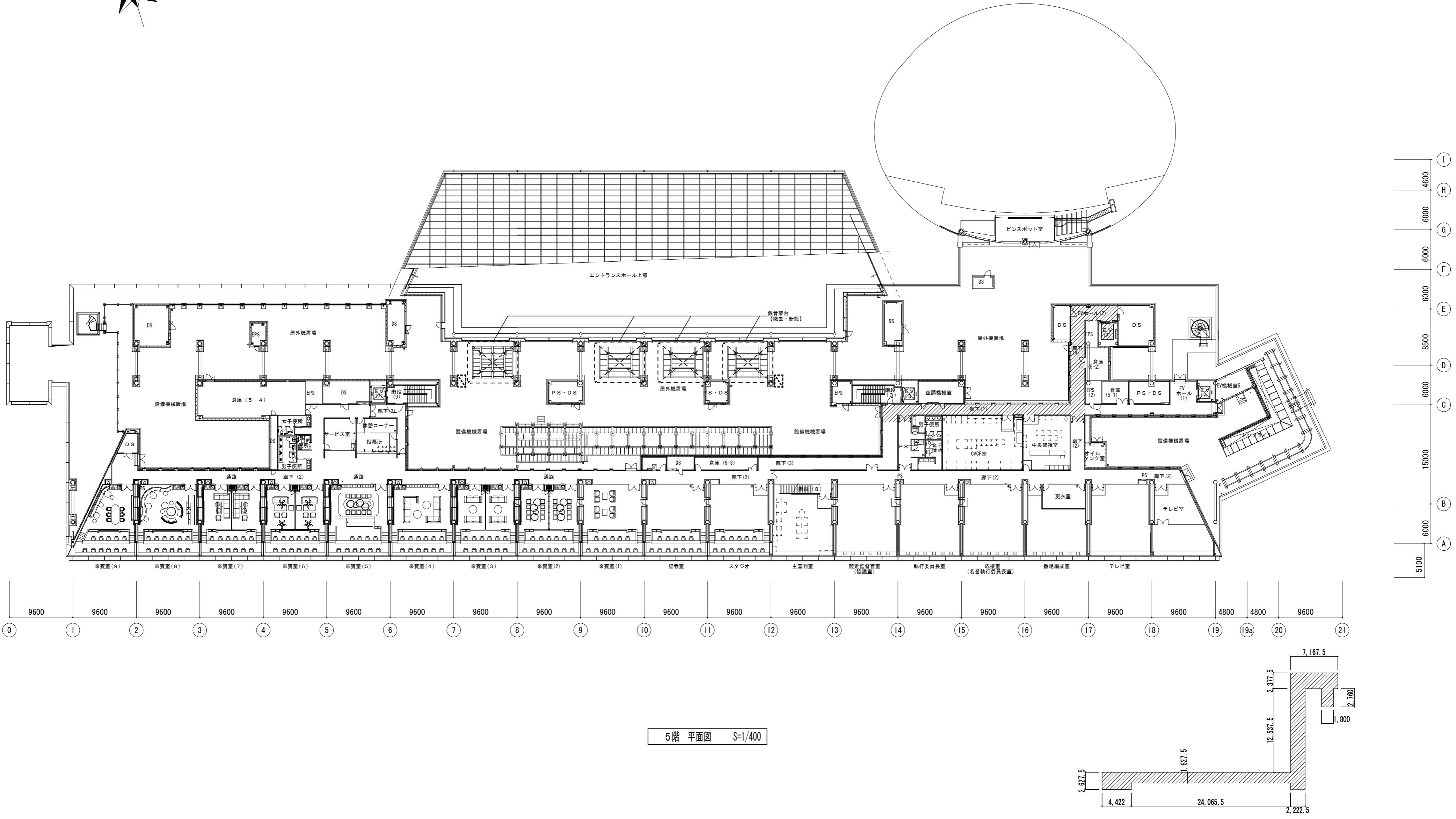
1階 平面図 S=1/400





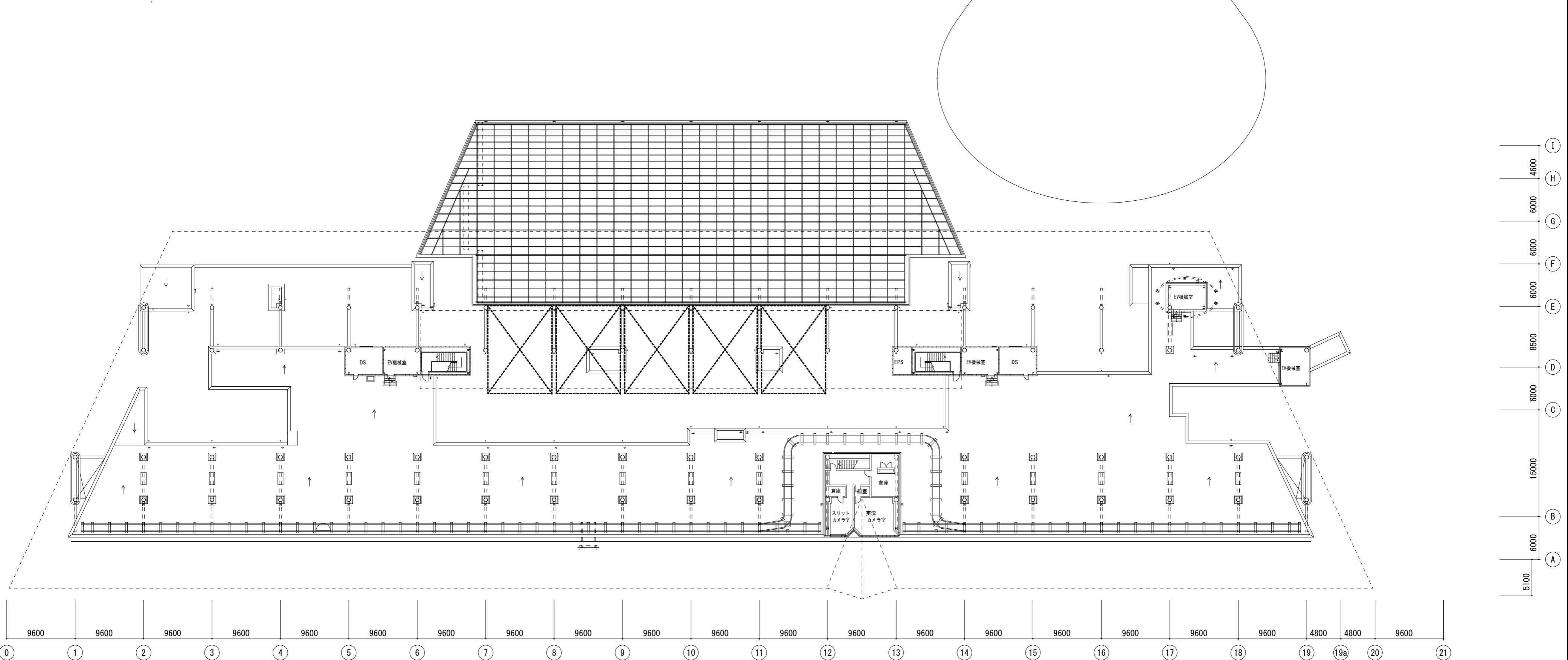
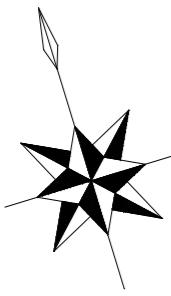
凡例	
	足場：昇降足場 建地W=1200×L=1800 (階段建枠使用) 2段手摺り共 メッシュシート養生
	床養生：ビニルシート等養生

吸收冷温水機、冷却塔の撤去新設に伴い、くさび緊結式足場（手すり先行型）を設置すること。



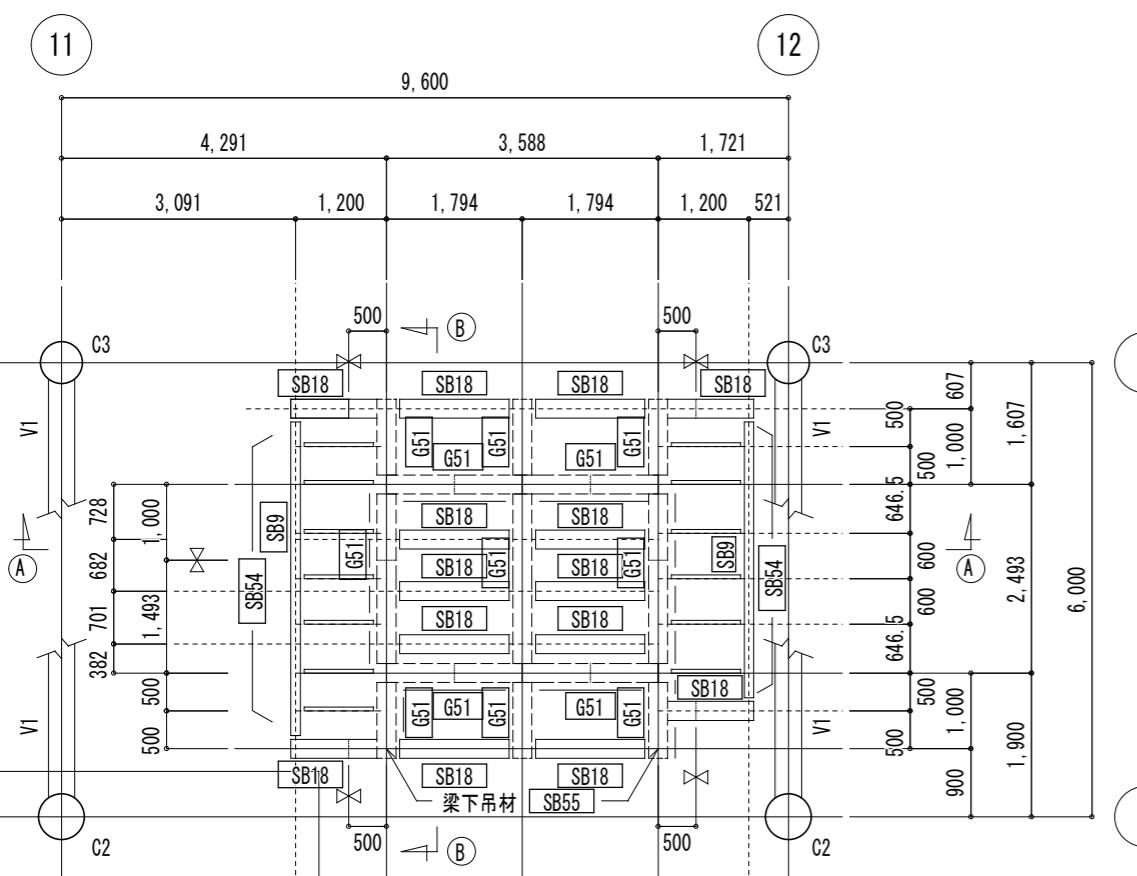
凡例

足場：吊り棚足場
(チェーン・角パイプ使用)
吊リチェーン@1200、ころばしパイプ@900
設置高さは梁（高所側）から2mの位置とする



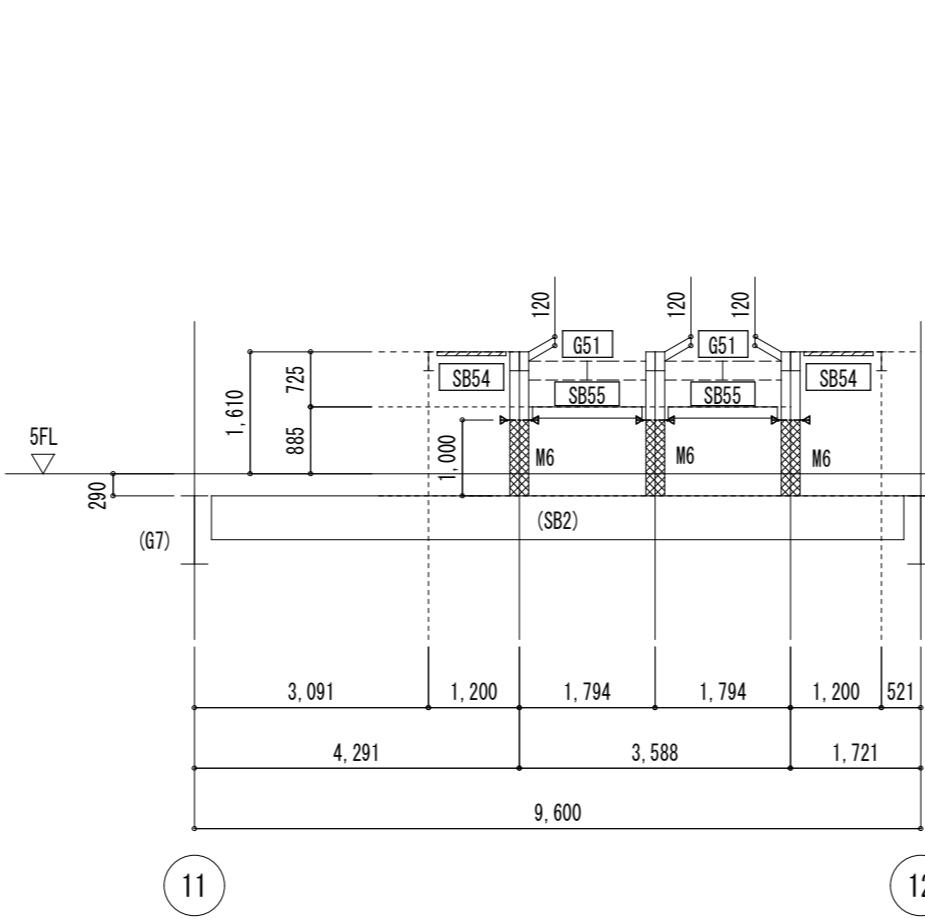
屋上 平面図 S=1/400

鉄骨柱残置部分

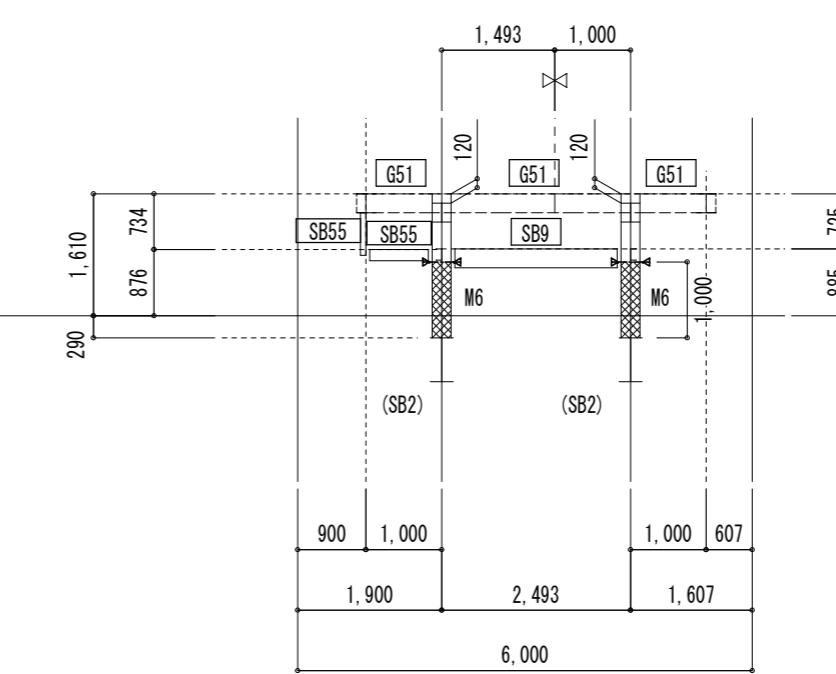


※撤去部材SB18で片持梁については継手からとする。

M5階梁伏図



(A)-(A) 視軸組図

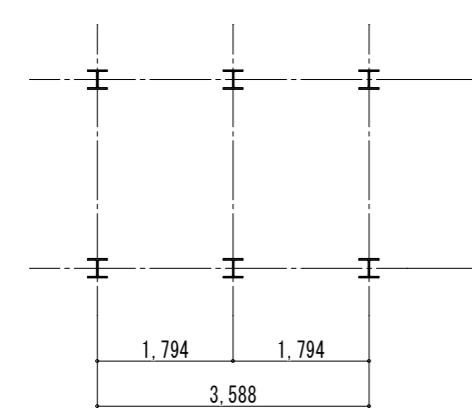


(B)-(B) 視軸組団

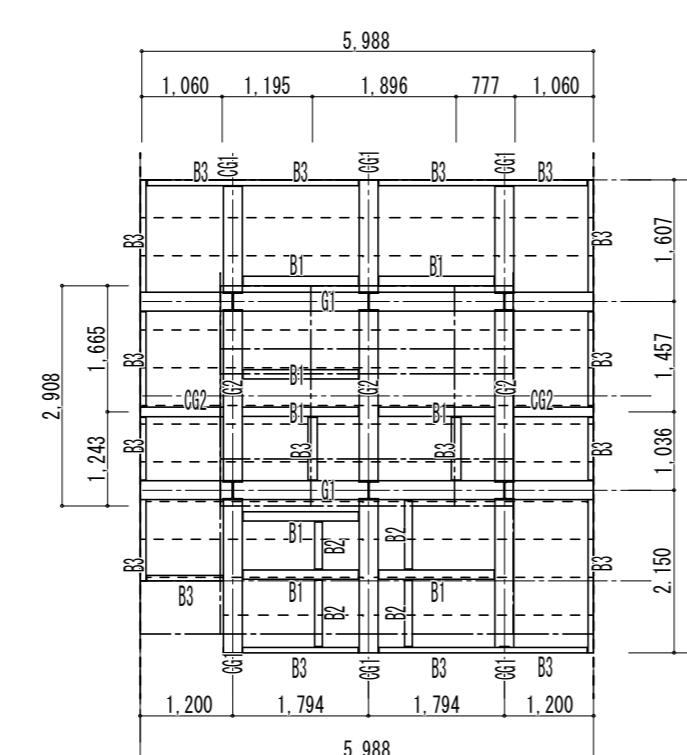
注記) 記入なき限り下記による。
 1. 鉄骨梁上端は軸組図参照とする。
 2. ()付梁部材名は5階の梁とする。
 3. 小梁記号 SB54
 4. □は下段梁を示す。
 符号レベルは軸組図参照
 5. □内部材は撤去材料を示す。▲は柱カッターラインを示す。
 ただし、継手があるSB18については、継手より外側のみ撤去。

5階既設鉄骨架台部材 断面表

符号	位置	部材断面	備考
C2	全断面	P-609. 6φx25	亜鉛めっき
C3	全断面	P-558. 8φx25	亜鉛めっき
G7	端部	WH-900x350x16x28	亜鉛めっき
	中央	WH-900x350x12x28	亜鉛めっき
G51	全断面	H-250x250x 9x14	亜鉛めっき
SB2	全断面	H-582x300x12x17	亜鉛めっき
SB9	全断面	H-250x125x 6x 9	亜鉛めっき
SB54	全断面	L- 50x 50x 4	亜鉛めっき
SB55	全断面	[-150x75 9x12.5	亜鉛めっき
M6	全断面	H-250x250x 9x14	亜鉛めっき
V1	全断面	WH-400x350x12x22	亜鉛めっき

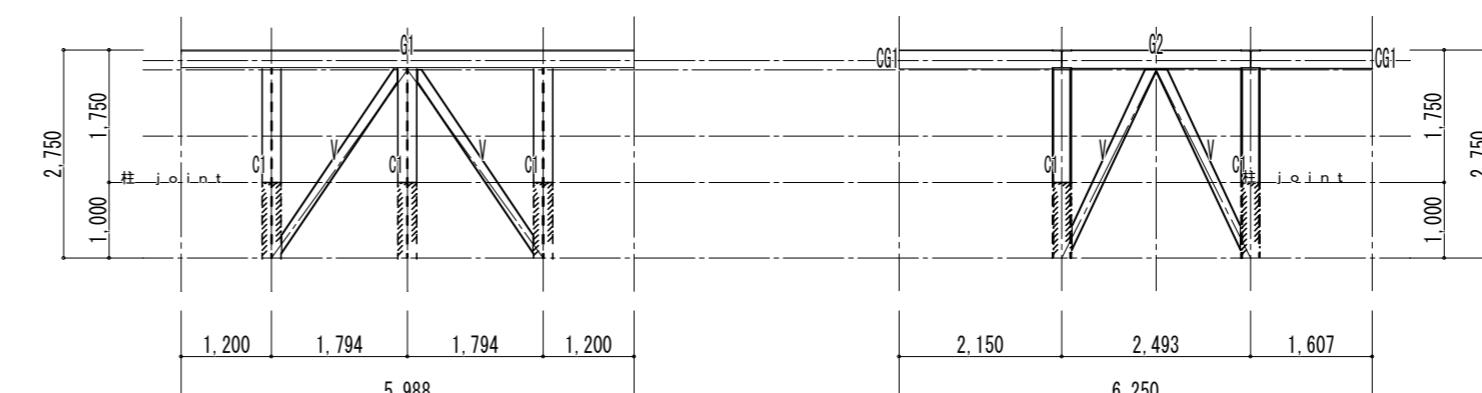


1層伏図 S=1/100

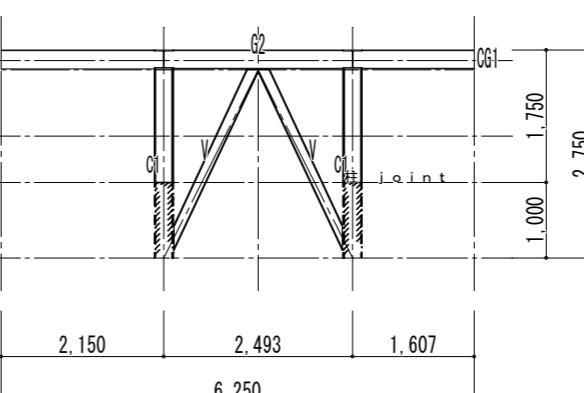


2層伏図 S=1/100

- - - は△を示す。C-100×50×20×3.2
 ※ 外周手すりH-1.100 タラップ 設置の事。



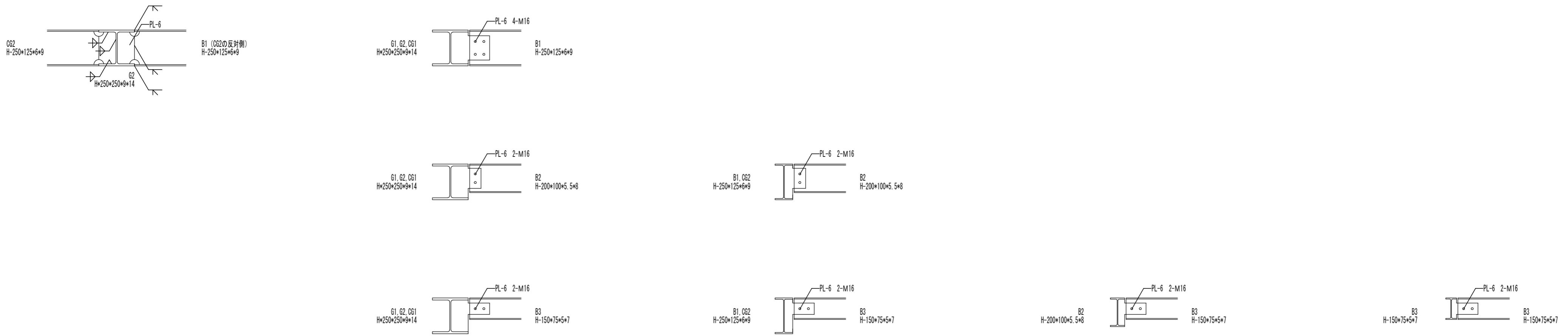
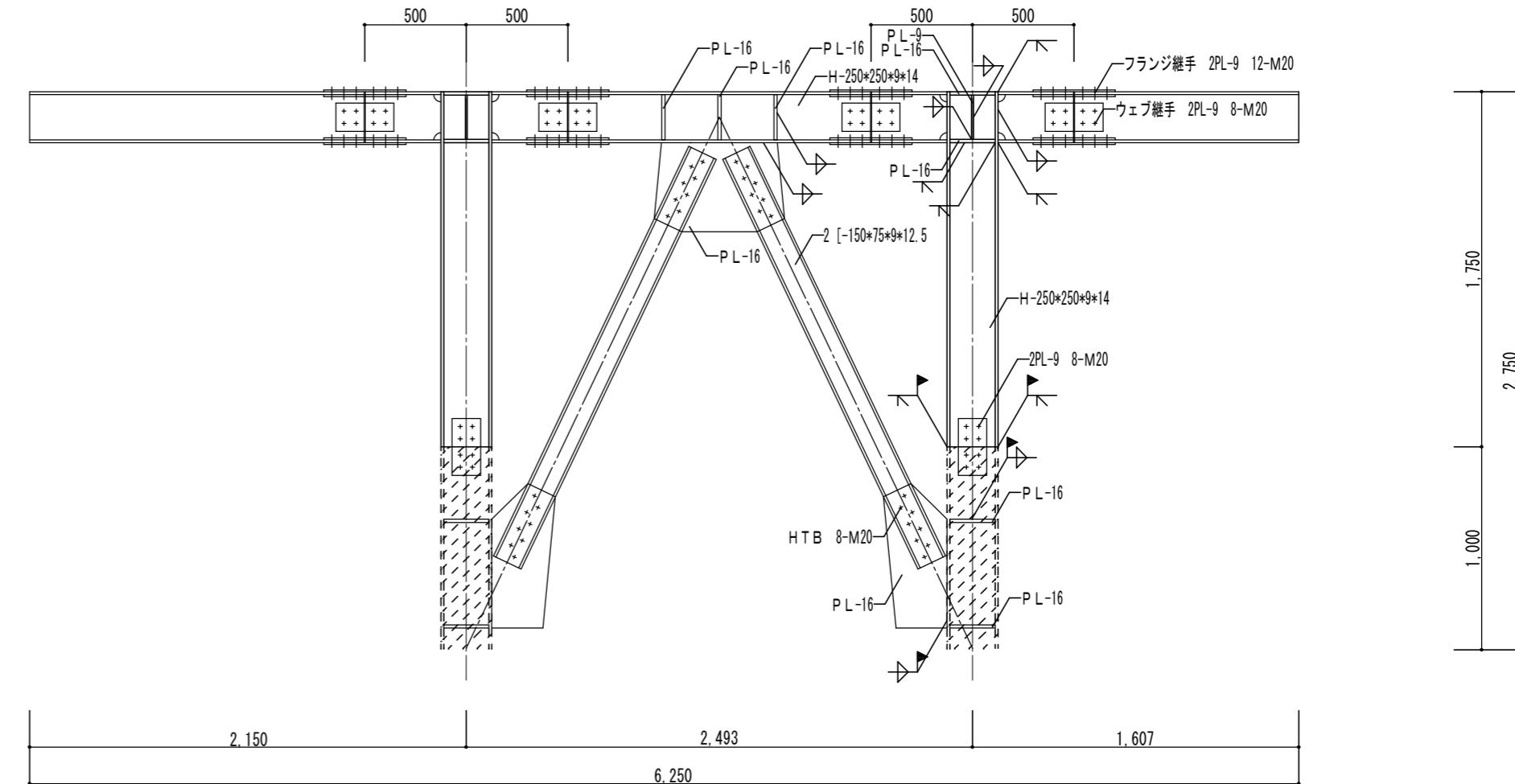
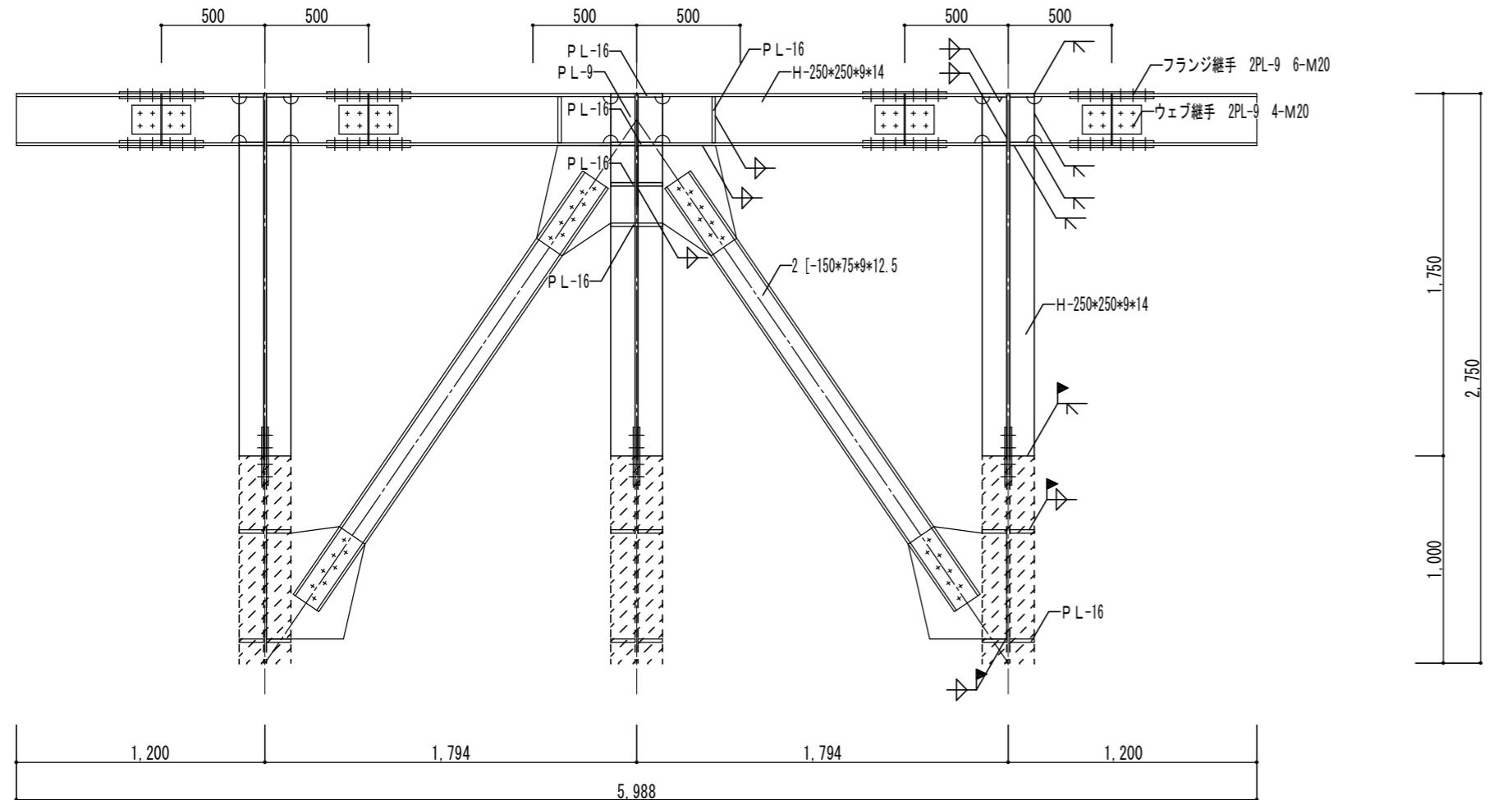
X方向軸組図 S=1/100



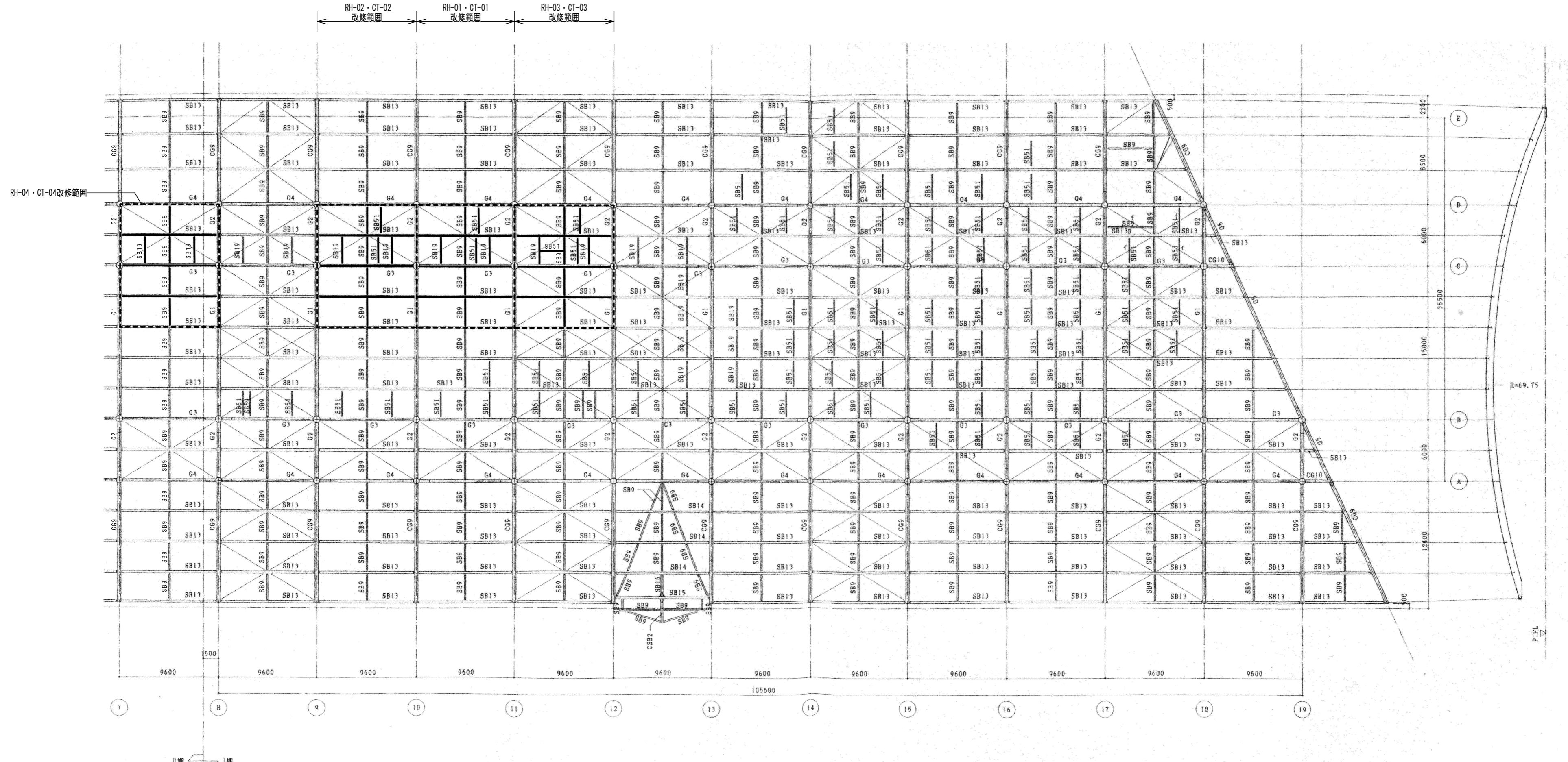
Y方向軸組団 S=1/100

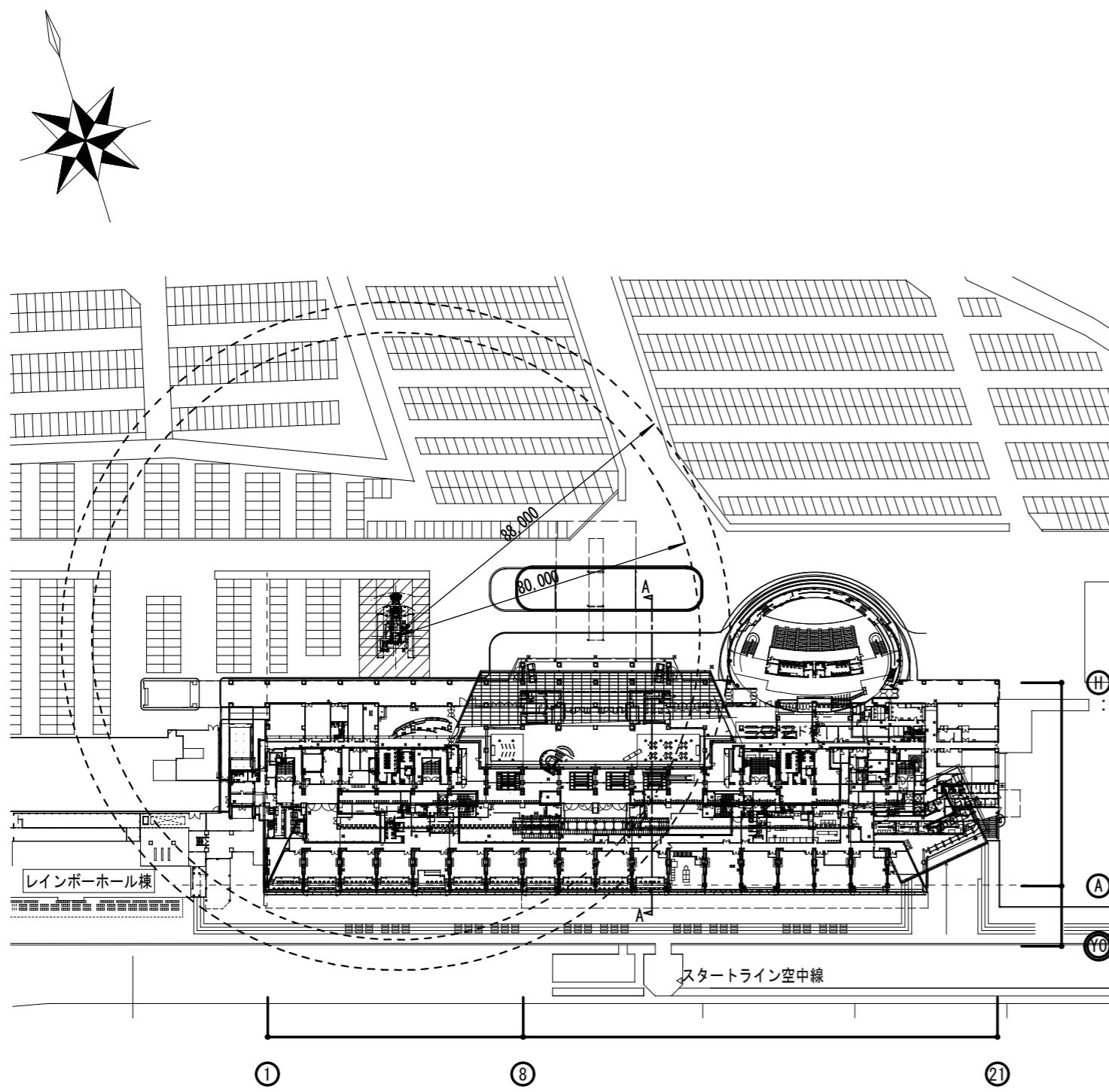
注記) 記入なき限り下記による。
 1. 特記なき限りSS400とする。
 2. ボルトはF8Tとする。
 3. エキスハンドメタルはXG-22とする。
 4. 鉄骨は全て溶接亜鉛めっき仕様 (HDZT77) とする。
 5. 工場溶接部の超音波探傷試験は、第6水準4.0%とする。
 外観検査は、全数とする。
 6. 現場溶接部の超音波探傷試験は、全数とする。
 外観検査は、全数とする。

部材表	
符号	部材
C1	H-250x250x 9x14
G1	H-250x250x 9x14
G2	H-250x250x 9x14
B1	H-250x125x 6x 9
B2	H-200x100x 5.5x8
B3	H-150x75x 5x7
CG1	H-250x250x 9x14
CG2	H-250x125x 6x 9
V	2 [-150x75 9x12.5

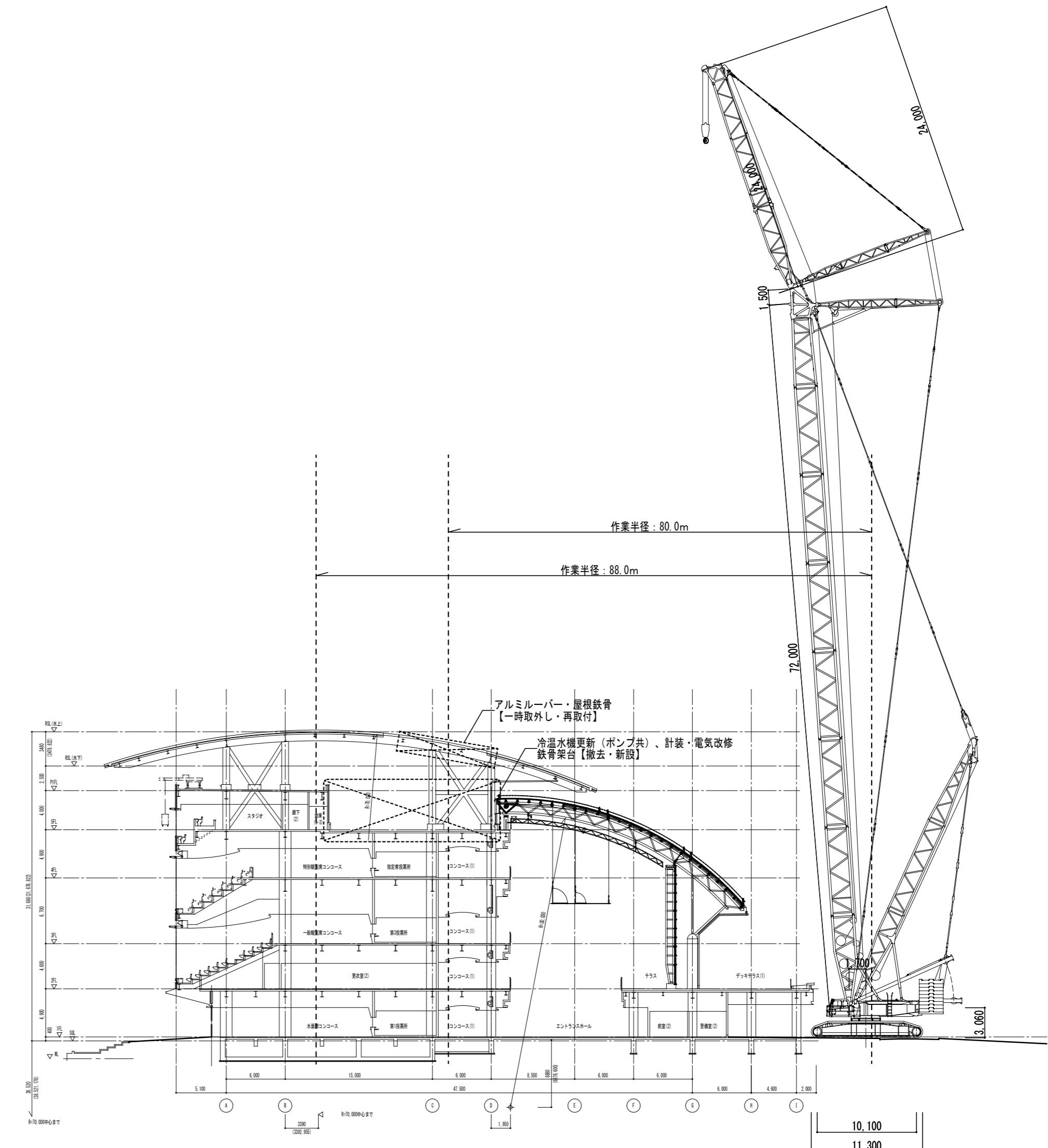


冷温水機等改修範囲
屋根鉄骨【一時取外し・再取付】
ボルト【撤去・新設】





クレーン配置平面図 S=1/150



電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称 津市モーターボート競走場スタンド棟吸収冷温水機等改修工事

2. 工事場所 津市 藤方 地内

3. 建物概要

用途区分は消防法施行令別表第一による表記

4. 工事種目
下記において●印を付した工事を対象とする。
- 電力設備 受変電設備 電力貯蔵設備 発電設備
 - 通信・情報設備 中央監視制御設備 医療関係設備
 - 構内配電線路 構内通信線路 その他

II. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。

- ・国土交通省大臣官房官庁常総部監修
「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編・電気(機械)設備工事編 各令和4年版)
- 「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気(機械)設備工事編 各令和4年版)
- 「公共建築設備工事標準図」(電気設備工事編・機械設備工事編 各令和4年版)
- ・電気設備に関する技術基準を定める省令(電気設備技術基準)
- ・電気工事業の業務の適正化に関する法律
- ・電気工事士法
- ・労働安全衛生法
- ・消防関連法規(条例・所轄署指導要領を含む。)
- ・電力会社供給契約
- ・その他関連法令、関連諸基準

III. 一般共通事項

下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。

1. 一般事項
(1)工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督指揮の下に入念かつ誠実に施工すること。
(2)設計図面に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図面とのおりに施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。
なお、設計図書とのおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講じること。
(3)他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。

2. 足場

設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場として、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型式又は(3)手すり先行工法による足場方式により行うこと。

- 内部足場の種別(参考) 脚立 棚足場 その他()
- 外部足場の種別(参考) 手摺先行据置枠組木足場 移動足場 高所作業車 その他()
- 外部足場設置範囲(参考) 外部改修部 設備改修部 昇降用 転落防止用防護シート等による養生 適用しない

・足場の組立て後、足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行い記録を保存すること。

つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上ものについては、組立て後市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。

なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。

- 1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者
- 2) 労働安全衛生法第8条に規定する労働安全コンサルタント(区分が土木又は建築である者や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第8条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参考図」に必要な資格を有する者)
- 3) 全国仮設事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者

3. 三重県産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。

なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。

4. 電気工作物の種類
・一般電気工作物 自家用電気工作物5. 電気工事士
電気工事士法の区分により施工するものとし、契約電力が500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。

6. 電気工事業の業務の適正化に関する法律

電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。

7. 電気保安技術者
電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。

また、電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、工事の調整にあたる指導を受けるものとする。

なお、電気主任技術者の立会費用は、下記のとおりとする。

- ・受注者負担 不要 その他()

8. 品質管理
工事施工に関して、着手前・施工途中・施工後の自主検査を実施すること。

チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。

9. 出来形管理
以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。

- ① 各種盤据付 耐震強度(設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ) 基礎寸法 水平垂直
- ② 配管・配線工事 支持間隔 スイッチ類の取付高さ

10. 測定機器の校正等

試験に使用する計測器類は2年以内の校正証明書(写)又は有効期限内の精度保証書(写)等を提出する。
また、照度計、騒音計、振動レベル計等の特定計測器を用いて計測する場合は、計量法に基づく検定に合格し、かつ検定有効期限内のものを使用する。

11. 施工計画等

受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督員と打合せを行う。
なお、書類の作成においては、関連する関係者と十分に調整すること。

- ① 総合施工計画書 包含工事の場合は、電気設備工事施工計画書とする。
- ② 工種別施工計画書(施工要領書) 各種工種ごとに作成し、停電及び搬入計画書も作成する。
- ③ 施工図(プロット図、平面図、展開図、各種詳細図) 主要機器、重量機器、3kg超過ぎ器具類等については、固定方法、吊り方法等の詳細図を作成し、十分な耐震性能を確保する施工方法を提案すること。
- ④ 耐震計算書 照度分布図

12. 機材等

工事に使用する材料及び機器等については、次の書類を提出する。

- ① 使用機材届出書
- ② 機器明細図 使用機材届出書に記載のもの他、監督員の指示による。
- ③ 各種計算書 設計図書による他、監督員の指示による。

13. 完成図書

作成する 完成図 保全に関する資料 完成作図範囲(設計図を訂正)

完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)にかかる使用権は発注者に移譲する。また、製本2部(原図サイズ)により提出すること。

14. 工事写真

営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁常総部監修(最新版))に従い、撮影すること。

なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について(令和5年3月1日付け国営建技第14号)」による。

15. 施工条件

監督員及び関係部局と協議調整し決定すること。

- (1)施工可能日 指定なし 一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等) 指定あり

指定日(・) 施設休業日 打合せ その他()

- (2)施工可能時間帯 指定なし 一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等) 指定あり

指定時間(・)時~()時 打合せ その他()

- (3)その他()

16. 事故の発生時

工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。

なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。

17. 建築副産物情報交換システムの利用

受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」(建設資材の搬出がある場合)及び「再生資源利用促進計画書」(建設副産物の搬出がある場合)を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

なお、工事完了後には「再生資源利用実施書」(建設資材の搬出があった場合)及び「再生資源利用促進実施書」(建設副産物の搬出があった場合)をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。

なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。

18. 発生材の処理等

・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事である。

分別解体等及び特定建設資材の再資源等の実施について適正な措置を講ずることとする。工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工種・新築・増築・修繕・模様替・解体・その他()

分別解体の方法・手作業・機械作業併用

(1)引き渡しを要するものは下記のとおりとし、それ以外は別途監督員の指示による。

()

(2)特別管理産業廃棄物

・変圧器・コンデンサー・その他()

現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。

なお、施工に際してPCB等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。

(3)現場内において再利用を図るもの

・発生土・その他()

(4)再資源化を図るもの

・コンクリート塊・アスファルトコンクリート塊・建設発生木材・()

(5)水銀使用品産業廃棄物として取り扱うもの

・蛍光ランプ・HIDランプ(高輝度放電ランプ)・その他()

「水銀廃棄物ガイドライン第3版」(令和3年3月 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課)に基づき適切に処理すること。

(6)引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。

(マニフェストA、B2、D票を提示すること。)

19. 官公署への手続き

工事の着手・着工・完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅滞なく行う。

なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。

・消防設備関係・電気工作物関係・受電関係・通信関係・建設工事関係・その他()

20. 消防法関係の手続き

(1)消防器に係る消防設備等設置届出書の作成

・本工事(・建築工事・電気設備工事・機械設備工事)・別途工事

(2)防火対象物使用開始届出書

書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。

21. 工事用仮設物

構内への設置 できる(施設管理者と協議) できない

22. 工事用電力

構内既存の施設

・利用できる(・有償・無償) 利用できない

本工事で新規受電した時からの電力料金は本工事に含まれる。また、本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の選任及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。

23. 工事用水

19. ボルト・ナット類
屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの
●ステンレス
・溶融亜鉛メッキ仕上げ

20. ケーブル及び配線
(1)表示
下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札（ケーブル種別及びサイズ、行き先、施工年、用途、施工者名等を表示。）を取り付ける。
① ケーブルがスラブを貫通する部分
② ケーブル分岐部分
③ 変電所内のケーブル引出し部分
④ 盤内及び接地端子箱の外部配線引込み部分
⑤ 屋内の直線部分は、30mごと
⑥ ブルボックス内
⑦ 屋外の共同溝等の直線部分は、50mごと
⑧ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分
⑨ マンホール及びハンドホールごと
(2)ケーブル余長
1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数
・2箇所・4箇所・()箇所
2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数
・2箇所・4箇所・()箇所

21. 配線器具の設置
(1)特殊コンセントはプラグ付とする。
(2)電源の種類により色を区別する。
(3)配線器具を取り付ける場合は金属の場合は、絶縁枠を使用する。
(4)プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。
(5)カバープレートは、原則として新金属製とする。
なお、器具を実装しない位置ボックスには用途表示をすること。
(6)フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リング付）とする。

22. 照明器具の設置
(1)照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形AA級とする。
(2)天井下材により支持する場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。
(3)パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。

23. 照明改修の際の測定
対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。
測定箇所 () 測定回数 前後各()回

24. 分電盤、制御盤、キューピクル等
図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。

25. 受変電設備、発電設備の設置場所
(1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。
(2)屋内に設置する場合は、床の強度計算書、換気計算書等を監督員に提出する。
(3)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。
(4)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通してさせない。

26. 発電設備の燃料配管
(1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。
(2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。

27. 非常放送設備のスピーカー設置
(1)放送区域の各部からスピーカまでの水平距離は10m以内とする。
(2)階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離1.5m以内とする。

28. 土工事
(1)埋戻しの材料及び工法
・B種 (材料: 根切り土の中の良質土 / 工法: 機器による締固め)
・その他 ()
ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。
(2)特記なき地中埋設配管の深さは、GL-600mm以上とする。
(3)根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつば掘りとする。
(4)機械掘削は根切り底を乱さないようにする。

29. ハンドホール、マンホール
高さ900mmを超えるものにあっては、タラップ付とする。
なお、タラップの取付は450mm間隔以内とする。

30. 地中配線路の表示杭
下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。
① 建物への引込口及び送出口付近
② マンホール・ハンドホール付近
③ 地中線路の曲折箇所
④ 道路横断箇所
⑤ 直線部分では30m程度に1個 (30mに満たない部分はその間に1個)

V. 機器仕様
下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。
なお、詳しく述べる。

【電力設備】
1. 電灯設備
(1)既設との取り合い
・無し ・盤改造 ・配線接続 ・電源供給 ・その他 ()
(2)機器類
・一般照明器具 ・照明制御装置 ・外灯 (単独設置) ・コンセント等
(3)一般照明器具
1) 形式 ・公共型 ・一般型
2) 灯具 ・LED灯 ・その他 ()
3) 用途 ・屋内用 ・屋外用 防災用
4) 環境 ・普通地域 ・塩害地域
5) 照明器具は認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。
1) センサ類 ・明るさセンサ ・人感センサ ・タイマ ・調光スイッチ
2) 調光方式 ・連続調光 ・段階調光 ・ON/OFF制御
3) 制御方式 ・有線 ・無線通信
1) 照明用ボール
① 材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・溶融亜鉛メッキ
・その他 ()
② 配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。
2) 基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()
3) 灯具 ・LED灯 ・その他 ()
4) 電源 ・商用電源(60Hz) (-200V -100V) ・その他 ()
5) 制御 ・ESイッチ ・タイマ ・その他 ()
6) 接地 ・単独接地 (・本工事 ・別途工事 ・既設利用) ・共用
・その他 ()
・防水型
・バッショウアクト (・固定型 ・上下動型 (アップ式を含む))
1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。
2) 国面ホルダーは、A4サイズ以上 (キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。) とする。
3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。
4) 接地用端子又は接地線用端子は点検のしやすい場所に設ける。
5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。
6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。

2. 動力設備
(1)既設との取り合い
・無し ・盤改造 ●配線接続 ・その他 ()
(2)機器類
・分電盤、制御盤等 ・その他 ()
(3)負荷設備
・給水 ・排水 ・消火 ●空調 ・換気 ・排煙 ・昇降機
・その他 ()
図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。
・専用接地 ・金属管接地 (7.5kW以下)
1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。
2) 国面ホルダーは、A4サイズ以上 (キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。) とする。
3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。
4) 接地用端子又は接地線用端子は点検のしやすい場所に設ける。
5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。
6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。
7) 電流計は赤指針 (定格電流指示) とする。

3. 雷保護設備
(1)避雷針
1) 受雷部 ・突針 ・棟上導体 ・笠木等の別途施工物
2) 避雷導線 ・引下線導線 ・建築構造体利用
3) 接地極 ・接地極埋設 ・建築構造体利用 ・測定用補助接地極
4) 接地抵抗の測定
① 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法
② 測定回数 ・3回 ・()回
5) 接地極埋設設備を設置する。
1) 耐雷トランジスト ・設置 (・単相用 ・動作用) ・設置しない
2) SPD ・低电压 (・クラスI ・クラスII) ・通信用 (・カテゴリC2 ・カテゴリD1)
3) SPDの性能仕様は別図による
1) 低电压SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。
2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。
電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。
(2)雷サージ保護
4. 接地設備
(1)接地工事
1) 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種
2) 施工 ・各種単独 共用有り ()
(2)接地抵抗測定
1) 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法
2) 測定回数 ・3回 ・()回
(3)接地極埋設標
接地には接地極埋設標を施工し、接地極の位置がわかるようにする。

【受変電設備】
5. 受変電設備
(1)既設との取り合い
・その他 ()
(2)機器類
・盤類 ・交流遮断器 ・断路器 ・避雷器 ・負荷開閉器 ・変圧器
・進相コンデンサ ・直列リクトル ・配線用遮断器 ・電磁接触器
・その他 ()
1) 形式 ・キューピクル式配電盤 (JIS C 4620)
・高圧スイッチギア (JEM 1425) (-CX -CW -PW -MW)
・開放形配電盤 ・その他 ()
2) 中通路
3) 特記事項 ()
真空遮断器 (VCB)
1) 操作方式 ・手動操作 ・電動操作 ・電磁操作
2) 引外し方式 ・電流引外し ・コンデンサ引外し ・直流電圧引外し
1) 形式 ・3極単投 ・単極単投 (避雷器用に限る)
2) 操作方式 ・遠方手動操作 ・フック棒操作 (避雷器用に限る)
1) 形式 ・配電盤用 ・引込柱用 ・地中引込用
2) 配電盤用
① 操作方式 ・フック棒操作 ・遠方手動操作 ・電動操作
② 限流ヒューズ ・有 (ストライカ付き) ・無
③ 引外し装置 ・ストライカ引外し ・電圧引外し ・無
3) 引込柱用
① 本体及び制御箱の材質 ・ステンレス製 ・鋼製
② 保護装置 ・過電流蓄勢トリップ付地絡方向遮断器とし、制御電源用変圧器内蔵とする
③ 避雷器 ・内蔵 無
4) 地中引込用
保護装置は、過電流蓄勢トリップ付地絡方向遮断器とし、制御電源用変圧器内蔵とする
1) 形式 ・油入 ・モールド
2) 設置方式 ・屋外型 ・屋内型
3) ダイヤル温度計 ・有 (最大値指針 有) ・最大値指針 無) ・無
油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合は必須とする
1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド ・ガス入
2) その他 ① 内部異常を検知して動作する保護接点を設けること
② 放電装置を附属又は内蔵すること
1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド
2) 容量 ・6% ・1.3%
3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること
1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。
2) 国面ホルダーは、A4サイズ以上 (キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。) とする。
3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。
4) 接地用端子又は接地線用端子は点検のしやすい場所に設ける。
5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。
6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。

【発電設備】
10. 燃料式発電設備
(1)用途
1) 用途 ・防災電源専用 (防災認定品) ・防災電源兼用 (防災認定品)
・一般用
2) 区分 ・常用 ・非常用
・屋外 (-普通地域 -塩害地域)
・発電装置 ・燃料槽 ・給油ボックス ・燃料移送ポンプ
・その他 ()
(2)設置場所
(3)機器
(4)発電装置
1) 種類 ・ディーゼル発電装置 ・ガスエンジン発電装置
・ガスタービン発電装置
2) 形式 ・簡単形 ・オーブン式
・キューピクル式 (-85dB(A)/1m -75dB(A)/1m)
3) 始動時間 (停電検出後) ・1.0秒以内 ・4.0秒以内
4) 連続運転時間 ・2時間以上 ・10時間以上 ・24時間以上
5) 発電機
① 電気方式 ・三相3線式 (-6.6kV -200V) ・()V
・単相3線式 (200V/100V)
・単相2線式 (-200V -100V) ・()V
② 定格周波数 60Hz
③ 定格出力 () kVA
6) 原動機
① 定格出力 () kW 以上 ・() ps 以上
② 冷却方式 ・ラジエータ方式 ・その他 ()
1) 種類 ・軽油 ・灯油 ・重油 ・その他 ()
2) 引渡時燃料 ・満タン ・指定なし ・その他 ()
1) 形式及び容量 ・パッケージ搭載タンク () リットル
・燃料小槽 () リットル
・主燃料槽 () リットル
2) 燃料小槽
① 設置場所 ・屋内 ・屋外 (地上)
・地下埋設 (-タンク室内埋設 -直埋設)
② 形式 ・二重殻タンク ・一重殻タンク
③ 設置工事 ・本工事 ・別途工事 ・その他 ()
④ タンク室工事 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()
1) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・その他 ()
2) 燃油ボックス
① 油量指示計 ・有 ・無
1) 電動ポンプ ・歯車ポンプ
2) 手動ポンプ (ウイングポンプ) ・有 ・無
3) 電動ポンプ水没防止カバー ・有 ・無
・本工事 (-2.1N/mm² -1.8N/mm²) ・別途工事 ・既設利用
・その他 ()
11. その他 発電設備
・ () の仕様詳細は別図による。

【通信・情報設備】
12. 構内情報通信網設備
13. 構内交換設備
(1)機器
・交換装置 ・電話機 ・端子盤類 ・アウトレット
・その他 ()
1) 種別 ・構内交換装置 (-デジタルPBX -IP-PBX -VoIPサーバ)
・ボタン電話装置
・その他 ()
2) 局線応答方式 ・局線中継台 ・分散中継台 ・ダイヤルイン
・ダイレクトインダイヤル ・ダイレクトインライン
・その他 ()
3) 保安用接地 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用
・その他 ()
4) 本配電盤(MDF) ・自立フレーム (-片面形 -両面形) ・交換機一体型
・壁掛型 ・その他 ()
5) 電源装置 ① 形式 ・別置型 ・一体形 ・その他 ()
② 停電補償時間 ・30分以上 ・()以上
・一般電話機 ・多機能電話機
・デジタルコードレス電話機 (PHS方式) ・IP電話機
・IPコードレス電話機 (無線LAN方式)
・その他 ()
1) 端子盤 ・中継端子盤 (IDF) ・室内端子盤
2) 中継端子盤には実装数の20%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子板スペースを見込む。
・ポートナンバーアウトレット (-固定型 ・上下動型 (アップ式を含む))
・壁コンセント ・その他 ()
14. 情報表示設備
(1)設備
・マザイン装置 ・出退表示装置 ・時刻表示装置 ・警報等表示装置
仕様詳細は別図による。
仕様詳細は別図による。
仕様詳細は別図による。
1) 機器 ・表示盤 ・表示窓式 ・表示窓式 ・その他 ()
2) 表示盤 ① 表示窓式 ・表示窓式 ・その他 ()
② 施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用
・その他 ()
3) 検出装置 ① 検出方式 ・電極 ・無電圧接点 ・その他 ()
② 施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用
・その他 ()
4) 国面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。
・仕様詳細は別図による。

15. 映像音響設備
・ () の仕様詳細は別図による。

16. 拡声設備
(1) 機器
・増幅器・付属機器・操作装置・スピーカ・その他()
・非常放送兼用(仕様は非常放送装置を参照)
・専用出力()W
(3) 付属機器
・出カインピーダンス・Lo形・Hi形
・オーディオミキサー・リモコンマイク・電源制御器
・録音再生装置(・CD・メモリオーディオ・その他())
・アナウンスレコーダ(・チャイム・独自メッセージ・プログラマ・タイマー・その他())
・有線マイクロホン
・無線マイクロホン(・電波式(・アナログ・デジタル)・赤外線式)
・ラジオチューナ(・FM・AM・その他())
・スピーカ切替装置・その他の機器()
・卓型・キャビネットラック型・壁掛型・その他()
・非常放送兼用(仕様は非常放送装置を参照)
・専用結線・1W・3W・()W
・インピーダンス・Lo形・Hi形
・設置場所・屋内・屋外・その他()
17. 誘導支援設備
(1) 設備
・音声誘導装置・インターホン・トイレ等呼出装置
1) 検出方式
・磁気式・無線式・画像認識式・その他()
2) 設置場所
・屋外(防雨形)・屋内
3) 機能
・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する
・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする
4) 機器
・制御装置・送信機・受信機・その他()
5) 制御装置
・卓上形・複合盤組込・その他()
6) 送信機
・壁掛形・卓上形・埋込形・その他()
7) 受信機
・スピーカ式・イヤホン式・その他()
1) 用途
・内部受付用・外部受付用・夜間訪問用・身体障害者用
・保守用・その他()
2) 機能
・音声通話・映像モニタ
3) 通話網
・親子式・相互式・複合式
4) 通話方式
・同時通話式・交替通話式・その他()
5) 機器
・親機・子機・その他()
6) 離機
①形状・壁掛型・卓上形・複合盤組込・その他()
②送受話器・電話機形・マイク形・その他()
7) 子機
①形状・壁掛形・卓上形・埋込形・その他()
②送受話器・電話機形・マイク形・その他()
1) 用途
・トイレ呼出・受付呼出・非常通報
2) 機器
・親機・呼出スイッチ・警報装置・その他()
3) 親機
・壁掛型・卓上型・複合盤組込・その他()
4) 呼出スイッチ
・押ボタン式・引紐式・その他()
5) 警報装置
・光・音声・ブザー・ベル・その他()
18. テレビ共同受信設備
(1) 受信放送
(2) 機器
・UHF・BS・CS・FM・CATV・その他()
・増幅器・混合器・分波器・分岐器・分配器・機器収容箱
(3) アンテナ
・アンテナ・その他()
1) 放送
・UHF・BS・CS・FM・その他()
2) マスト
・地上波用(・壁面取付・自立・既設利用)
・衛星用(・壁面取付・自立・既設利用)
3) 自立用基礎
・本工事・別途工事・既設利用
・その他()
19. 監視カメラ設備
20. 駐車場管制設備
21. 防犯・入退室管理設備
22. 自動火災報知設備
(1) 機器
・受信機・副受信機(表示装置)・中継器・発信機・感知器
・光警報装置・その他()
1) 型式
・P型1級・P型2級・R型
2) 回線数
・()回線・()アドレス
3) 試験機能
・自動試験機能・遠隔試験機能
4) 盤形式
・複合盤組込・自立型・壁掛型
・その他()
(3) 副受信機(表示装置)
・自立型・壁掛型・その他()
2) 回線数
・()回線・()アドレス
3) 表示装置の仕様詳細は別図による。
試験機能
・自動試験機能・遠隔試験機能
1) 型式
・P型1級・P型2級
2) 消火栓ポンプ起動
・特記なき場合は、発信機連動方式とし、発信機表面に「消火栓起動」等の文字を併記する。
3) 設置
・単独設置・機器収容箱に組込
・消火栓ボックス(別途)に組込・その他()
1) 型式
・アドレス付・一般型
2) 種類
・熱感知器・空気管式・煙感知器・炎感知器
3) 試験機能
・自動試験機能・遠隔試験機能
4) 機器仕様
・一般・防水・防爆・防食・その他()
1) 機器
・警報装置・制御装置・同期装置
2) 警報装置
・天井付・壁付
3) 同期装置
・自走同期式・外部同期式

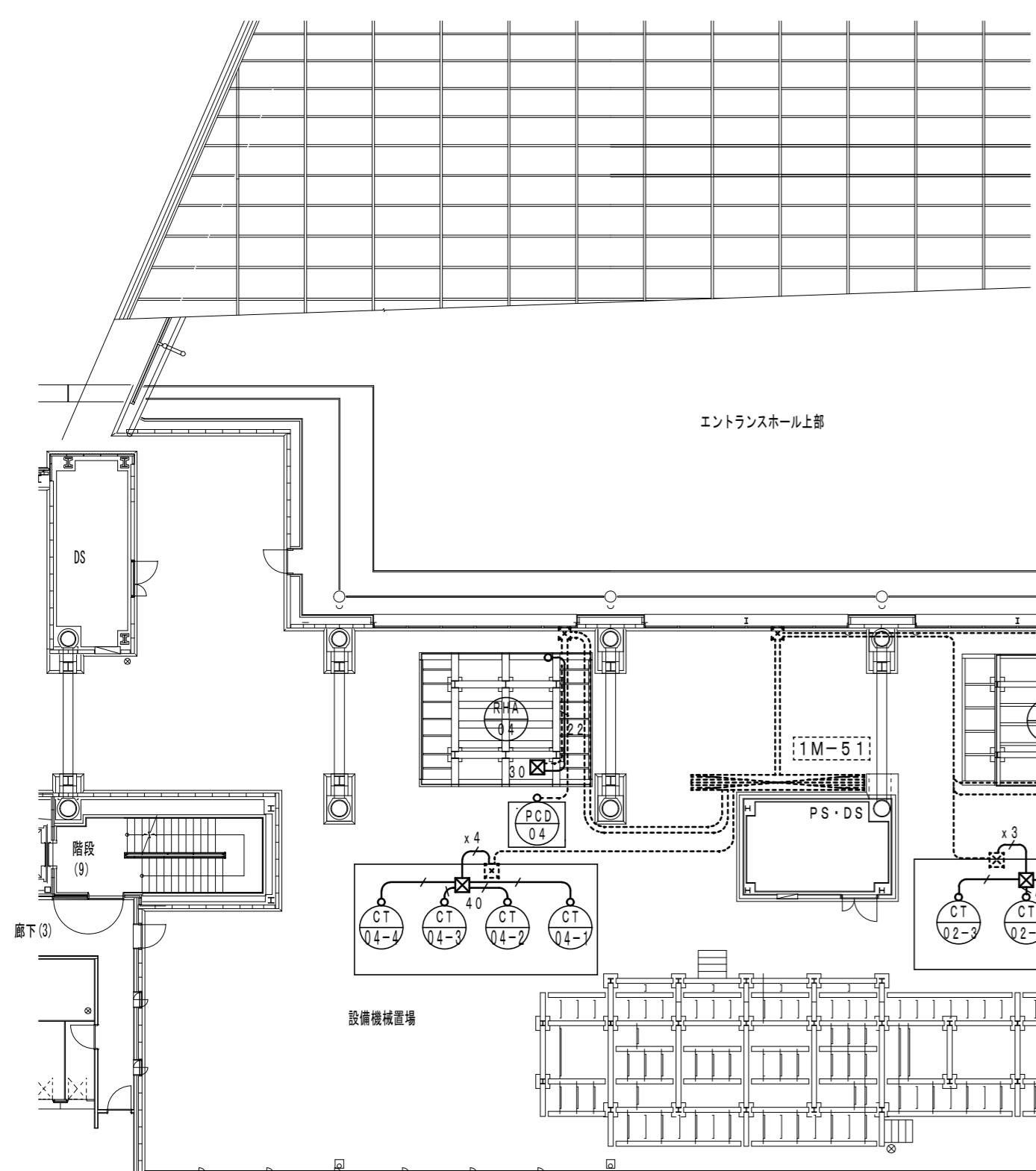
23. 自動閉鎖設備
(1) 機器
・連動制御器・その他()
(2) 連動制御器
・防火戸・防火シャッター・防排煙ダンパー
・非常口等の扉・その他()
2) 回線数
・()回線・遠方復帰機構()回路
(3) 感知器
・単独(・壁掛形・自立形)・火災受信機等との複合盤
1) 型式
・アドレス付・一般型
2) 種類
・煙感知器(・2種・3種)
3) 試験機能
・自動試験機能・遠隔試験機能
4) 機器仕様
・一般・防水・防爆・防食・その他()
1) 方式
・電磁式・ラッチ式・その他()
2) 施工
・本工事(・建築工事・電気設備工事)・別途工事
3) 方式
・電気錠・その他()
2) 施工
・本工事(・建築工事・電気設備工事)・別途工事
3) 方式
・既設利用・その他()
(4) 自動閉鎖装置
1) 方式
・電磁式・ラッチ式・その他()
2) 施工
・既設利用・その他()
(5) 自動閉鎖装置
1) 方式
・電気錠・その他()
2) 施工
・既設利用・その他()
24. 非常警報設備
(1) 設備
・非常放送装置
1) 出力方式
・磁気式・無線式・画像認識式・その他()
2) 設置場所
・屋外(防雨形)・屋内
3) 機能
・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する
・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする
4) 機器
・制御装置・送信機・受信機・その他()
5) 制御装置
・卓上形・複合盤組込・その他()
6) 送信機
・壁掛形・卓上形・埋込形・その他()
7) 受信機
・スピーカ式・イヤホン式・その他()
1) 用途
・内部受付用・外部受付用・夜間訪問用・身体障害者用
・保守用・その他()
2) 機能
・音声通話・映像モニタ
3) 通話網
・親子式・相互式・複合式
4) 通話方式
・同時通話式・交互通話式・その他()
5) 機器
・親機・子機・その他()
6) 離機
①形状・壁掛型・卓上形・複合盤組込・その他()
②送受話器・電話機形・マイク形・その他()
7) 子機
①形状・壁掛形・卓上形・埋込形・その他()
②送受話器・電話機形・マイク形・その他()
1) 用途
・トイレ呼出・受付呼出・非常通報
2) 機器
・親機・呼出スイッチ・警報装置・その他()
3) 親機
・壁掛型・卓上型・複合盤組込・その他()
4) 呼出スイッチ
・押ボタン式・引紐式・その他()
5) 警報装置
・光・音声・ブザー・ベル・その他()
25. ガス漏れ火災警報設備
(1) 機器
・受信機・副受信機・中継器・検知器・警報器
(2) 受信機
・回線数()回線
2) 種類
・都市ガス用・液化石油ガス用
3) 設置
・単独(・壁掛形・自立形)・火災受信機等との複合盤
(3) 副受信機
・設置
・単独(・壁掛形・自立形)・火災受信機等との複合盤
(4) 検知器
・動作(単独動作)・連動(受信機に伝送)
2) 定格電圧
・AC100V・DC24V(受信機等から供給)
3) ガス検知出力信号
・有電圧出力方式・無電圧接点方式
【中央監視制御設備】
【医療関係設備】
【構内配電線路】
26. 構内配電線路
(1) 配線方式
・地中線式(・直埋・管路)・架空線式(・直接・ちょう架線添架)
・建築物等添架式(・露出配管・隠蔽配管・その他())
・その他()
(2) 建柱
・本工事・既設柱利用・その他()
2) 電柱
・コンクリート柱・鋼管柱・バンザマスト
3) 支柱材
・根かせ・根はじき・根巻き・底板
4) 装柱機器
・支線(保護ガード・有・無)
5) 鋼板
・有・無
(3) 装柱機器(高圧用)
1) 機器
・開閉器・避雷器・カットアウト・碍子
・その他()
2) 耐環境性
・一般用・耐塩用
3) 開閉器
・仕様は5. 受変電設備(6)負荷開閉器による。
1) 機器
・開閉器・開閉器箱・避雷器・カットアウト・碍子
・その他()
2) 耐環境性
・一般用・耐塩用
1) 形式
・ブロック式・現場打ち
2) 施工
・本工事(・建築工事・電気設備工事)・別途工事
3) ケーブル支持金物の取付
・既設柱利用・その他()
4) 重車両の通行
・有(破壊荷重200kN以上・衝撃係数0.1(走行速度制限箇所))・無
1) 鋼鉄蓋の刻印は「強電」、「電力」又は「高圧」とする。
2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。
(4) ハンドホールマンホール
1) 形式
・ブロック式・現場打ち
2) 施工
・本工事(・建築工事・電気設備工事)・別途工事
3) ケーブル支持金物の取付
・既設柱利用・その他()
4) 重車両の通行
・有(破壊荷重200kN以上・衝撃係数0.1(走行速度制限箇所))・無
1) 鋼鉄蓋の刻印は「強電」、「電力」又は「高圧」とする。
2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。
(5) 地中ケーブル保護材料
1) 種類
・FEP・GLT(PEライニング管)・VE・HIVE・SGP
2) 標示杭埋設
・コンクリート製・鉄製(アスファルト部分)
3) 埋設標識シート
・2倍長・その他()
4) 埋設標識シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。
【その他】
28. 消火器
1) 設置
・本工事(・建築工事・電気設備工事)・別途工事
2) 消火器
・種別()、数量()本
3) 消火器収納箱
・材質()、数量()面

【構内通信線路】
27. 構内通信線路
(1) 用途
・電話・拡声・時刻表示・火災報知・非常警報・インターホン
(2) 配線方式
・テレビ共同受信・防犯・制御・その他()
・地中線式(・直埋・管路)・架空線式(・直接・ちょう架線添架)
・建築物等添架式(・露出配管・隠蔽配管・その他())
・その他()
(3) 建柱
・本工事・既設柱利用・構内配電線路に添架
・その他()
2) 電柱
・コンクリート柱・鋼管柱・バンザマスト
3) 支持材
・根かせ・根はじき・根巻き・底板
4) 装柱機器
・支線(保護ガード・有・無)
5) 鋼板
・有・無
(4) ハンドホールマンホール
1) 形式
・ブロック式・現場打ち
2) 施工
・本工事(・建築工事・電気設備工事)・別途工事
3) ケーブル支持金物の取付
・既設柱利用・その他()
4) 重車両の通行
・有(破壊荷重200kN以上・衝撃係数0.1(走行速度制限箇所))・無
1) 鋼鉄蓋の刻印は「強電」、「電力」又は「高圧」とする。
2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。
(5) 鋼鉄蓋
1) 標示杭埋設
・コンクリート製・鉄製(アスファルト部分)
3) 埋設標識シート
・2倍長・その他()
4) 埋設標識シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。
【その他】
28. 消火器
1) 設置
・本工事(・建築工事・電気設備工事)・別途工事
2) 消火器

1	動力制御盤リスト(現況)			—																																									
盤名称	幹線名称	機器記号	機器名称	機器容量(kW)	機器電圧(V)	設置階	結線記号	配管配線サイズ			監視盤	発電	防災通報元開閉器	連動	備考	盤名称	幹線名称	機器記号	機器名称	機器容量(kW)	機器電圧(V)	設置階	結線記号	配管配線サイズ			監視盤	発電	防災通報元開閉器	連動	備考														
1M-51 (自立型) 防水型	MCB3P 400AF/400AT 3φ200V 91.63KW	RHA-01	直焚冷温水機	17.6	200	5F	Ae	CV22 ⁰ -4C (42)			◎ ◎			連動		1M-56 (自立型) 防水型	MCB3P 400AF/400AT 3φ200V 82KW	PCH-01	冷温水1次ポンプ	30.0	200	5F	Pe	3	CV60 ⁰ -4C (70) CV60 ⁰ -4C (70)			○		RHA-01	極数変換(4/6P)														
		PCD-01	冷却ポンプ	5.0	200	5F	Pe	3	CV150 ⁰ -3C (104) CV150 ⁰ -4C (104)			○		連動	極数変換(4/6P)			PCH-11	冷温水2次ポンプ	55.0	200	5F	Vne	2	CV100 ⁰ -4C (82)			○		VVVF															
		CT-01	冷却塔	5.5x3	200	5F	Lex3	2x3	CV5.5 ⁰ -4Cx3(54)			○ _a	○ _a					MS	自動制御電源	0.5	200	—	A	—				1Φ200V	メーター無し																
		CF-01	冷却水水質処理装置	15Wx2	200	5F	Ae	—	CV3.5 ⁰ -3C (22)			◎ ◎			1Φ200V メーター無し			MO	操作電源	0.5	200	—	A	—				1Φ200V	メーター無し																
			ホイスト電源	1.5	200	屋根	Ae	—	CV3.5 ⁰ -4C (28)																																				
		MS	自動制御電源	0.5	200	—	A	—							1Φ200V メーター無し			MO	操作電源	0.5	200	—	A	—				1Φ200V メーター無し																	
		RHA-02	直焚冷温水機	17.6	200	5F	Ae	—	CV22 ⁰ -4C (42)			◎ ◎		連動		PCH-02	冷温水1次ポンプ	30.0	200	5F	Pe	3	CV60 ⁰ -4C (70) CV60 ⁰ -4C (70)			○		RHA-02	極数変換(4/6P)																
		PCD-02	冷却ポンプ	5.0	200	5F	Pe	3	CV150 ⁰ -3C (104) CV150 ⁰ -4C (104)			○		連動	極数変換(4/6P)	PCH-12	冷温水2次ポンプ	55.0	200	5F	Vne	2	CV100 ⁰ -4C (82)			○		VVVF																	
		CT-02	冷却塔	5.5x3	200	5F	Lex3	2x3	CV5.5 ⁰ -4Cx3(54)			○ _a	○ _a			MS	自動制御電源	0.5	200	—	A	—				1Φ200V メーター無し																			
		CF-02	冷却水水質処理装置	15Wx2	200	5F	Ae	—	CV3.5 ⁰ -3C (22)			◎ ◎			1Φ200V メーター無し			MO	操作電源	0.5	200	—	A	—				1Φ200V メーター無し																	
			メンテナンスはしご電源	0.75x2	200	屋根	Ae	—	CV3.5 ⁰ -4C (28)																																				
		MS	自動制御電源	0.5	200	—	A	—							1Φ200V メーター無し			MO	操作電源	0.5	200	—	A	—				1Φ200V メーター無し																	
		RHA-04	直焚冷温水機	17.6	200	5F	Ae	—	CV22 ⁰ -4C (42)			◎ ◎		連動		PCH-03	冷温水1次ポンプ	30.0	200	5F	Pe	3	CV60 ⁰ -4C (70) CV60 ⁰ -4C (70)			○		RHA-03	極数変換(4/6P)																
		PCD-04	冷却ポンプ	5.0	200	5F	Pe	3	CV150 ⁰ -3C (104) CV150 ⁰ -4C (104)			○		連動	極数変換(4/6P)	PCH-13	冷温水2次ポンプ	55.0	200	5F	Vne	2	CV100 ⁰ -4C (82)			○		VVVF																	
		CT-04	冷却塔	5.5x4	200	5F	Lex4	2x4	CV5.5 ⁰ -4Cx4(54)			○ _a	○ _a			MS	自動制御電源	0.5	200	—	A	—				1Φ200V メーター無し																			
		CF-04	冷却水水質処理装置	15Wx2	200	5F	Ae	—	CV3.5 ⁰ -3C (22)			◎ ◎			1Φ200V メーター無し			APM-112	ビル用マルチパッケージ型空調機	4.1	200	塔屋	Ae	—	CV5.5 ⁰ -4C (28)			不明																	
			(EV機械室(1)系統)C	3.9	2																																								
		MS	自動制御電源	0.5	200	—	A	—							1Φ200V メーター無し			MO	操作電源	0.5	200	—	A	—				1Φ200V メーター無し																	
1M-52 (自立型) 防水型	MCB3P 400AF/400AT 3φ200V 19.22KW	APM-120	ビル用マルチパッケージ型空調機 (2F中央集計室系統)C	19.22	200	塔屋	Ae	—	CV60 ⁰ -4C (70) CV60 ⁰ -4C (70)			◎ ◎			不明		1M-57 (自立型) 防水型	MCB3P 400AF/400AT 3φ200V 9.663KW	RHA-03	直焚冷温水機	17.6	200	5F	Ae	—	CV22 ⁰ -4C (42)			◎ ◎		連動														
		MS	自動制御電源	0.5	200	—	A	—							1Φ200V メーター無し				PCD-03	冷却ポンプ	5.0	200	5F	Pe	3	CV150 ⁰ -3C (104) CV150 ⁰ -4C (104)			○		連動	極数変換(4/6P)													
		CT-03	冷却塔	5.5x4	200	5F	Lex4	2x4	CV5.5 ⁰ -4Cx4(54)			○ _a	○ _a			MS		自動制御電源	0.5	200	—	A	—				1Φ200V メーター無し																		
		CF-03	冷却水水質処理装置	15Wx2	200	5F	Ae	—	CV3.5 ⁰ -3C (22)			◎ ◎			1Φ200V メーター無し			PCD-03	冷却ポンプ	5.0	200	5F	Pe	3	CV150 ⁰ -3C (104) CV150 ⁰ -4C (104)			○		連動	極数変換(4/6P)														
			バトン電源	1.0	200	屋根	Ae	—	CV3.5 ⁰ -4C (28)							MS		自動制御電源	0.5	200	—</td																								

注記

- ・ 主回路の傍記「e」はELBを示す。
 - ・ 太線、太文字の回路を今回工事で使用。



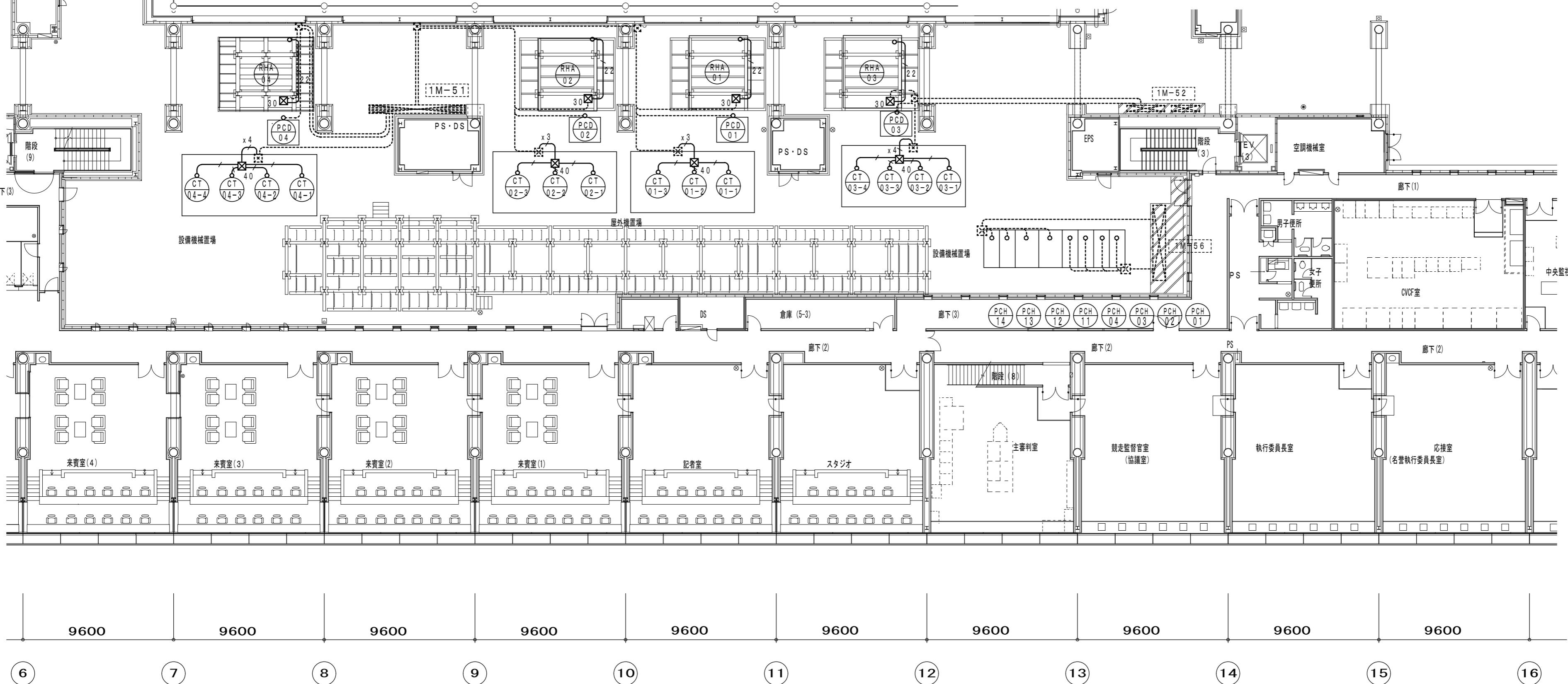
エントランスホール上部

盤	機器記号	既設配線		改修後配線	
		容量 (kW)	配管・配線	容量 (kW)	配管・配線
1M-51	RHA-01	18.1 ^{kVA}	CV22 ⁰ -4C (4.2)	14.1	再使用 ※A
	PCD-01	55.0	CV150 ⁰ -3C (104) CV150 ⁰ -4C (104)	55.0	再使用 ※B
	CT-01	5.5x3	CV5.5 ⁰ -4Cx3 (5.4)	5.5x3	再使用 ※A
	RHA-02	18.1 ^{kVA}	CV22 ⁰ -4C (4.2)	14.1	再使用 ※A
	PCD-02	55.0	CV150 ⁰ -3C (104) CV150 ⁰ -4C (104)	55.0	再使用 ※B
	CT-02	5.5x3	CV5.5 ⁰ -4Cx3 (5.4)	5.5x3	再使用 ※A
	RHA-04	18.1 ^{kVA}	CV22 ⁰ -4C (4.2)	14.1	再使用 ※A
	PCD-04	55.0	CV150 ⁰ -3C (104) CV150 ⁰ -4C (104)	55.0	再使用 ※B
	CT-04	5.5x4	CV5.5 ⁰ -4Cx4 (5.4)	5.5x4	再使用 ※A
	RHA-03	18.1 ^{kVA}	CV22 ⁰ -4C (4.2)	14.1	再使用 ※A
1M-52	PCD-03	55.0	CV150 ⁰ -3C (104) CV150 ⁰ -4C (104)	55.0	再使用 ※B
	CT-03	5.5x4	CV5.5 ⁰ -4Cx4 (5.4)	5.5x4	再使用 ※A

盤	機器記号	既設配線		改修後配線	
		容量 (kW)	配管・配線	容量 (kW)	配管・配線
1M-56	PCH-01	30.0	CV60 ⁰ -4C (7.0) CV60 ⁰ -4C (7.0)	30.0	再使用 ※B
	PCH-11	55.0	CV100 ⁰ -4C (8.2)	55.0	再使用 ※B
	PCH-02	30.0	CV60 ⁰ -4C (7.0) CV60 ⁰ -4C (7.0)	30.0	再使用 ※B
	PCH-12	55.0	CV100 ⁰ -4C (8.2)	55.0	再使用 ※B
	PCH-03	30.0	CV60 ⁰ -4C (7.0) CV60 ⁰ -4C (7.0)	30.0	再使用 ※B
	PCH-13	55.0	CV100 ⁰ -4C (8.2)	55.0	再使用 ※B
	PCH-04	30.0	CV60 ⁰ -4C (7.0) CV60 ⁰ -4C (7.0)	30.0	再使用 ※B
	PCH-14	55.0	CV100 ⁰ -4C (8.2)	55.0	再使用 ※B

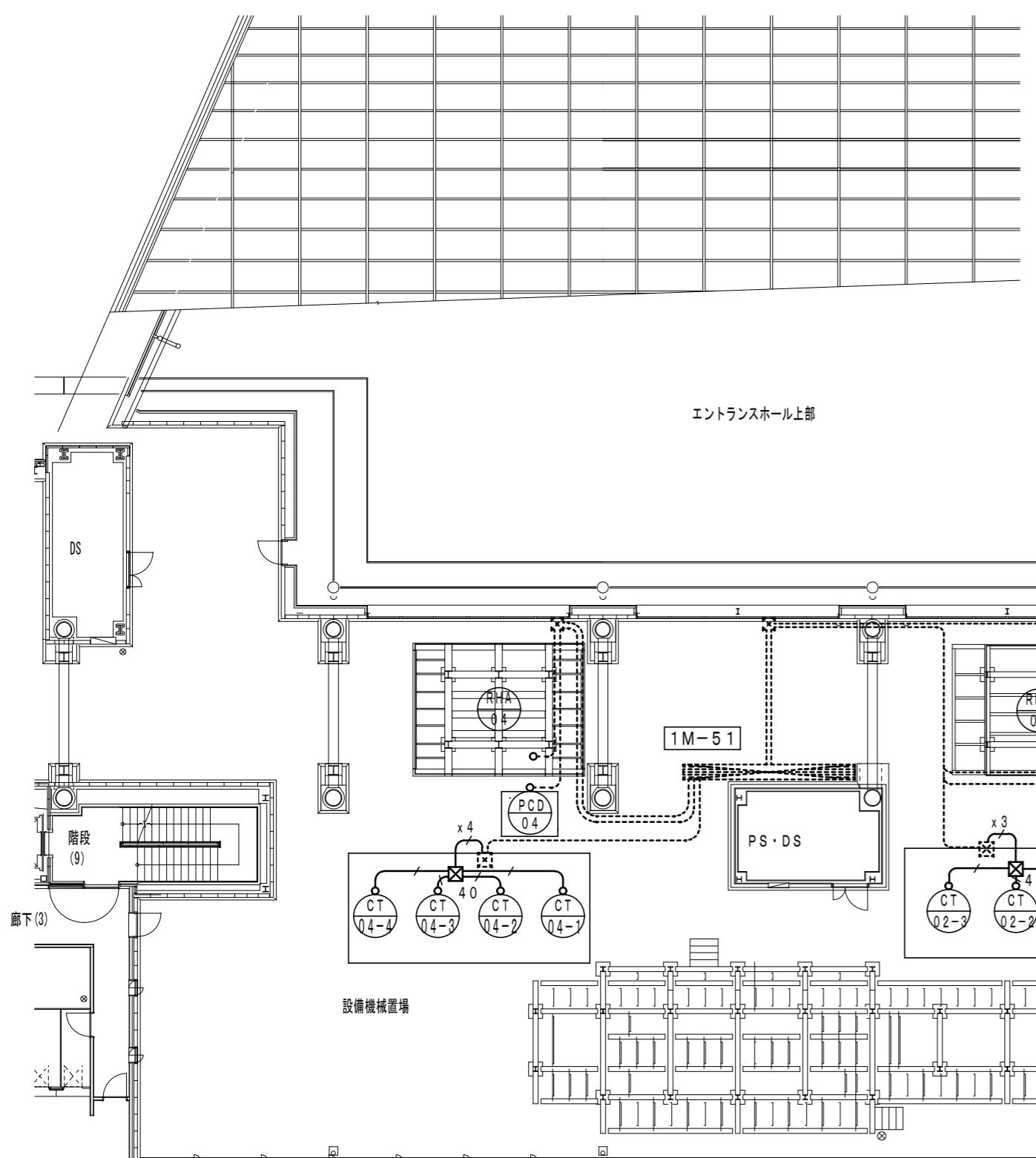
特記なき配線は下記による

- / EM-CE5. 5⁰-4C (G28)
- /^{x3} EM-CE5. 5⁰-4Cx3 (G54)
- /^{x4} EM-CE5. 5⁰-4Cx4 (G54)
- /²² EM-CE22⁰-4C (G42)



5階平面図 S=1/200

(改修前)



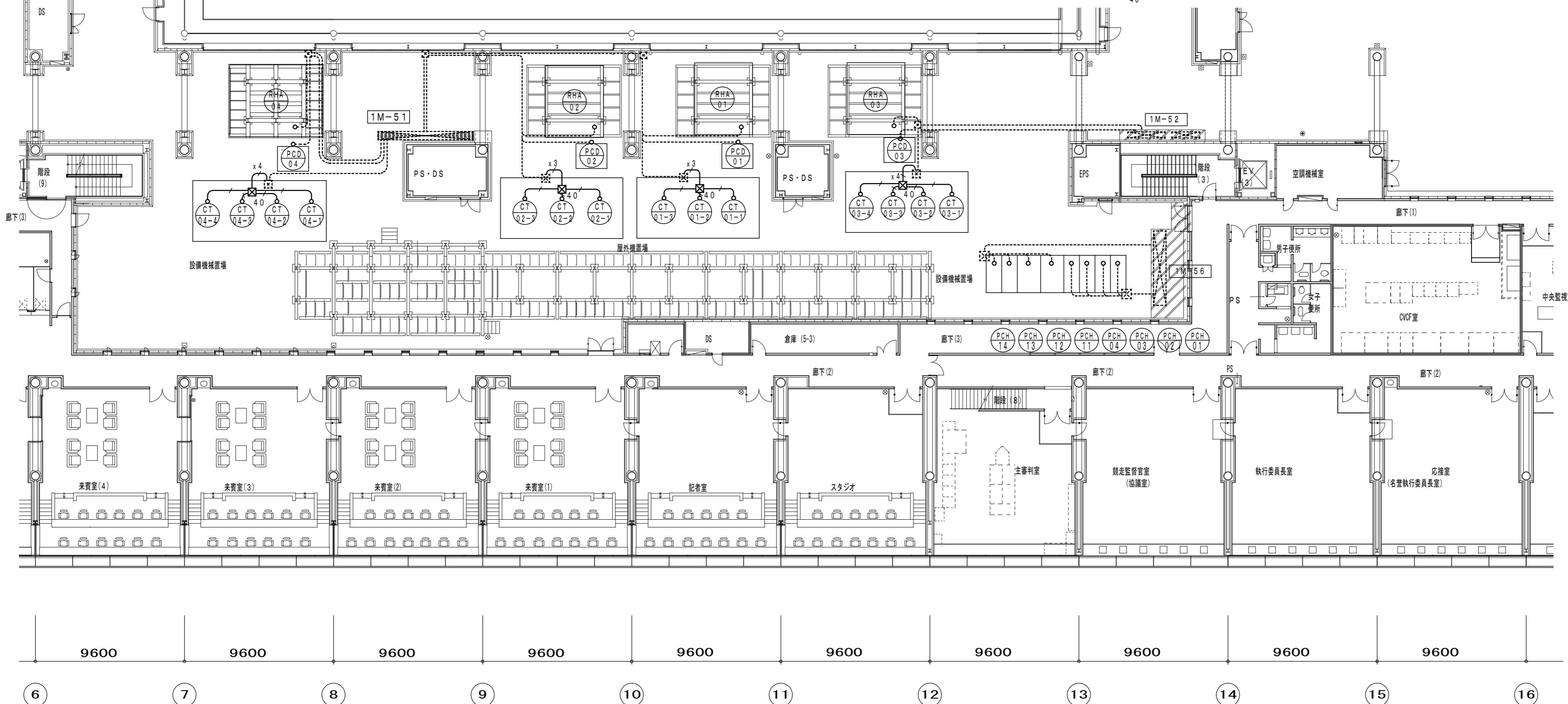
エントランスホール上部

盤	機器記号	容量 (kW)	配管・配線
1M-51	RHA-01	18.1	CV22 ² -4C (42) ※A
	PCD-01	55.0	CV150 ⁰ -3C (104) ※B
	CT-01	5.5 x 3	CV5.5 ⁰ -4Cx3 (54) ※A
	RHA-02	18.1	CV22 ² -4C (42) ※A
	PCD-02	55.0	CV150 ⁰ -3C (104) ※B
	CT-02	5.5 x 3	CV5.5 ⁰ -4Cx3 (54) ※A
	RHA-04	18.1	CV22 ² -4C (42) ※A
	PCD-04	55.0	CV150 ⁰ -3C (104) ※B
	CT-04	5.5 x 4	CV5.5 ⁰ -4Cx4 (54) ※A
1M-52	RHA-03	18.1	CV22 ² -4C (42) ※A
	PCD-03	55.0	CV150 ⁰ -3C (104) ※B
	CT-03	5.5 x 4	CV5.5 ⁰ -4Cx4 (54) ※A

盤	機器記号	容量 (kW)	配管・配線
1M-56	PCH-01	30.0	CV60 ⁰ -4C (70) ※B
	PCH-11	55.0	CV100 ⁰ -4C (82) ※B
	PCH-02	30.0	CV60 ⁰ -4C (70) ※B
	PCH-12	55.0	CV100 ⁰ -4C (82) ※B
	PCH-03	30.0	CV60 ⁰ -4C (70) ※B
	PCH-13	55.0	CV100 ⁰ -4C (82) ※B
	PCH-04	30.0	CV60 ⁰ -4C (70) ※B
	PCH-14	55.0	CV100 ⁰ -4C (82) ※B

注記
* 実線の配管配線は撤去とする。
* 点線は既設再使用する。
* ※A 機器通り配管・配線更新する。(平面図参照)
* ※B 可どう言のみ更新する。
* □ ブルーブックス SUS-WP 400x400x400
40

特記なき配線は下記による
— CV5.5⁰-4C (28)
— x3 CV5.5⁰-4Cx3 (54)
— x4 CV5.5⁰-4Cx4 (54)



5階平面図 S = 1 / 200

(改修前)

(株)田端隆建築設計

三重県知事登録第1-861 一般建築士 No.352551 田端 遼也

設計代表者

一般建築士
No.352551
田端 遼也

設計担当者

一般建築士
No.322023
構造士
No.8984
井上貴裕

SCALE

A2 1/400

工事名称

津市モーターボート競走場スタンド棟吸込冷温水機等改修工事

DATE

図面名称 5階平面図【改修前】

E-06
原図: A2